参考資料３
大学入試のあり方に関する検討会議（第21回）R3.2.17

大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査の結果

１　目的
　各大学が実施する令和２年度大学入学者選抜について、選抜区分ごとに英語４技能の評価及び記述式出題の実施状況を含む入試方法の詳細を把握する。

２　実施時期および方法
　令和２年７月14日～令和２年９月14日　eメールによる調査票の発送及び回答票回収（遅れて回答のあった大学も含め、令和２年12月2日までの回収分を集計）

３　対象
　本調査は、全ての大学（学生募集停止の大学を除いた、国立大学、公立大学、私立大学の計771大学）を対象としている。
　回収数は719大学（2,338学部、48,843選抜区分）（回収率：93.3%）。

主な調査項目

1．学部別調査 4

2．入学者選抜の実態 28

3．センター試験の利用の実態 42

4．個別選抜の実態 51

5．英語資格・検定試験の活用の実態 95

6．記述式問題等の出題の実態 111

7．入学者の多様性を確保するための取組の実態 122

8．自由記述欄 131

定義

令和２年度大学入学者選抜実施要項（抄）　※下線は事務局にて付記

第３　入試方法

１　入学者の選抜は，調査書の内容，学力検査，小論文，面接，集団討論，プレゼンテーションその他の能力・適性等に関する検査，活動報告書，大学入学希望理由書及び学修計画書，資格・検定試験等の成績，その他大学が適当と認める資料により，入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する入試方法（以下「一般入試」という。）による。

２　一般入試のほか，各大学の判断により，入学定員の一部について，以下のような多様な入試方法を工夫することが望ましい。

(1)　アドミッション・オフィス入試

詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって，入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲，目的意識等を総合的に評価・判定する入試方法。

この方法による場合は，以下の点に留意する。

①　入学志願者自らの意志で出願できる公募制とする。

②　アドミッション・オフィス入試の趣旨に鑑み，知識・技能の修得状況に過度に重点を置いた選抜基準とせず，合否判定に当たっては，入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する。

③　大学教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため，以下のア～エのうち少なくとも一つを行い，その旨を募集要項に記述する。

ア　各大学が実施する検査（筆記，実技，口頭試問等）による検査の成績を合否判定に用いる。

イ　大学入試センター試験の成績を出願要件（出願の目安）や合否判定に用いる。

ウ　資格・検定試験等の成績等を出願要件（出願の目安）や合否判定に用いる。

エ　高等学校の教科の評定平均値を出願要件（出願の目安）や合否判定に用いる。

④　③ア～ウを行う場合にあっては，③エと組み合わせるなど調査書を積極的に活用することが望ましい。

(2)　推薦入試

出身高等学校長の推薦に基づき，原則として学力検査を免除し，調査書を主な資料として評価・判定する入試方法。

この方法による場合は，以下の点に留意する。

①　高等学校の教科の評定平均値を出願要件（出願の目安）や合否判定に用い，その旨を募集要項に記述する。

②　推薦書・調査書だけでは入学志願者の能力・意欲・適性等の評価・判定が困難な場合には，上記(1)③ア～ウの措置の少なくとも一つを講ずることが望ましい。

令和３年度大学入学者選抜実施要項（抄）　※下線は事務局にて付記

第３　入試方法

１　入学者の選抜は，調査書の内容，学力検査，小論文，「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告（平成29年７月）」（以下「見直しに係る予告」という。）で示した入学志願者本人の記載する資料等＊により，入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する入試方法（以下「一般選抜」という。）による。

＊入学志願者本人が記載する資料の他，エッセイ，面接，ディベート，集団討論，プレゼンテーション，各種大会や顕彰等の記録，総合的な学習の時間などにおける生徒の探究的な学習の成果等に関する資料やその面談等。

２　一般選抜のほか，各大学の判断により，入学定員の一部について，以下のような多様な入試方法を工夫することが望ましい。

(1)　総合型選抜

詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって，入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲，目的意識等を総合的に評価・判定する入試方法。

この方法による場合は，以下の点に留意する。

①　入学志願者自らの意志で出願できる公募制という性格に鑑み，「見直しに係る予告」で示した入学志願者本人の記載する資料＊を積極的に活用する。

＊入学志願者本人が記載する活動報告書，大学入学希望理由書及び学修計画書等。

②　総合型選抜の趣旨に鑑み，合否判定に当たっては，入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する。なお，高度な専門知識等が必要な職業分野に求められる人材養成を目的とする学部・学科等において，総合型選抜を実施する場合には，当該職業分野を目指すことに関する入学志願者の意欲・適性等を特に重視した評価・判定に留意する。

③　大学教育を受けるために必要な知識・技能，思考力・判断力・表現力も適切に評価するため，調査書等の出願書類だけではなく，「見直しに係る予告」で示した評価方法等＊又は大学入学共通テストのうち少なくともいずれか一つを必ず活用し，その旨を募集要項に記述する。

＊例えば，小論文等，プレゼンテーション，口頭試問，実技，各教科・科目に係るテスト，資格・検定試験の成績等。

(2)　学校推薦型選抜

出身高等学校長の推薦に基づき，調査書を主な資料としつつ，以下の点に留意して評価・判定する入試方法。

①　大学教育を受けるために必要な知識・技能，思考力・判断力・表現力も適切に評価するため，高等学校の学習成績の状況など調査書・推薦書等の出願書類だけではなく，「見直しに係る予告」で示した評価方法等又は大学入学共通テストのうち少なくともいずれか一つを必ず活用し，その旨を募集要項に記述する。

②　推薦書の中に,入学志願者本人の学習歴や活動歴を踏まえた第１に示す三つの要素に関する評価や，生徒の努力を要する点などその後の指導において特に配慮を要するものがあればその内容について記載を求める。

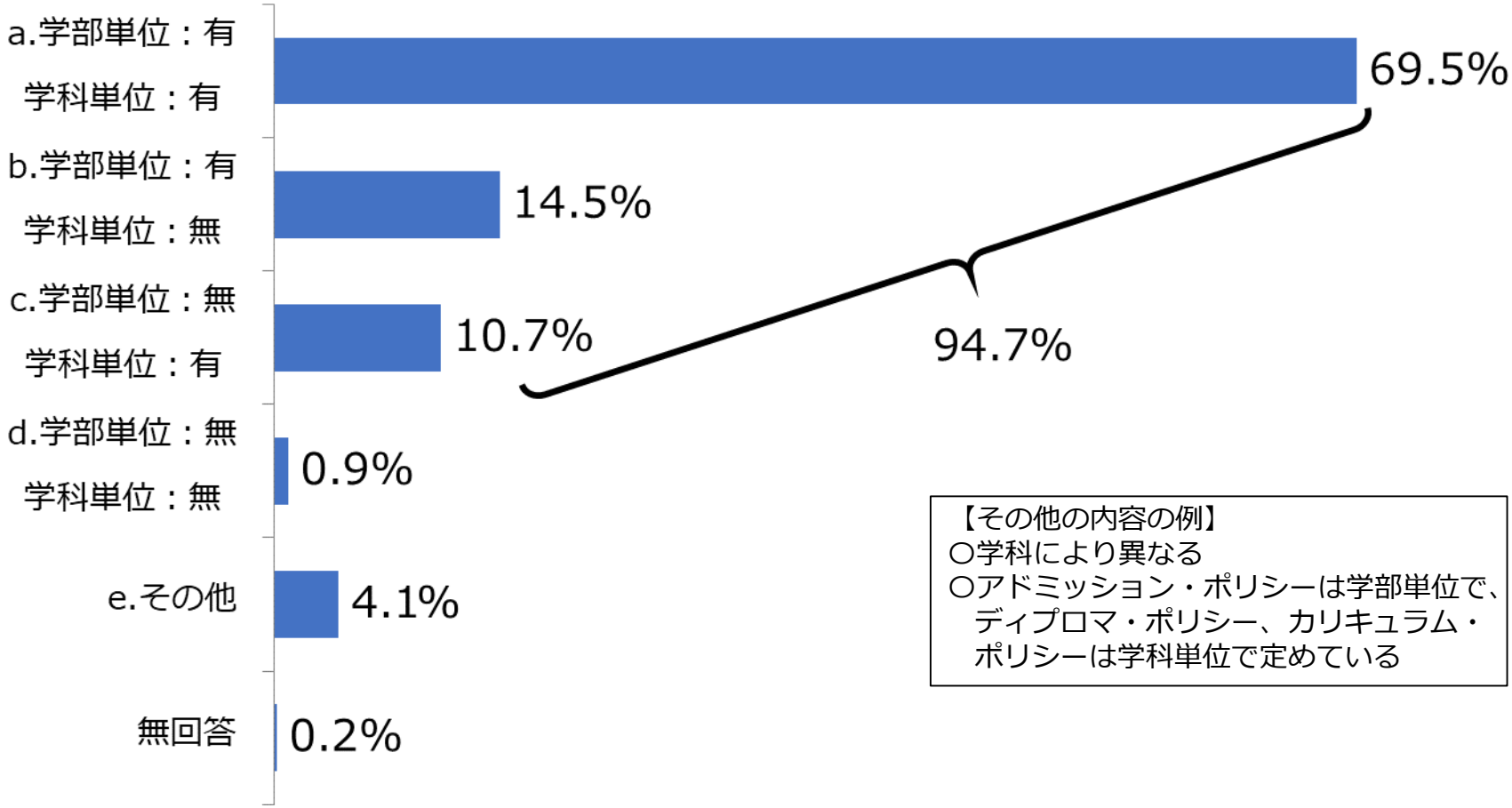
主な調査項目（学部別調査）

１．学部別調査

・３つの方針の策定の有無 5
・出題方針の策定・公表の有無 7
・３つの方針等における英語の能力に関する記載 10
・３つの方針等における【思考力・判断力・表現力】の育成・評価に関する記載 11
・個別学力検査試験問題の公表状況 12
・受験者本人への成績開示制度 13
・選抜の妥当性・信頼性等について検証 14
・英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見 15
・大学入試において思考力・判断力・表現力をどこで評価すべきか 19
・記述式問題への意見 22
・各入試方法における募集人員の増減予定 27

３つの方針の策定の有無

- 学部・学科単位両方で３つの方針（「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）、「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー））を定めている学部は69.5%。学部単位で定めている学部は14.5%、学科単位で定めている学部は10.7%。
- これらを合わせると、何らかの形で定めている学部は94.7%である。



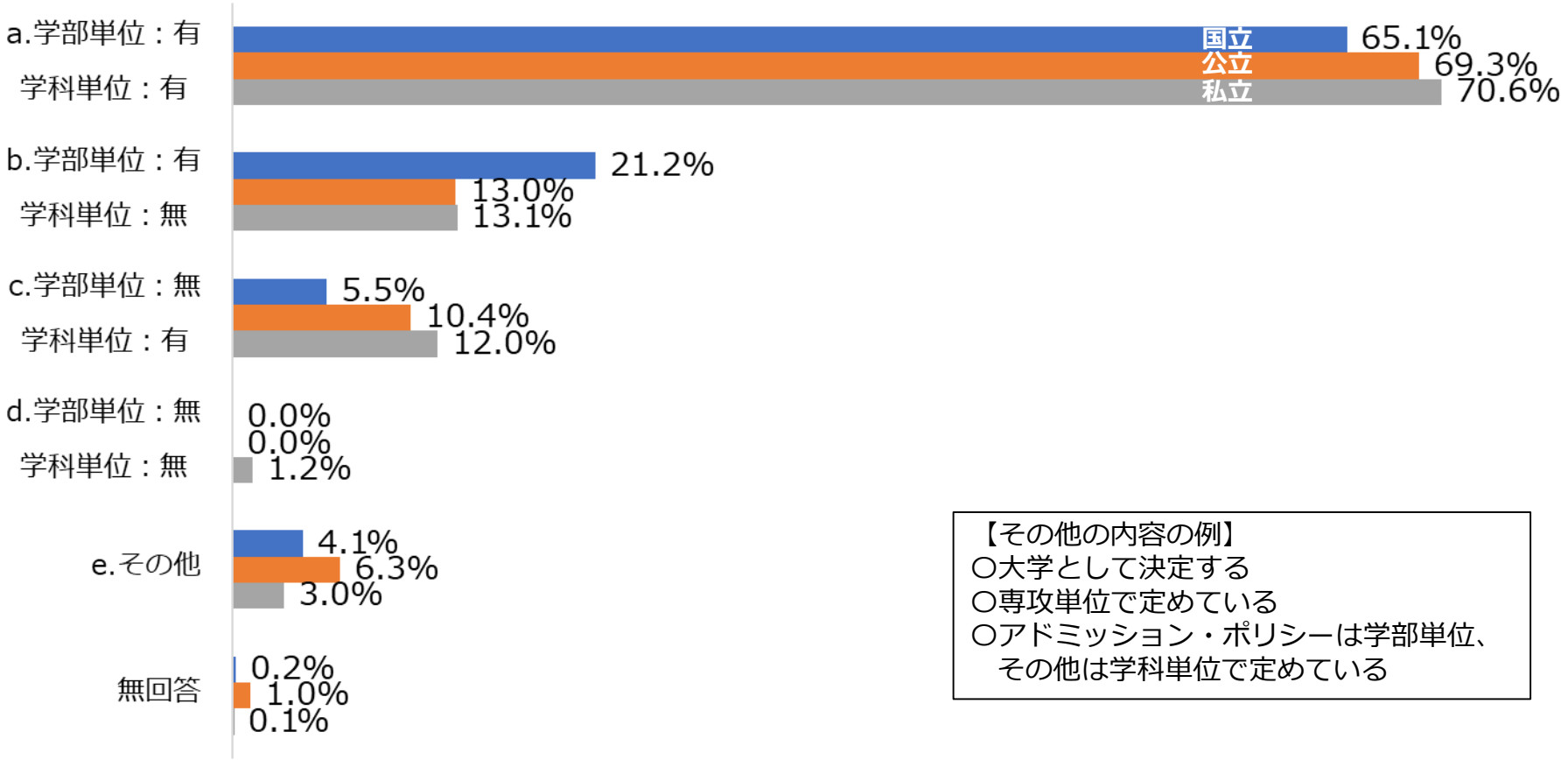
【その他の内容の例】
〇学科により異なる
〇アドミッション・ポリシーは学部単位で、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは学科単位で定めている

n=2,338学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

３つの方針の策定の有無（国公私立別）

- 国公私立別では、学部・学科単位両方で３つの方針を定めている学部はいずれも7割前後（国立：65.1%、公立：69.3%、私立：70.6%）である。
- これに、学部単位で定めている学部（国立：21.2%、公立：13.0%、私立：13.1%）、学科単位で定めている学部（国立：5.5%、公立：10.4%、私立：12.0%）を合わせると、何らかの形で定めている学部は国立では91.8%、公立は92.7%、私立は95.7%である。



【その他の内容の例】
〇大学として決定する
〇専攻単位で定めている
〇アドミッション・ポリシーは学部単位、その他は学科単位で定めている

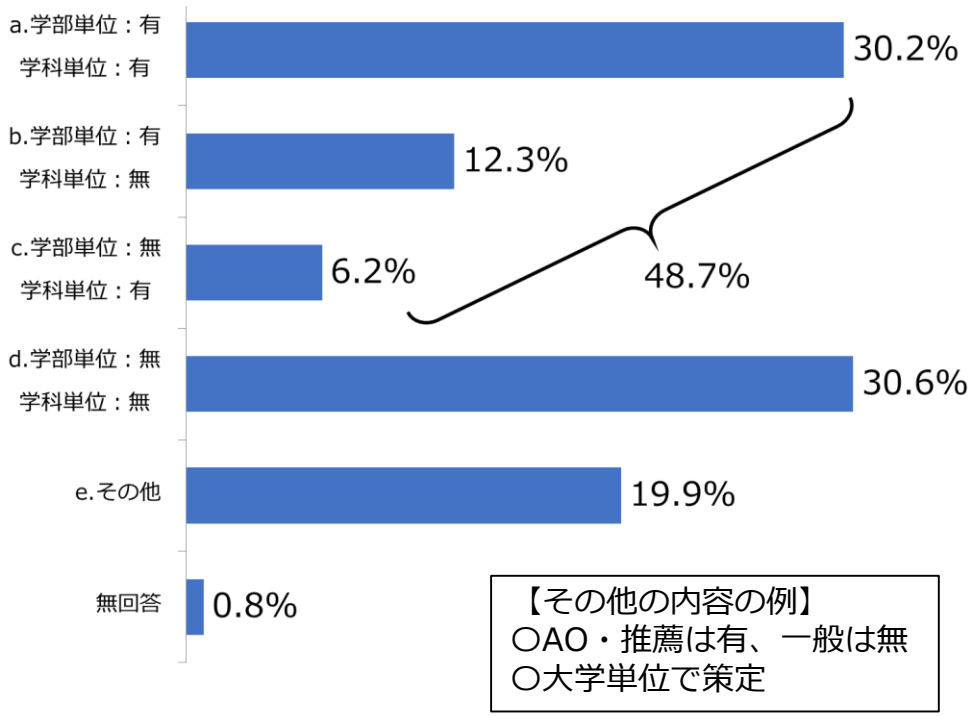
国立 n=401学部　公立 n=192学部　私立 n=1,745学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

出題方針の策定・公表の有無

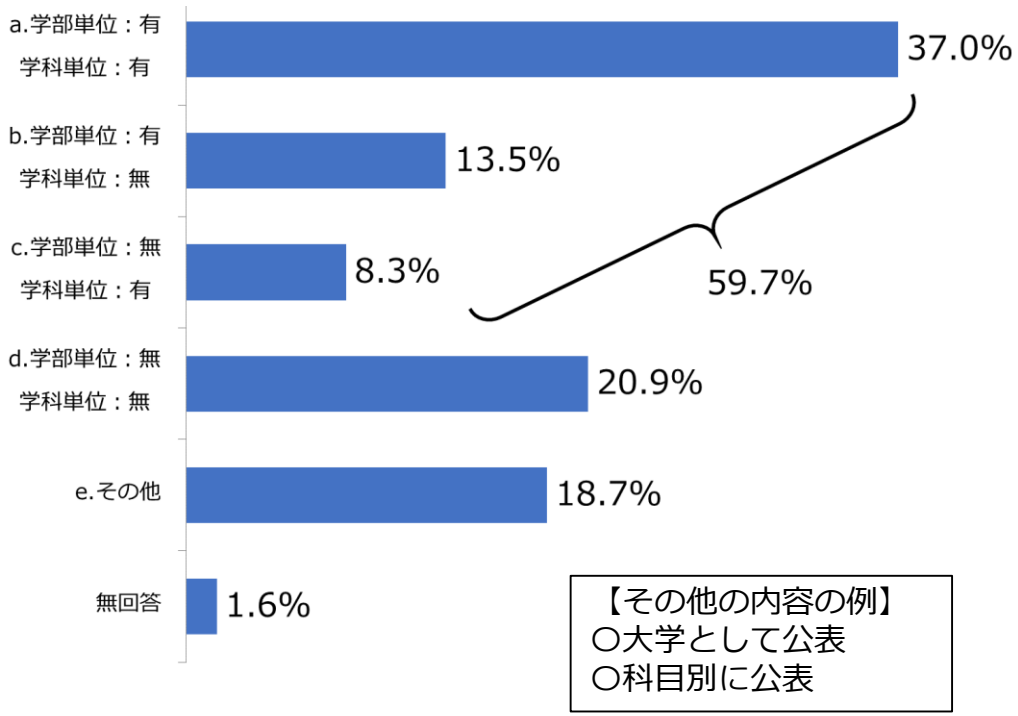
- 出題方針の策定状況は、学部と学科の両方、学部ないし学科で定めている学部を合わせると半数程度(a+b+c=48.7%)。
- 出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」と回答した学部を除く1,623学部に対して、公表状況に関して質問したところ、「a.学部・学科とも公表」は37.0%、「b.学部のみで公表」は13.5%、「ｃ.学科のみで公表」は8.3%となっており、これらを合わせて59.7%の学部が学部と学科の両方、学部ないし学科で出願方針を公表している。

出題方針の策定の有無



n=2,338学部
単数回答

出題方針の公表の有無



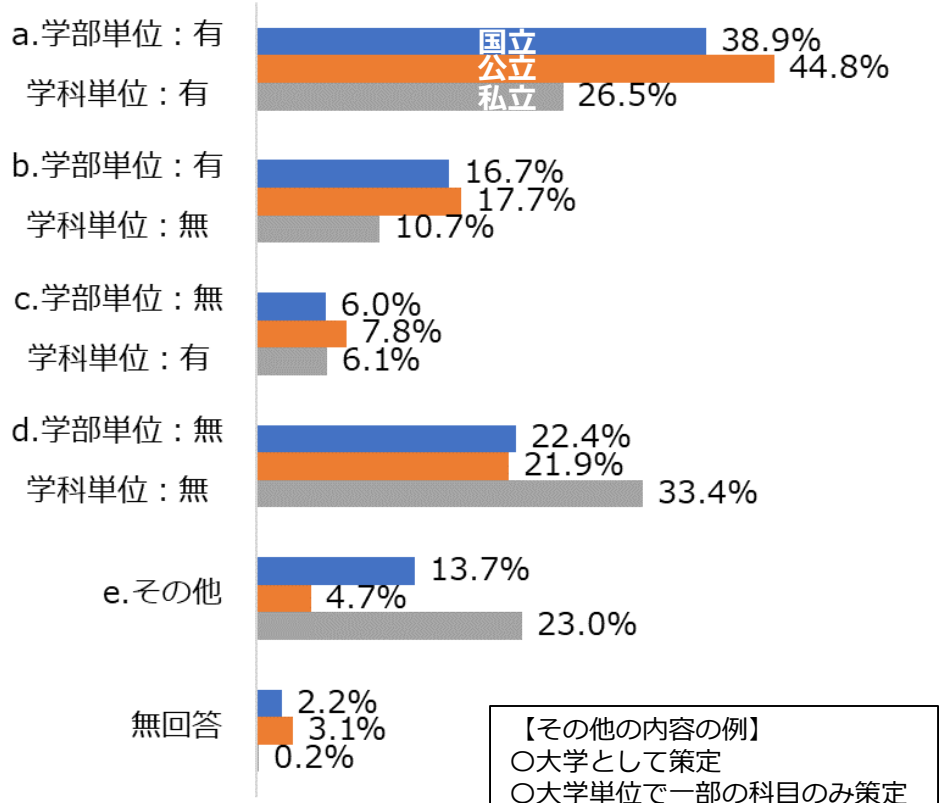
n=1,623学部
（出題方針をd.学部・学科とも策定していない学部を除く）
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

出題方針の策定・公表の有無・公表（国公私立別）

- 国公私立別での策定状況は、学部と学科の両方、学部ないし学科で定めている学部を合わせる(a+b+c)と国立は61.6%、公立は70.3%、私立は43.3%である。
- 出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」と回答した学部を除く1,623学部に対して、公表状況に関して質問したところ、学部と学科の両方、学部ないし学科で出願方針を公表している学部を合わせる(a+b+c)と国立では64.9%、公立は76.0%。私立は54.8%である。

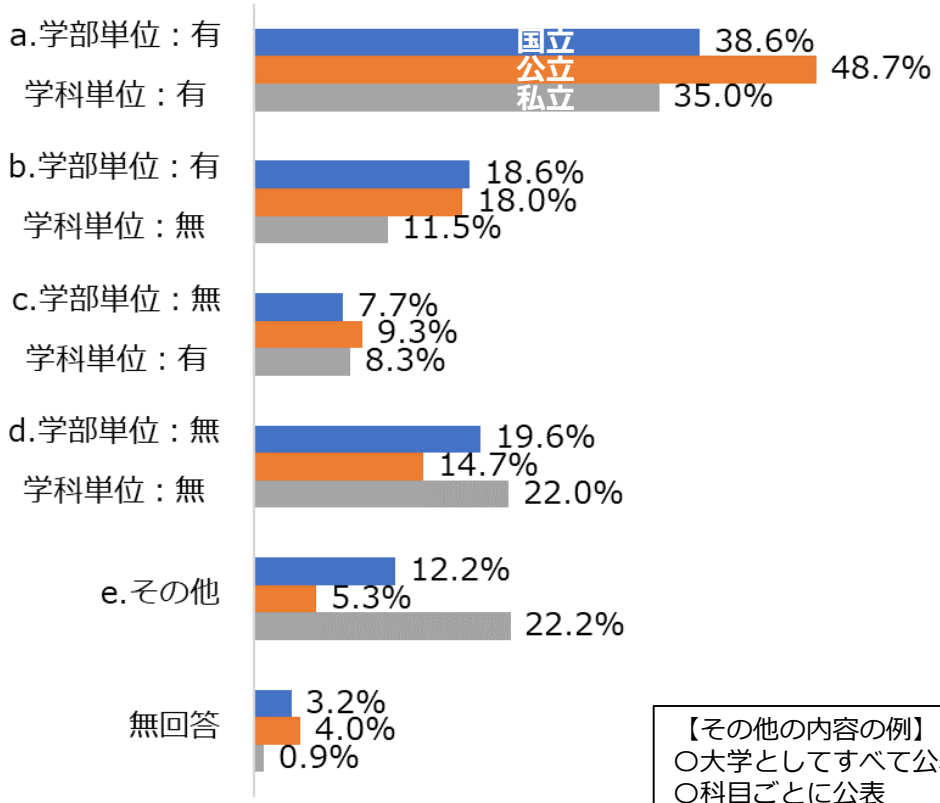
出題方針の策定の有無



【その他の内容の例】
○大学として策定
○大学単位で一部の科目のみ策定
○入試種別毎に策定

国立 n=401学部　公立 n=192学部　私立 n=1,745学部
単数回答

出題方針の公表の有無



【その他の内容の例】
○大学としてすべて公表
○科目ごとに公表
○入試種別ごとに公表

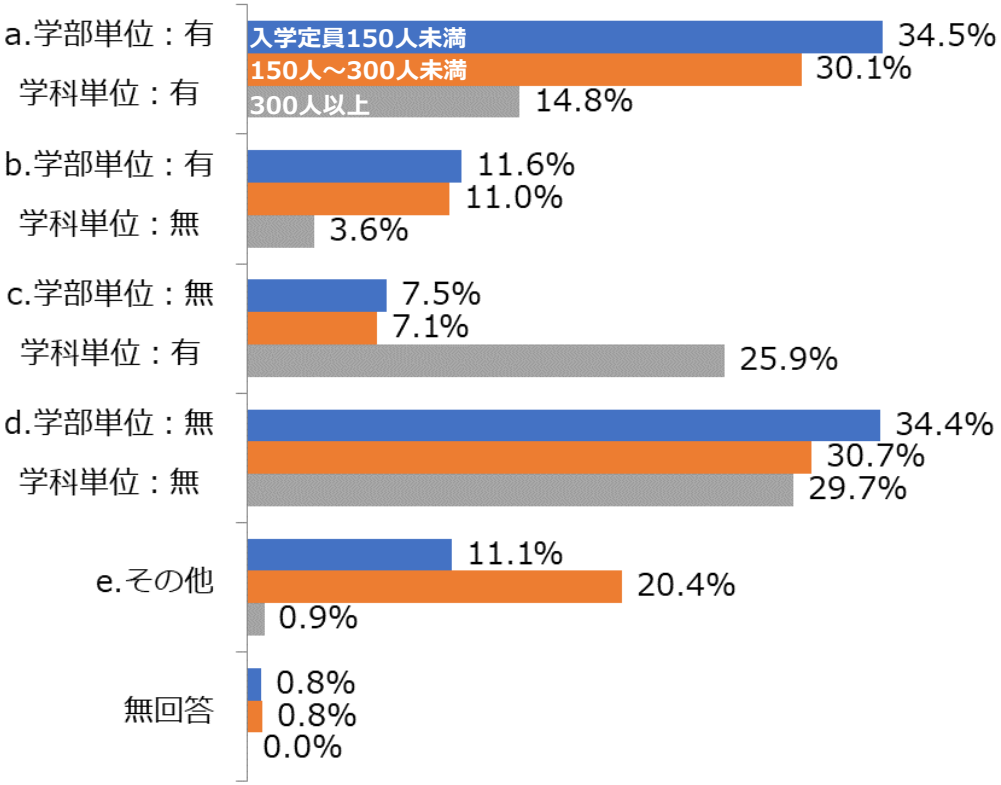
国立 n=311学部　公立 n=150学部　私立 n=1,162学部
（出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」学部を除く）
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

出題方針の策定の有無・公表（学部規模別）

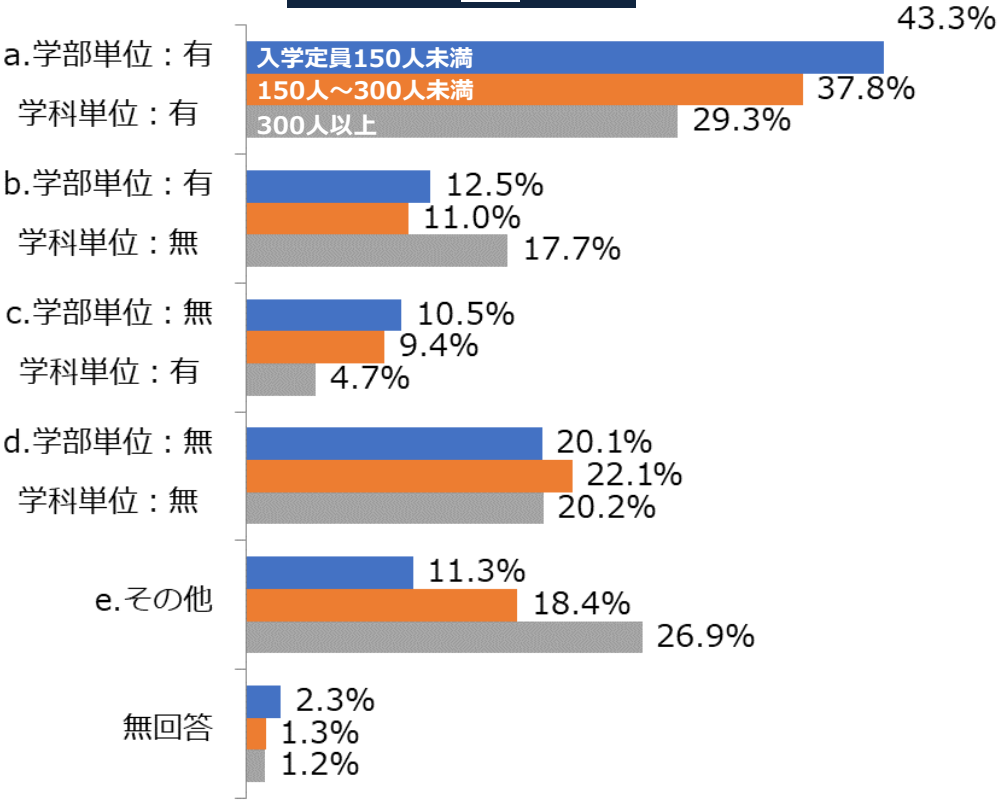
- 学部規模別での策定状況は、学部と学科の両方、学部ないし学科で定めている学部を合わせる(a+b+c)と入学定員150人未満では53.6%、150人～300人未満は48.2%、300人以上は44.3%である。
- 出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」と回答した学部を除く1,623学部に対して、公表状況に関して質問したところ、学部と学科の両方、学部ないし学科で出願方針を公表している学部を合わせる(a+b+c)と、入学定員150人未満では766.3%、150人～300人未満は58.2%、300人以上は51.7%である。

出題方針の策定の有無



入学定員150人未満 n=782学部
150人～300人未満 n=893学部
300人以上 n=663学部
単数回答

出題方針の公表の有無



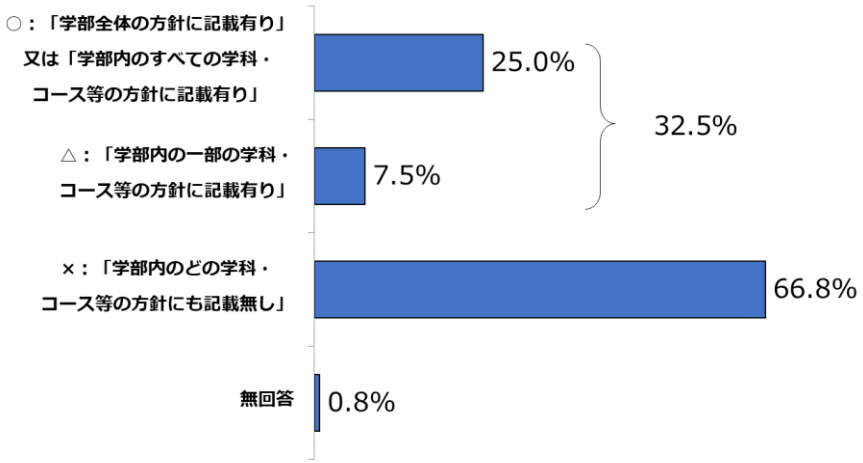
150人未満 n=513学部 150人～300人未満 n=619学部 300人以上 n=491学部
（出題方針を「d.学部・学科とも策定していない」学部を除く）
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

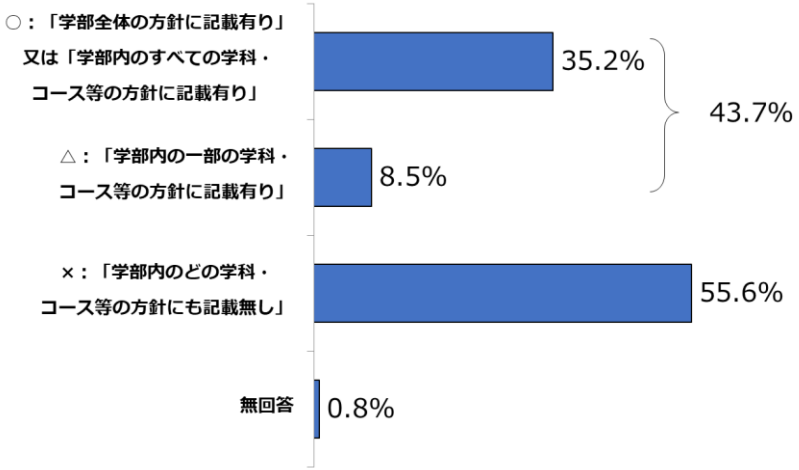
３つの方針等における英語の能力に関する記載

英語の能力について、 ①卒業認定・学位授与の方針への記載が「学部全体の方針に記載有り」又は「学部内のすべての学科・コース等の方針に記載有り」は25.0%、②教育課程編成・実施の方針への記載は35.2%、③入学者の受入れに関する方針への記載は37.3%、④出題方針への記載は26.6%である。

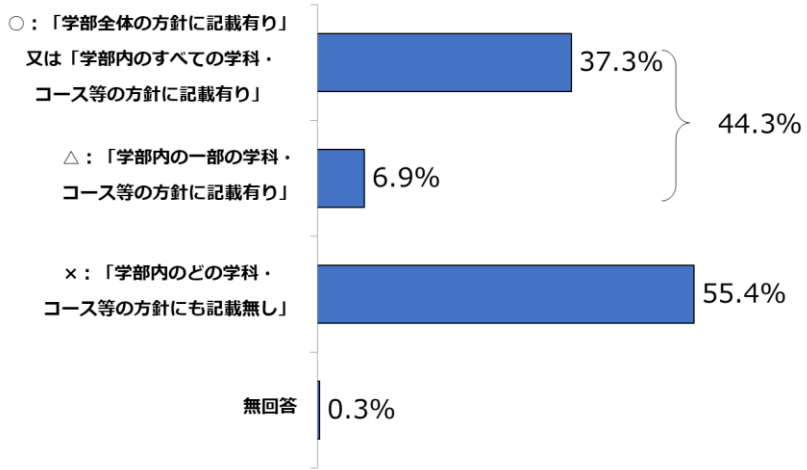
【①卒業認定・学位授与の方針】



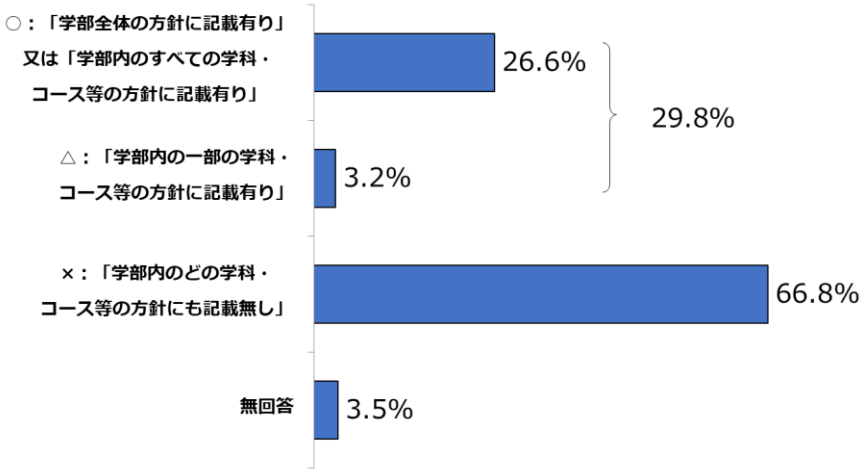
【②教育課程編成・実施の方針】



【③入学者受入れの方針】



【④出題方針】



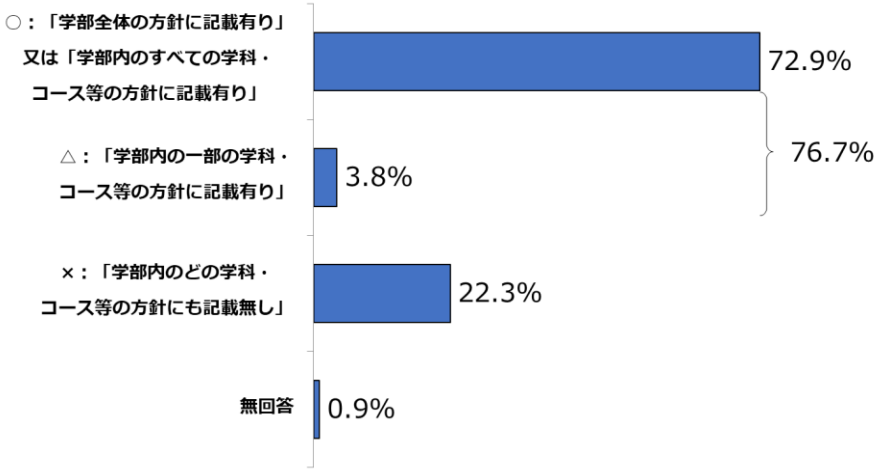
n=2,338学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

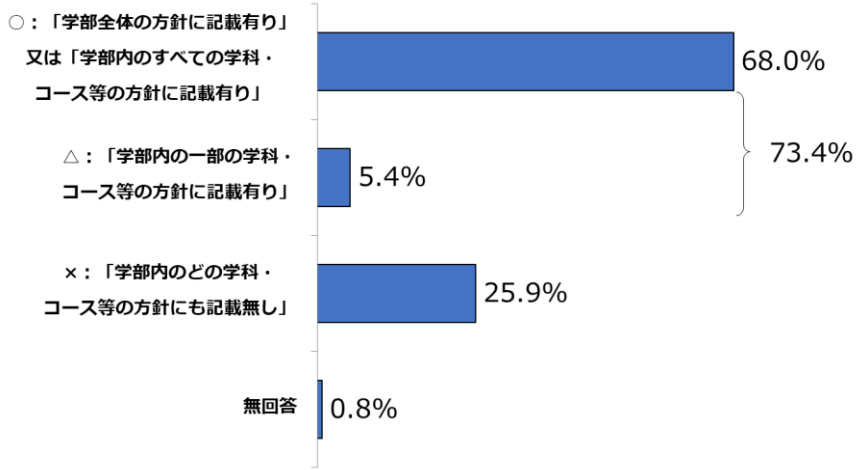
３つの方針等における【思考力・判断力・表現力】の育成・評価に関する記載

【思考力・判断力・表現力】の育成・評価について、①卒業認定・学位授与の方針への記載が「学部全体の方針に記載有り」又は「学部内のすべての学科・コース等の方針に記載有り」は72.9%、②教育課程編成・実施の方針への記載は68.0%、③入学者の受入れに関する方針への記載は80.3%、④出題方針への記載は44.7%である。

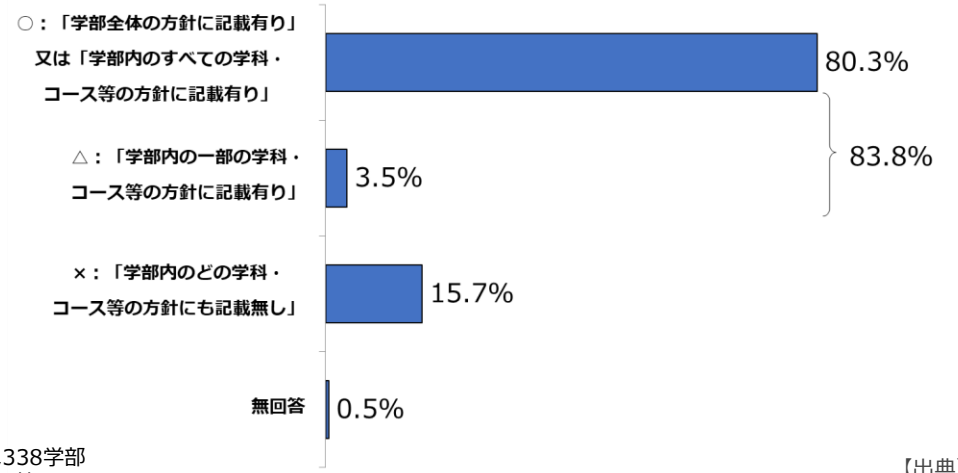
【①卒業認定・学位授与の方針】



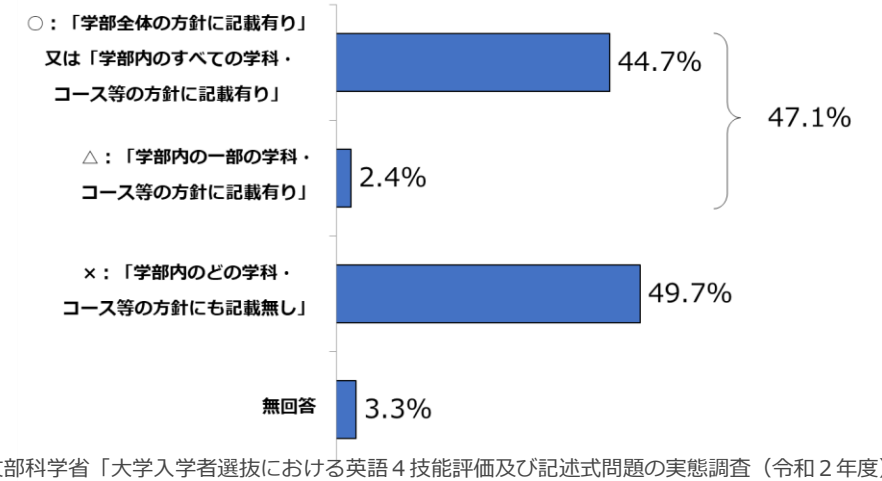
【②教育課程編成・実施の方針】



【③入学者受入れの方針】



【④出題方針】



n=2,338学部
単数回答

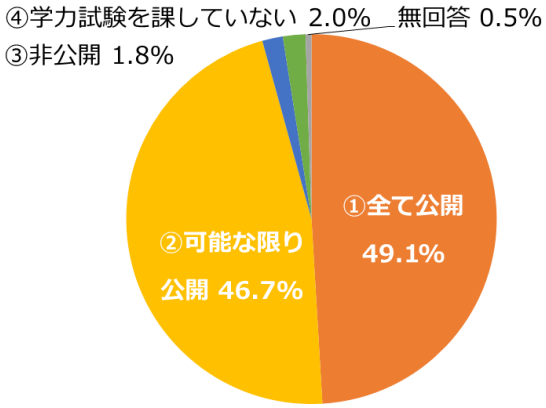
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

個別学力検査試験問題の公表状況

個別学力検査試験問題を全て公開する学部(49.1%)、可能な限り公開する学部(46.7%)を合わせると９割以上になる。問題を公開していない学部は1.8%である。

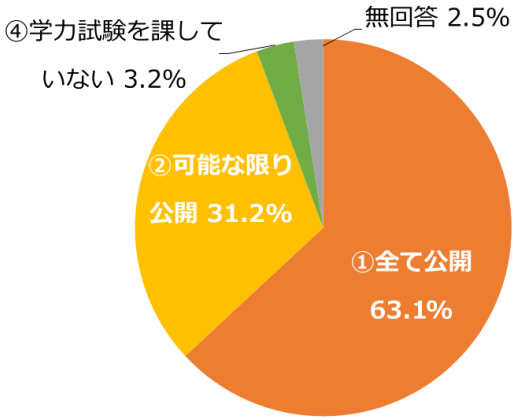
全　体

（n=2,338学部・単数回答）



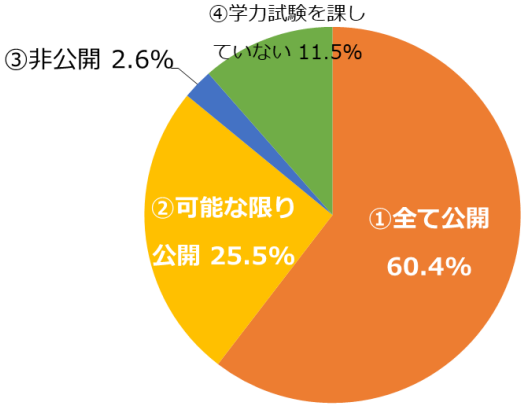
国立大学

（n=401学部・単数回答）



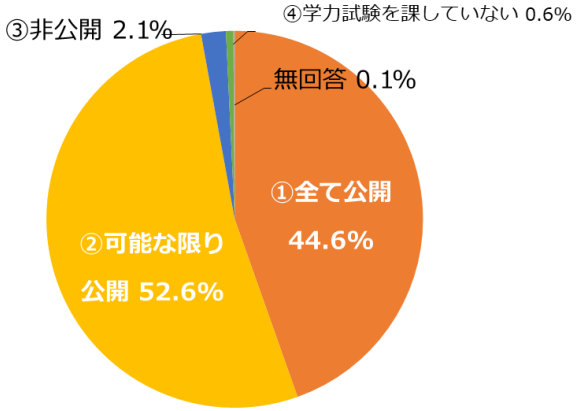
公立大学

（n=192学部・単数回答）



私立大学

（n=1,745学部・単数回答）



【参考】令和２年度大学入学者選抜実施要項（抄）

第13 その他注意事項

2 入試情報の取扱い

(1)個別学力検査における試験問題やその解答については，当該入試の実施以降に受験者や次年度以降の入学志願者が学習上参考にできるようにするため，次のとおり取り扱うものとする。

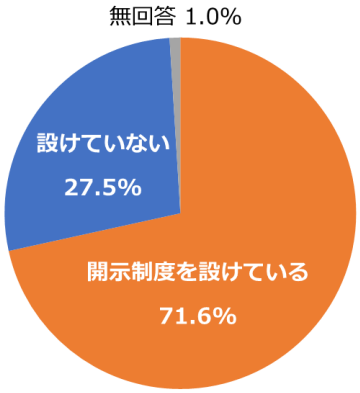
①試験問題については，原則として公表するものとする。（略）

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

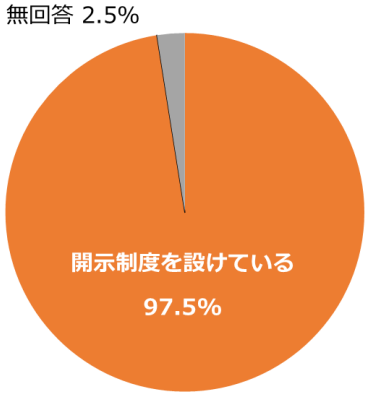
受験者本人への成績開示制度

受験者本人への成績開示制度を設けている割合は71.6%である。

全　体（n=2,338学部・単数回答）

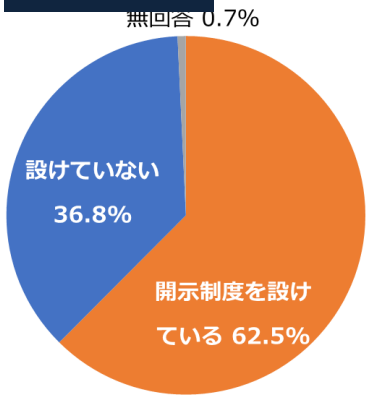


国立大学（n=401学部・単数回答）



公立大学（n=192学部・単数回答）

私立大学（n=1,745学部・単数回答）



【参考】令和２年度大学入学者選抜実施要項（抄）

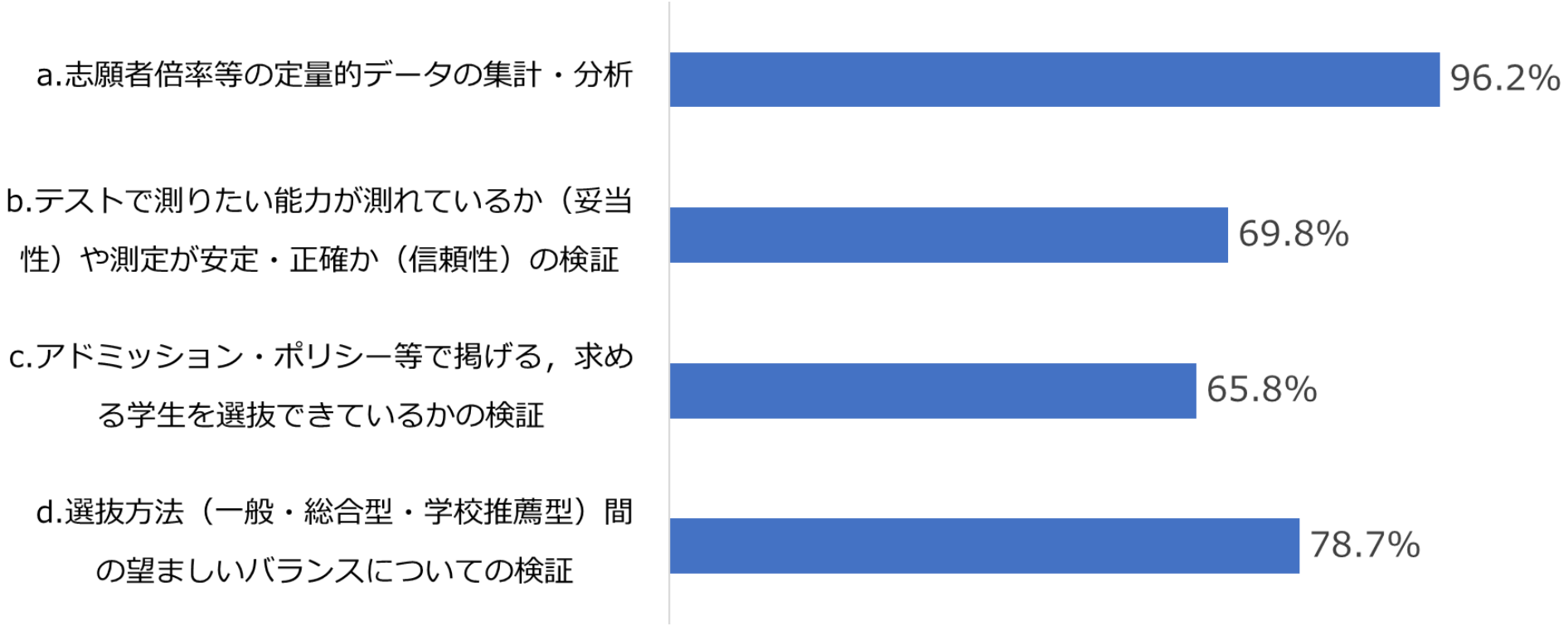
第13 その他注意事項

2 入試情報の取扱い

(2) 各大学は，受験者本人への成績開示（略）等の入試情報の積極的開示に努める。（略）

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

選抜の妥当性・信頼性等の検証



【参考】令和２年度大学入学者選抜実施要項（抄）

第13 その他注意事項

8 その他

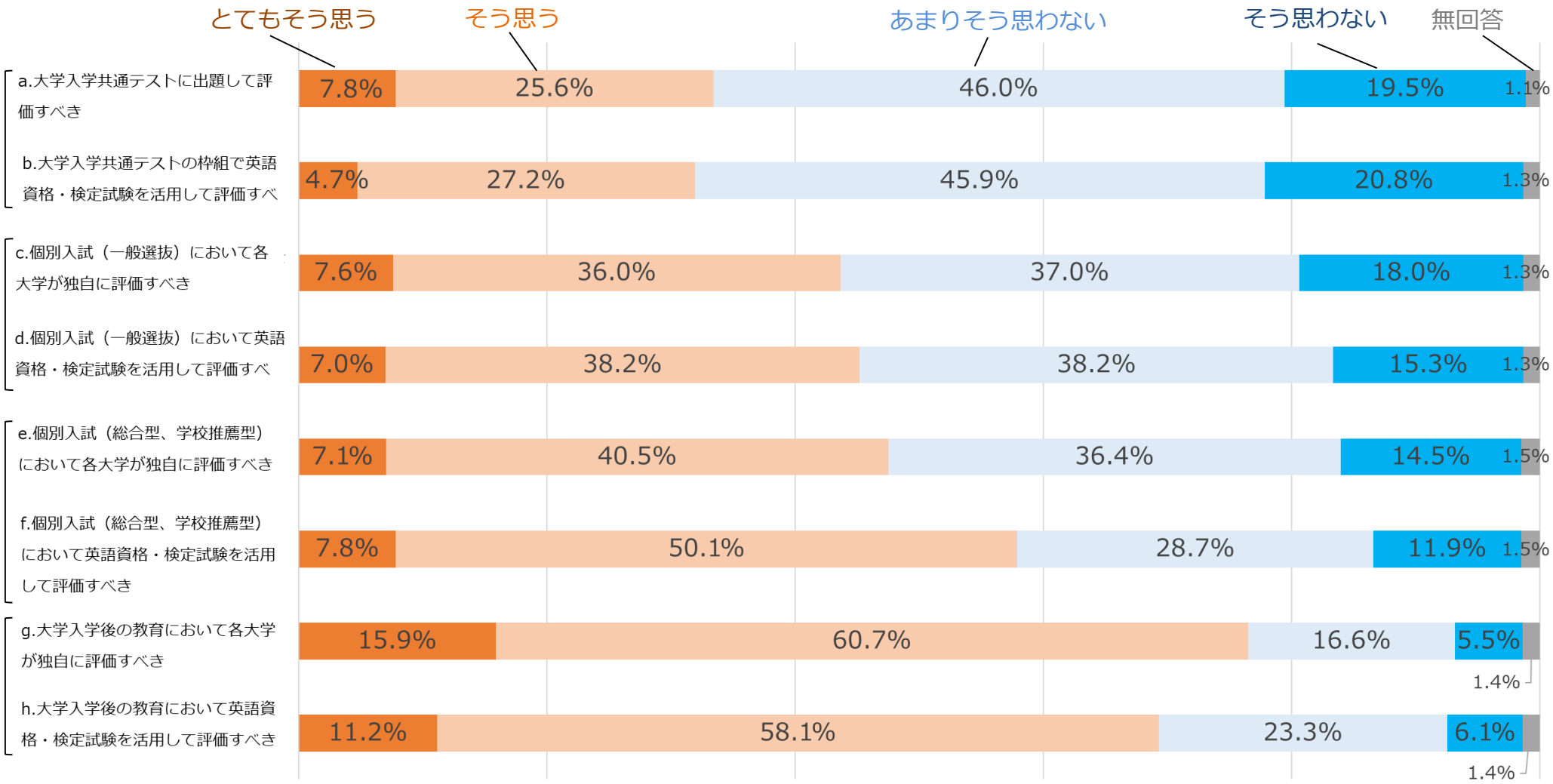
(1) 各大学は，入試に関する研究委員会を設け，入学者の追跡調査等により，選抜の妥当性・信頼性の検証を行い，その成果を入試に反映させることが望ましい。

n=2,338学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見

英語のスピーキング・ライティングの評価方法について、肯定的回答（とてもそう思う＋そう思う）をしたのが、
「a.共通テストで評価」で32.3%、「b.共通テストの枠組みで英語資格・検定試験を活用して評価」で31.9%、
「c.一般入試で独自に評価」で43.6%、「d. 一般入試で英語資格・検定試験を活用して評価」で45.2%、
「e.総合型入試等で独自に評価」で47.6%、「f. 総合型入試等において英語資格・検定試験を活用して評価で57.8%、
「g.入学後に独自に評価」で76.6%、「h.入学後に英語資格・検定試験を活用して評価」で69.3%。



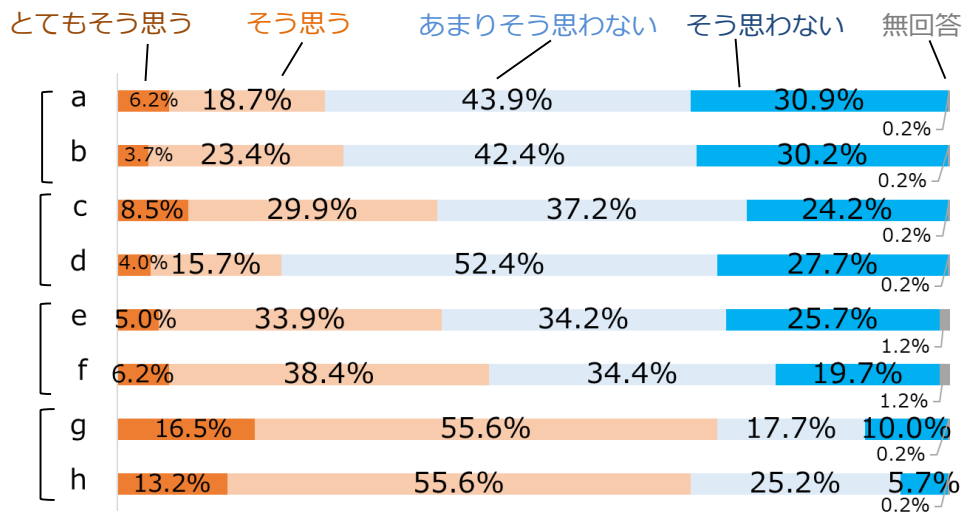
n=2,338学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見（国公私立別）

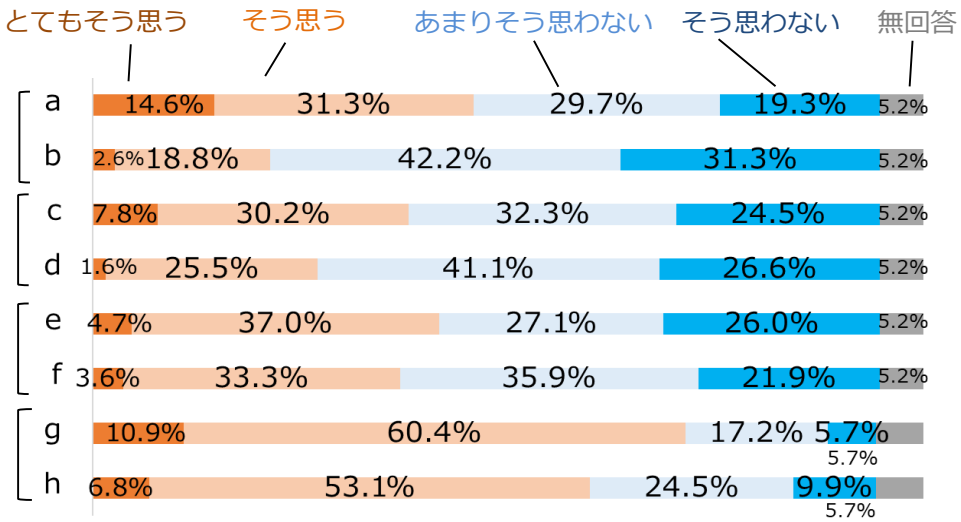
国立大学

（n=401学部・単数回答）



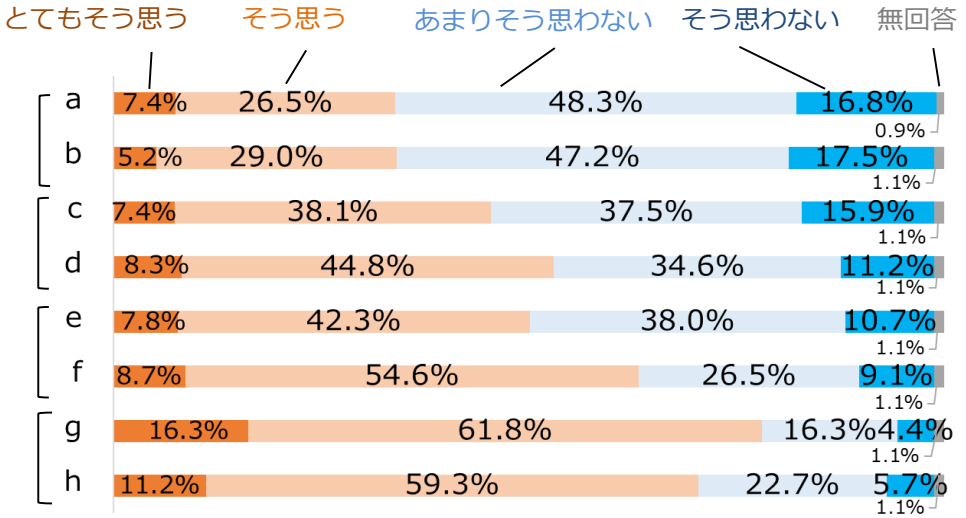
公立大学

（n=192学部・単数回答）



私立大学

（n=1,745学部・単数回答）



【アルファベットの意味】

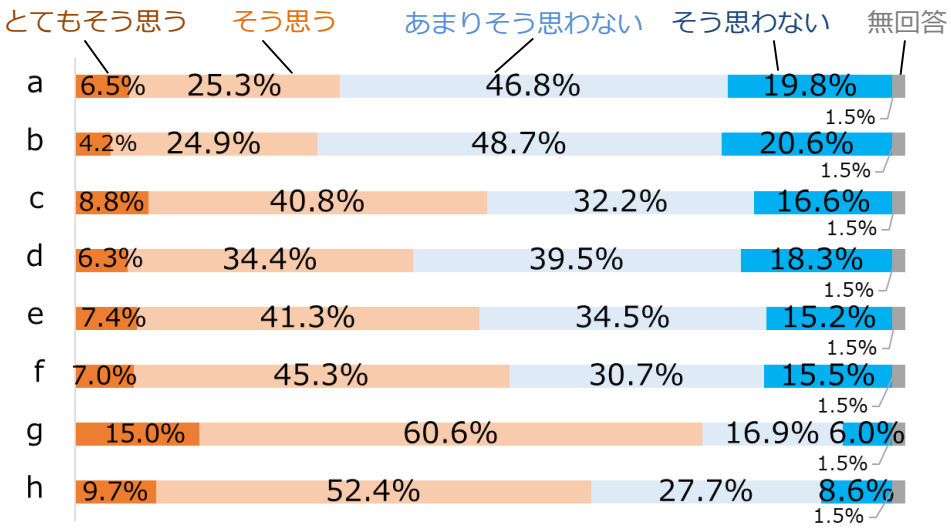
a.大学入学共通テストに出題して評価すべき
b.大学入学共通テストの枠組で英語資格・検定試験を活用して評価すべき
c.個別入試（一般選抜）において各大学が独自に評価すべき
d.個別入試（一般選抜）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
e.個別入試（総合型、学校推薦型）において各大学が独自に評価すべき
f.個別入試（総合型、学校推薦型）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
g.大学入学後の教育において各大学が独自に評価すべき
h.大学入学後の教育において英語資格・検定試験を活用して評価すべき

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見（学部規模別）

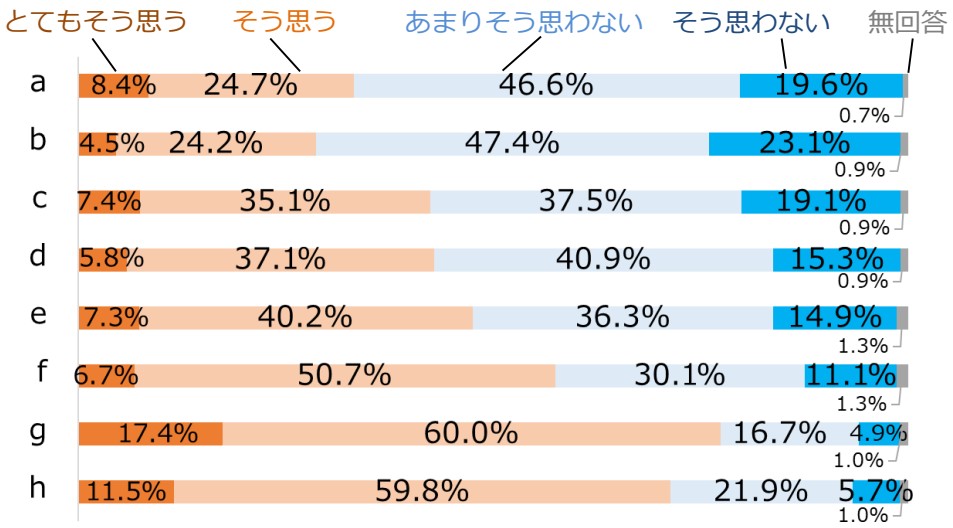
入学定員：150人未満

（n=782学部・単数回答）



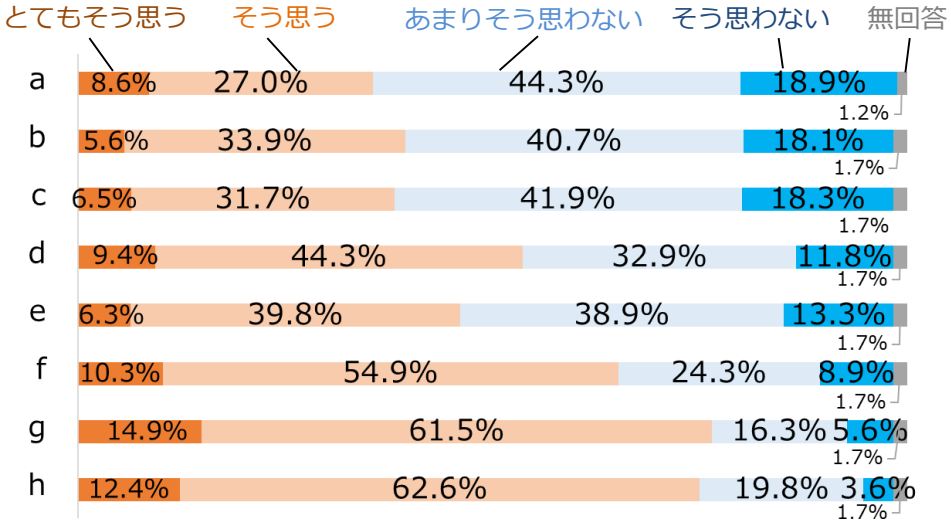
入学定員：150人～300人未満

（n=893学部・単数回答）



入学定員：300人以上

（n=663学部・単数回答）



【アルファベットの意味】
a.大学入学共通テストに出題して評価すべき
b.大学入学共通テストの枠組で英語資格・検定試験を活用して評価すべき
c.個別入試（一般選抜）において各大学が独自に評価すべき
d.個別入試（一般選抜）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
e.個別入試（総合型、学校推薦型）において各大学が独自に評価すべき
f.個別入試（総合型、学校推薦型）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
g.大学入学後の教育において各大学が独自に評価すべき
h.大学入学後の教育において英語資格・検定試験を活用して評価すべき

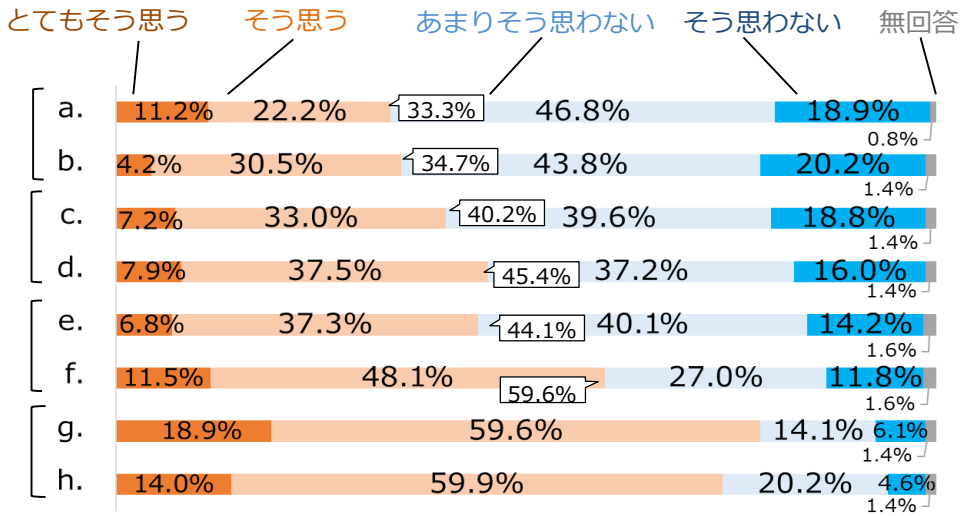
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

英語のスピーキング・ライティングの評価方法への意見

（入学者受入れの方針における英語の能力に関する記載別）

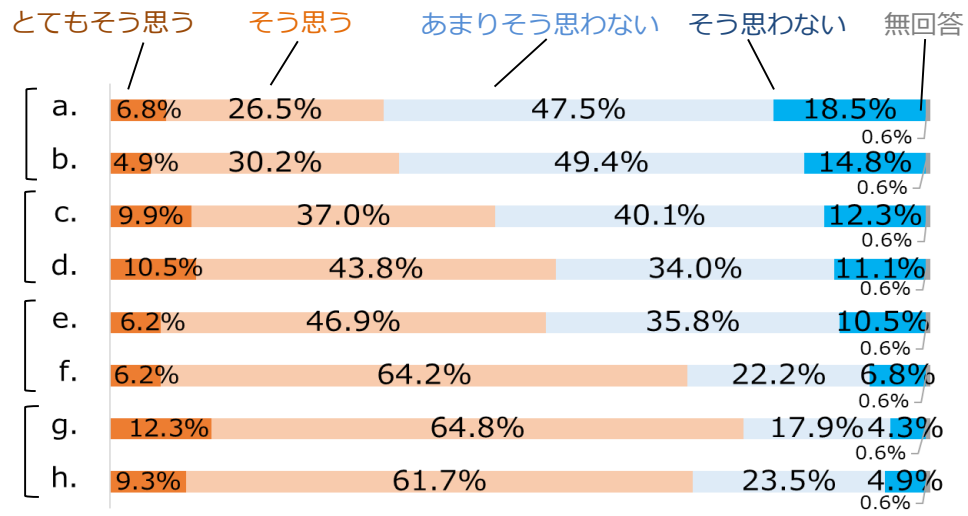
学部内すべての方針に記載有り

（n=873学部・単数回答）



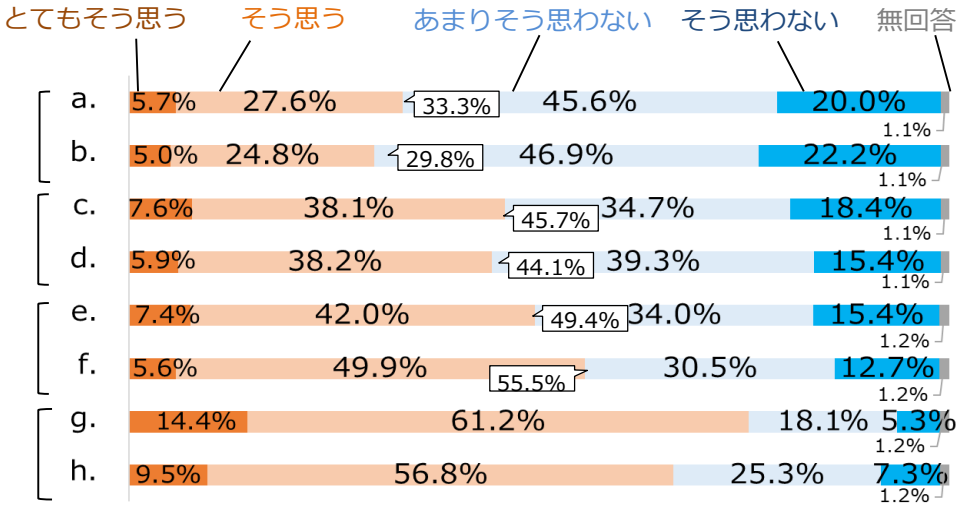
学部内の一部の学科等の方針に記載有り

（n=162学部・単数回答）



学部内すべての方針に記載無し

（n=1,295学部・単数回答）



※各学部の入学者の受入れに関する方針において，どのような英語の能力を評価するかについて記載しているか、「○：学部全体の方針に記載有り又は学部内のすべての学科・コース等の方針に記載有り」、「△：学部内の一部の学科・コース等の方針に記載有り」、「×：学部内のどの学科・コース等の方針にも記載無し」のいずれかで回答。

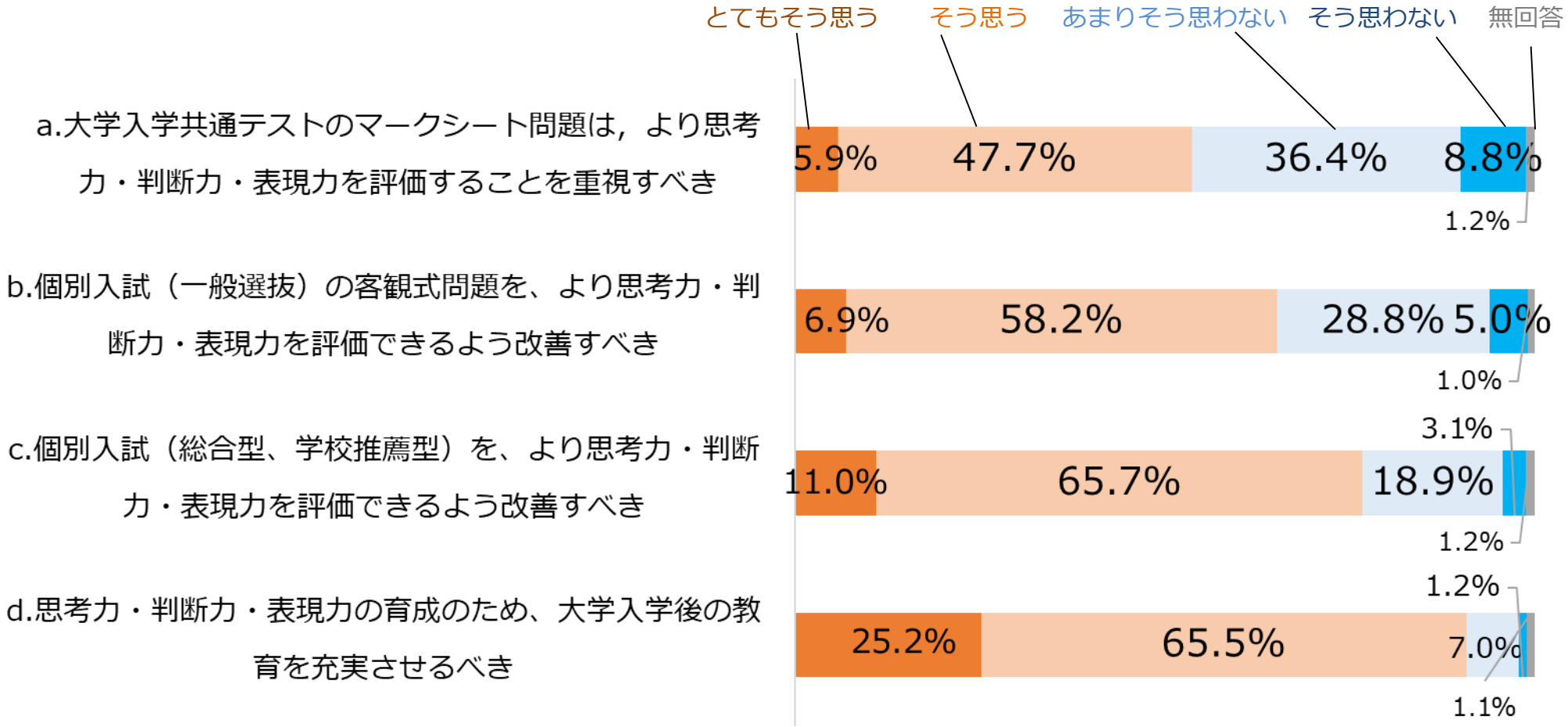
当該回答区分ごとに、英語のスピーキング・ライティングの評価方法等に関する以下のそれぞれ意見に対して，「とてもそう思う」～「そう思わない」の中から，考えにもっとも近いものを選択。

a.大学入学共通テストに出題して評価すべき
b.大学入学共通テストの枠組で英語資格・検定試験を活用して評価すべき
c.個別入試（一般選抜）において各大学が独自に評価すべき
d.個別入試（一般選抜）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
e.個別入試（総合型、学校推薦型）において各大学が独自に評価すべき
f.個別入試（総合型、学校推薦型）において英語資格・検定試験を活用して評価すべき
g.大学入学後の教育において各大学が独自に評価すべき
h.大学入学後の教育において英語資格・検定試験を活用して評価すべき

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

大学入試において思考力・判断力・表現力をどこで評価すべきか

大学入試において思考力・判断力・表現力を評価すべきかについて、肯定的回答（とてもそう思う＋そう思う）をしたのが、
「a.共通テストで評価」で53.6%、
「b.一般入試で評価」で65.1%、
「c.総合型入試等で評価」で76.7%、
「d.入学後に充実」で90.7%。



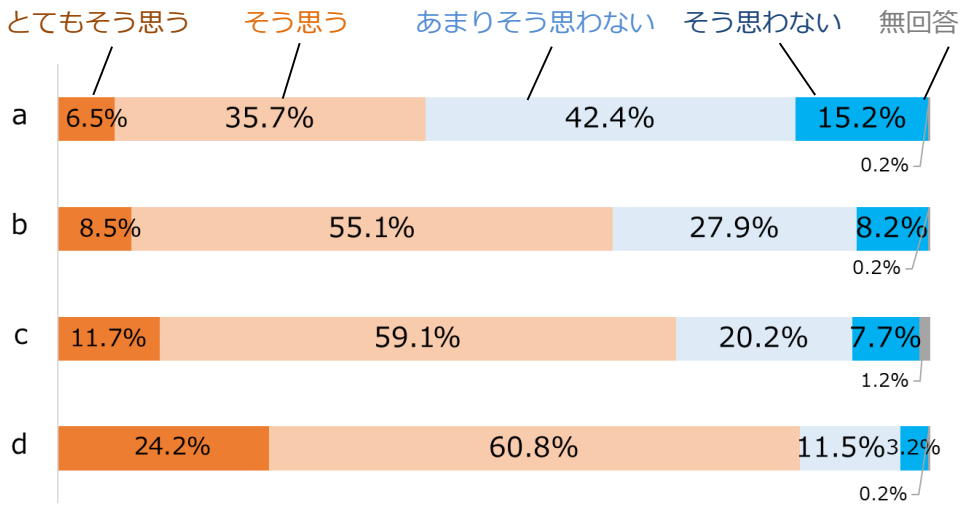
n=2,338学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

大学入試において思考力・判断力・表現力をどこで評価すべきか（国公私立別）

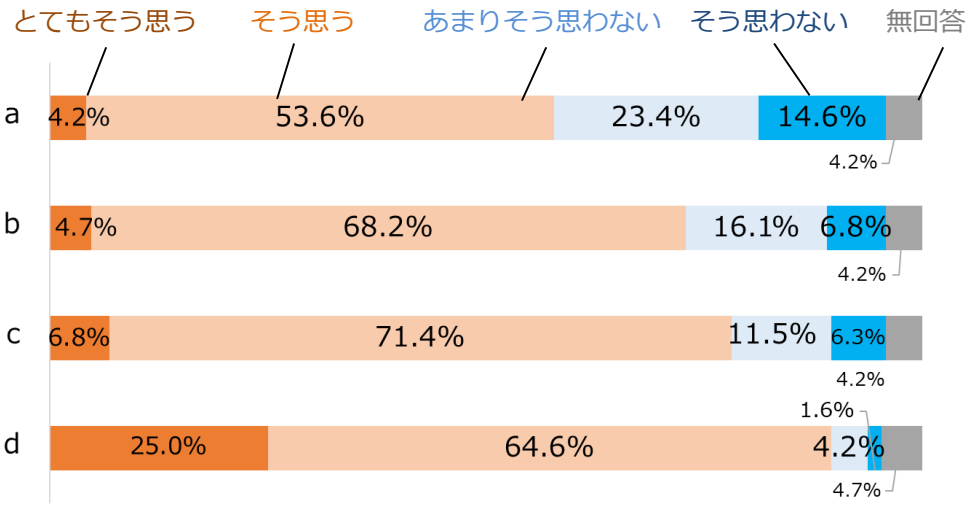
国立大学

（n=401学部・単数回答）



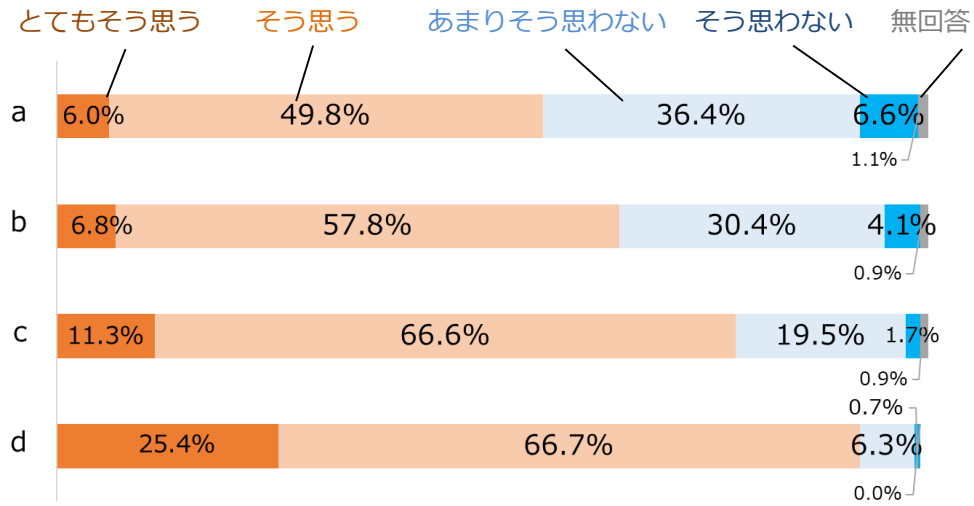
公立大学

（n=192学部・単数回答）



私立大学

（n=1,745学部・単数回答）



【アルファベットの意味】

a. 大学入学共通テストのマークシート問題は，より思考力・判断力・表現力を評価することを重視すべき

b. 個別入試（一般選抜）の客観式問題を、より思考力・判断力・表現力を評価できるよう改善すべき

c. 個別入試（総合型、学校推薦型）を、より思考力・判断力・表現力を評価できるよう改善すべき

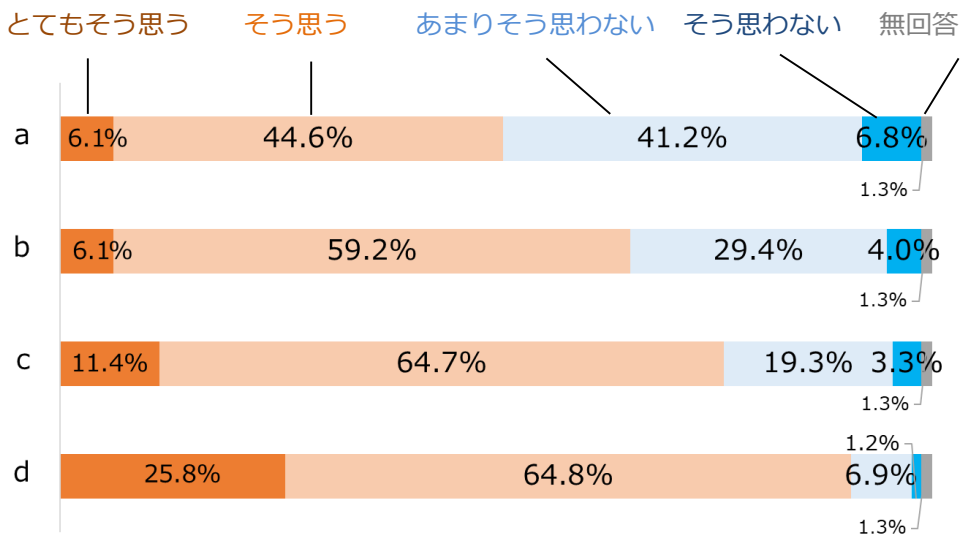
d. 思考力・判断力・表現力の育成のため、大学入学後の教育を充実させるべき

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

大学入試において思考力・判断力・表現力をどこで評価すべきか（学部規模別）

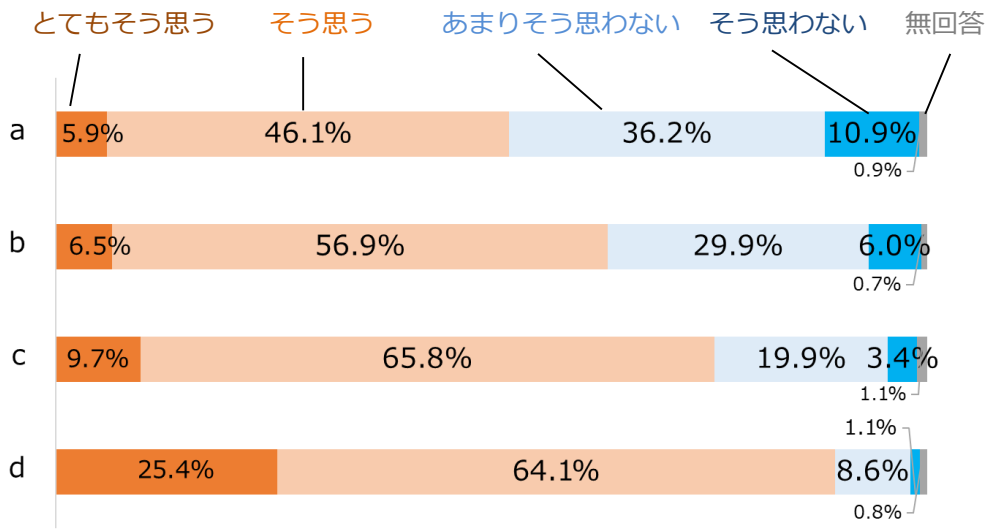
入学定員：150人未満

（n=782学部・単数回答）



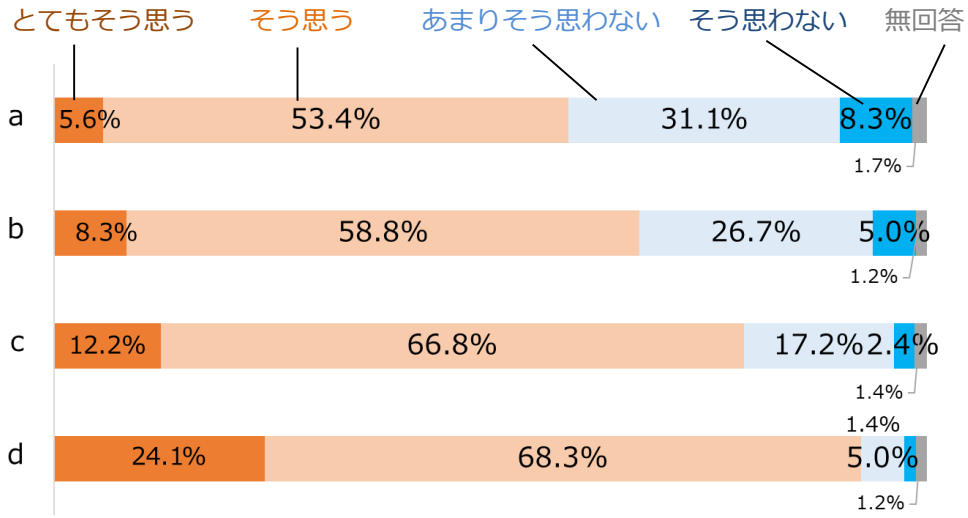
入学定員：150人～300人未満

（n=893学部・単数回答）



入学定員：300人以上

（n=663学部・単数回答）



【アルファベットの意味】

a. 大学入学共通テストのマークシート問題は，より思考力・判断力・表現力を評価することを重視すべき

b. 個別入試（一般選抜）の客観式問題を、より思考力・判断力・表現力を評価できるよう改善すべき

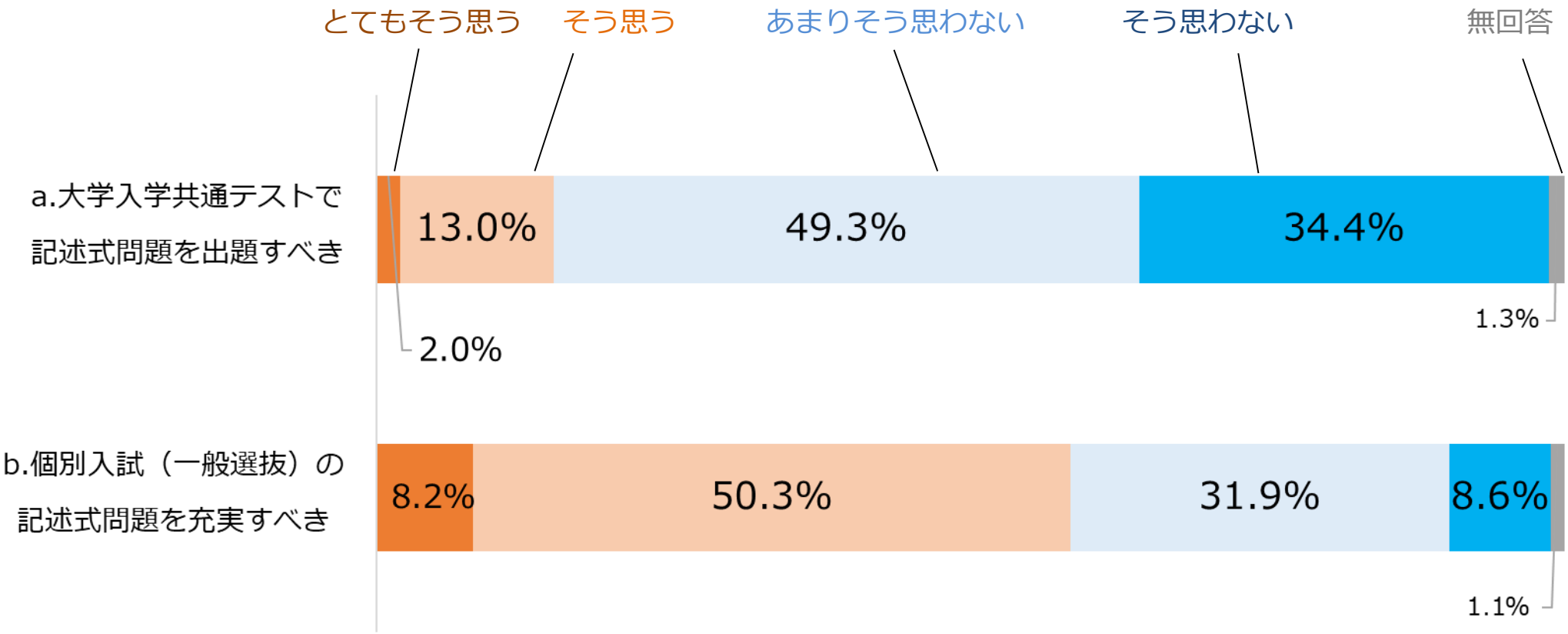
c. 個別入試（総合型、学校推薦型）を、より思考力・判断力・表現力を評価できるよう改善すべき

d. 思考力・判断力・表現力の育成のため、大学入学後の教育を充実させるべき

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

記述式問題への意見

記述式問題について、肯定的回答（とてもそう思う＋そう思う）をしたのが、
「a.共通テストで出題」で15.0%、
「b.一般入試で充実」で58.5%。



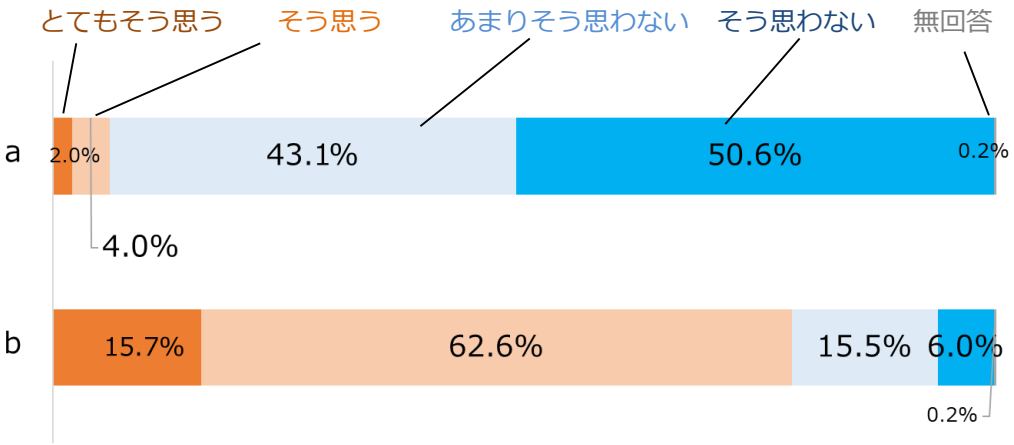
n=2,338学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

記述式問題への意見（国公私立別）

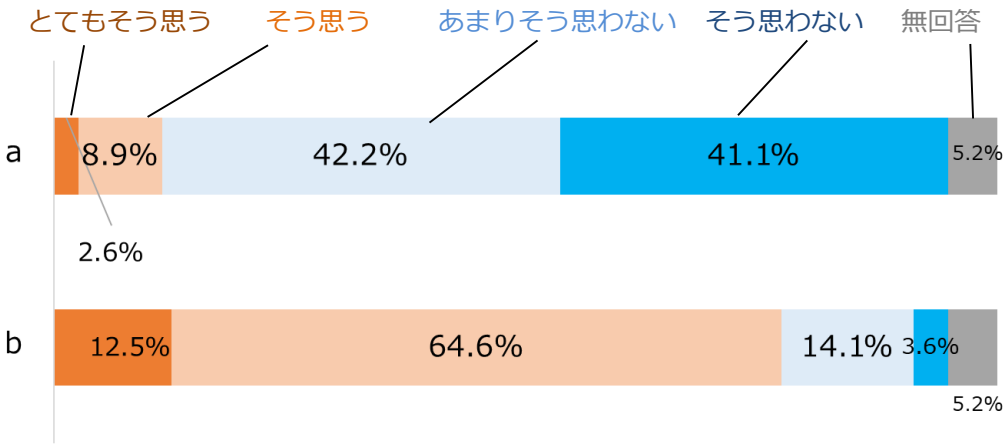
国立大学

（n=401学部・単数回答）



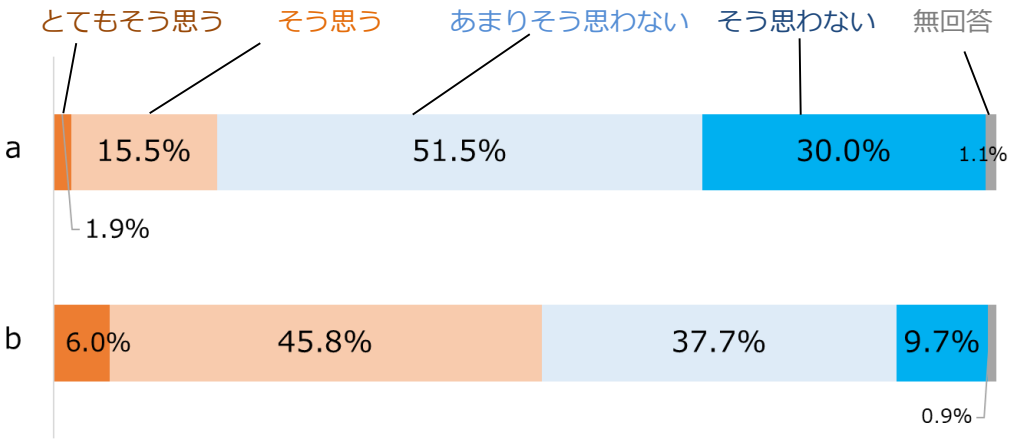
公立大学

（n=192学部・単数回答）



私立大学

（n=1,745学部・単数回答）



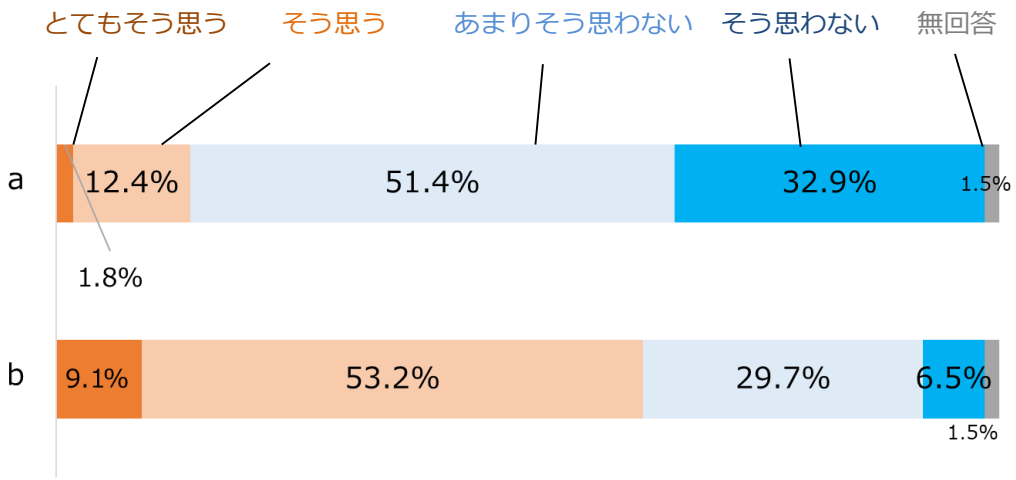
【アルファベットの意味】
a. 大学入学共通テストで記述式問題を出題すべき
b. 個別入試（一般選抜）の記述式問題を充実すべき

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

記述式問題への意見（学部規模別）

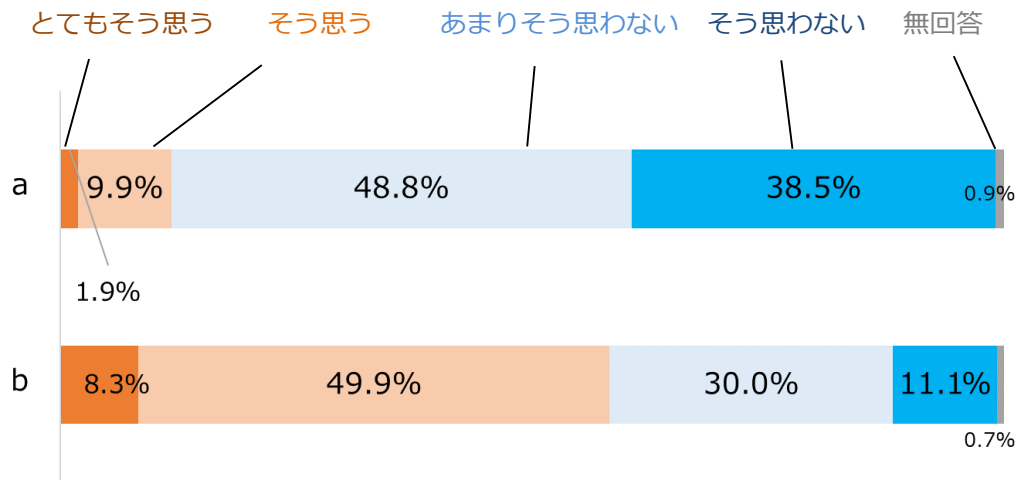
入学定員：150人未満

（n=782学部・単数回答）



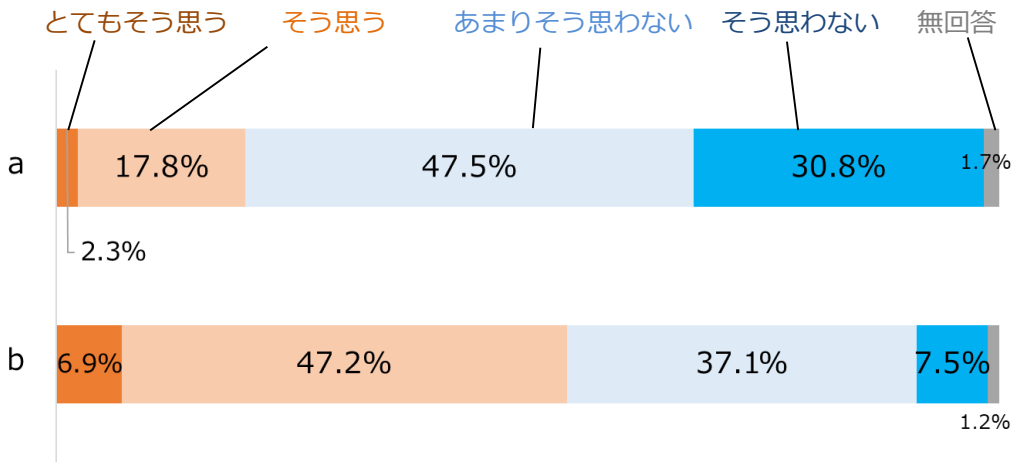
入学定員：150人～300人未満

（n=893学部・単数回答）



入学定員：300人以上

（n=663学部・単数回答）



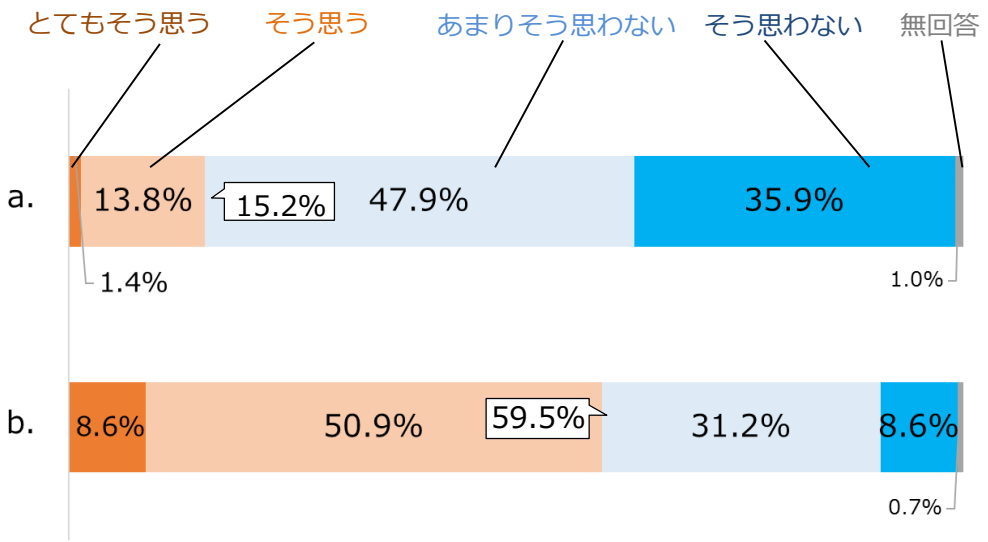
【アルファベットの意味】
a. 大学入学共通テストで記述式問題を出題すべき
b. 個別入試（一般選抜）の記述式問題を充実すべき

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

記述式問題への意見（入学者受入れの方針における【思考力・判断力・表現力】の育成・評価に関する記載別）

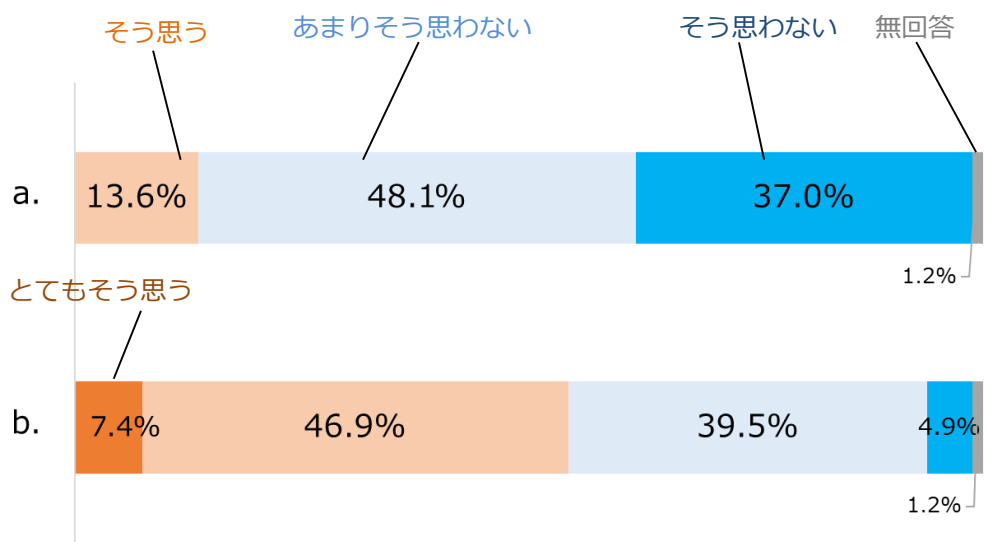
学部内すべての方針に記載有り

（n=1,787学部・単数回答）



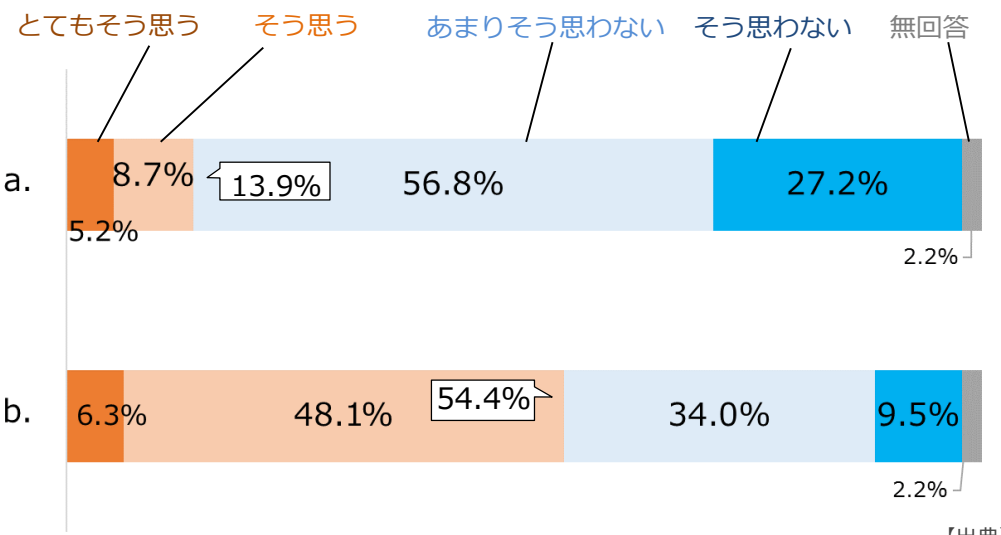
学部内の一部の学科等の方針に記載有り

（n=76学部・単数回答）



学部内すべての方針に記載無し

（n=351学部・単数回答）



※各学部の入学者の受入れに関する方針において，【思考力・判断力・表現力】の育成・評価について記載しているか、「○：学部全体の方針に記載有り又は学部内のすべての学科・コース等の方針に記載有り」、「△：学部内の一部の学科・コース等の方針に記載有り」、「×：学部内のどの学科・コース等の方針にも記載無し」のいずれかで回答。

当該回答区分ごとに、記述式問題出題に関する以下のそれぞれ意見に対して，「とてもそう思う」～「そう思わない」の中から，考えにもっとも近いものを選択。

a. 大学入学共通テストで記述式問題を出題すべき
b. 個別入試（一般選抜）の記述式問題を充実すべき

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

記述式問題への意見（国公私立・学部規模別別）

記述式問題への意見について、肯定的回答（とてもそう思う＋そう思う）をした設置主体別・学部規模別の学部の割合は以下の表のとおりである。

「a.大学入学共通テストで記述式問題を出題すべき」に肯定的回答をした学部の割合

	150人未満	150人以上300人未満	300人以上
国立大学	6.7%	4.1%	8.7%
公立大学	7.5%	13.2%	27.8%
私立大学	16.8%	13.9%	22.0%

「b.個別入試（一般選抜）の記述式問題を充実すべき」に肯定的回答をした学部の割合

	150人未満	150人以上300人未満	300人以上
国立大学	76.0%	80.4%	76.7%
公立大学	75.5%	79.4%	77.8%
私立大学	57.3%	49.1%	49.1%

n=2,338学部・単数回答
各区分毎の学部数は以下表のとおり

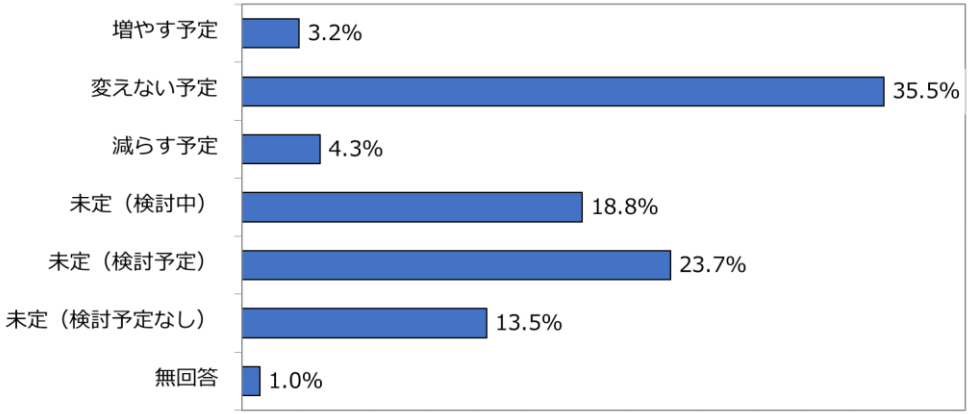
	150人未満	150人以上300人未満	300人以上
国	104	194	103
公	106	68	18
私	572	631	542

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

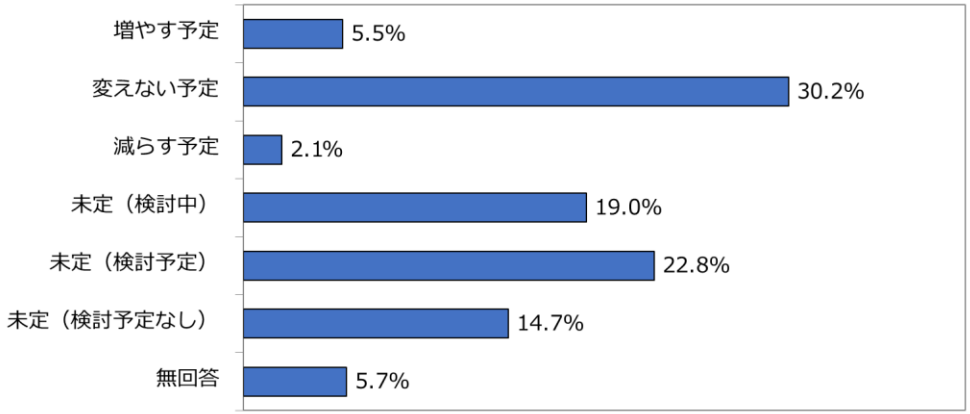
各入試方法における募集人員の増減予定

入試方法は今後も変えない予定を選択した大学が一般選抜で35.5% 、総合型選抜で30.2%、学校推薦型選抜で34.6%。一方、検討中・検討予定と選択した大学は一般選抜で42.5% 、総合型選抜で41.8%、学校推薦型選抜で43.3%。

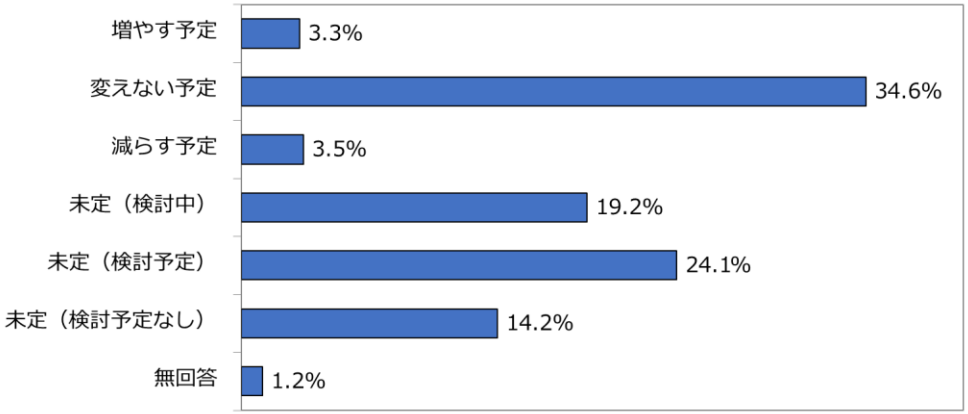
一般選抜



総合型選抜



学校推薦型選抜



n=2,338学部
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

２．入学者選抜の実態

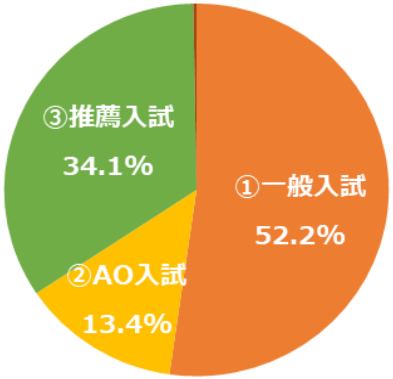
・入試方法 29
・学科系統分類別の入試方法（入学者数別） 31
・AO入試・推薦入試の試験回数 39
・推薦入試の種類 42
・私立大学における推薦入試の併願可否 44
・全学部又は複数学部での共通入試の実施 45
・出願期間の初日・最終日 46
・個別選抜日程 47
・合格発表日 48
・電子出願の可否 49

入試方法（国公私・選抜区分数別）

入試方法を選抜区分数別でみると、一般入試52.2%、AO入試13.4%、推薦入試34.1%である。

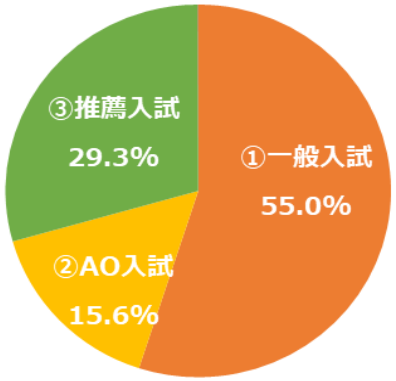
全　体（n=48,843選抜区分・単数回答）

無回答 0.3%



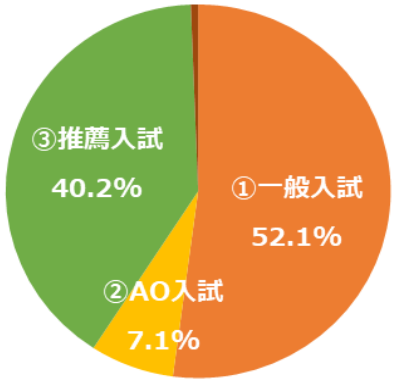
国立大学（n=4,596選抜区分・単数回答）

無回答 0.0%



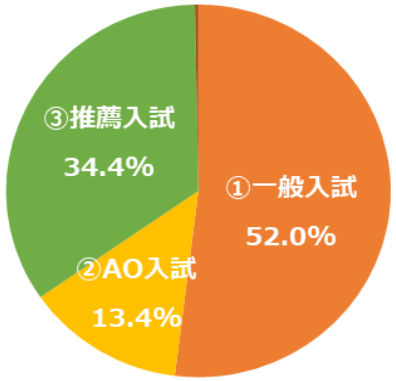
公立大学（n=1,474選抜区分・単数回答）

無回答 0.6%



私立大学（n=42,773選抜区分・単数回答）

無回答 0.3%



※ 本調査では、一般入試、AO入試及び推薦入試以外の入試方法は調査対象外としている。

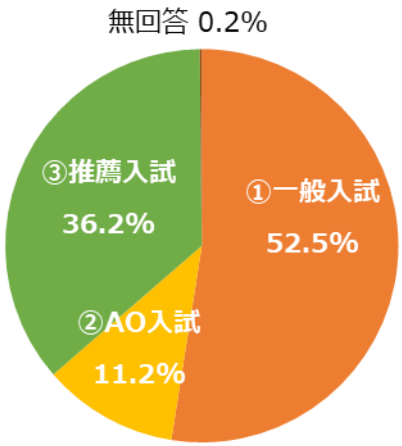
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

入試方法（国公私・入学者数別）

入試方法を入学者数（延べ人数）別でみると、一般入試52.5%、AO入試11.2%、推薦入試36.2%である。

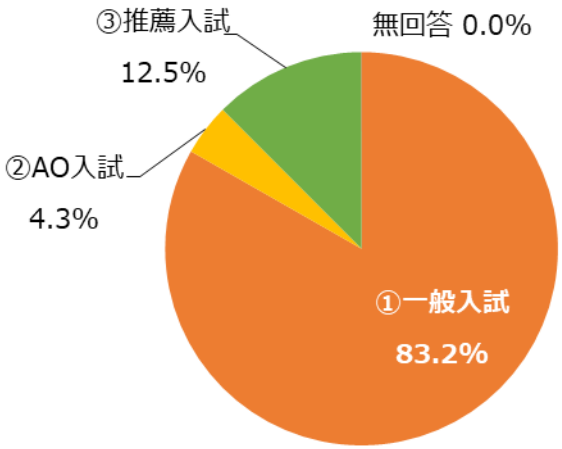
全　体

（n=581,348人・単数回答）



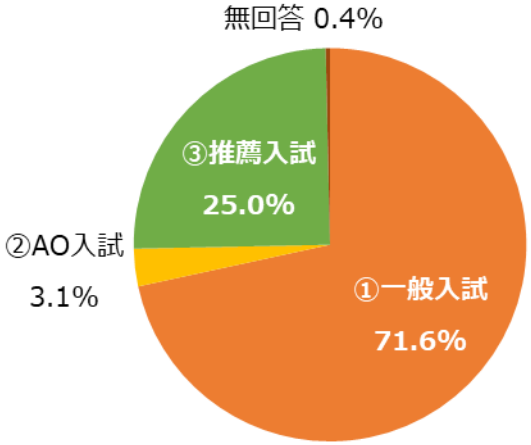
国立大学

（n=96,485人・単数回答）



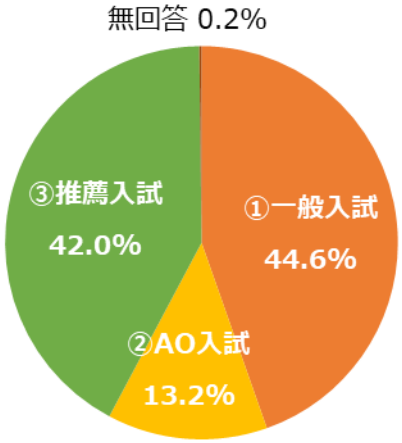
公立大学

（n=31,629人・単数回答）



私立大学

（n=453,234人・単数回答）



※ 本調査では、一般入試、AO入試及び推薦入試以外の入試方法は調査対象外としている。

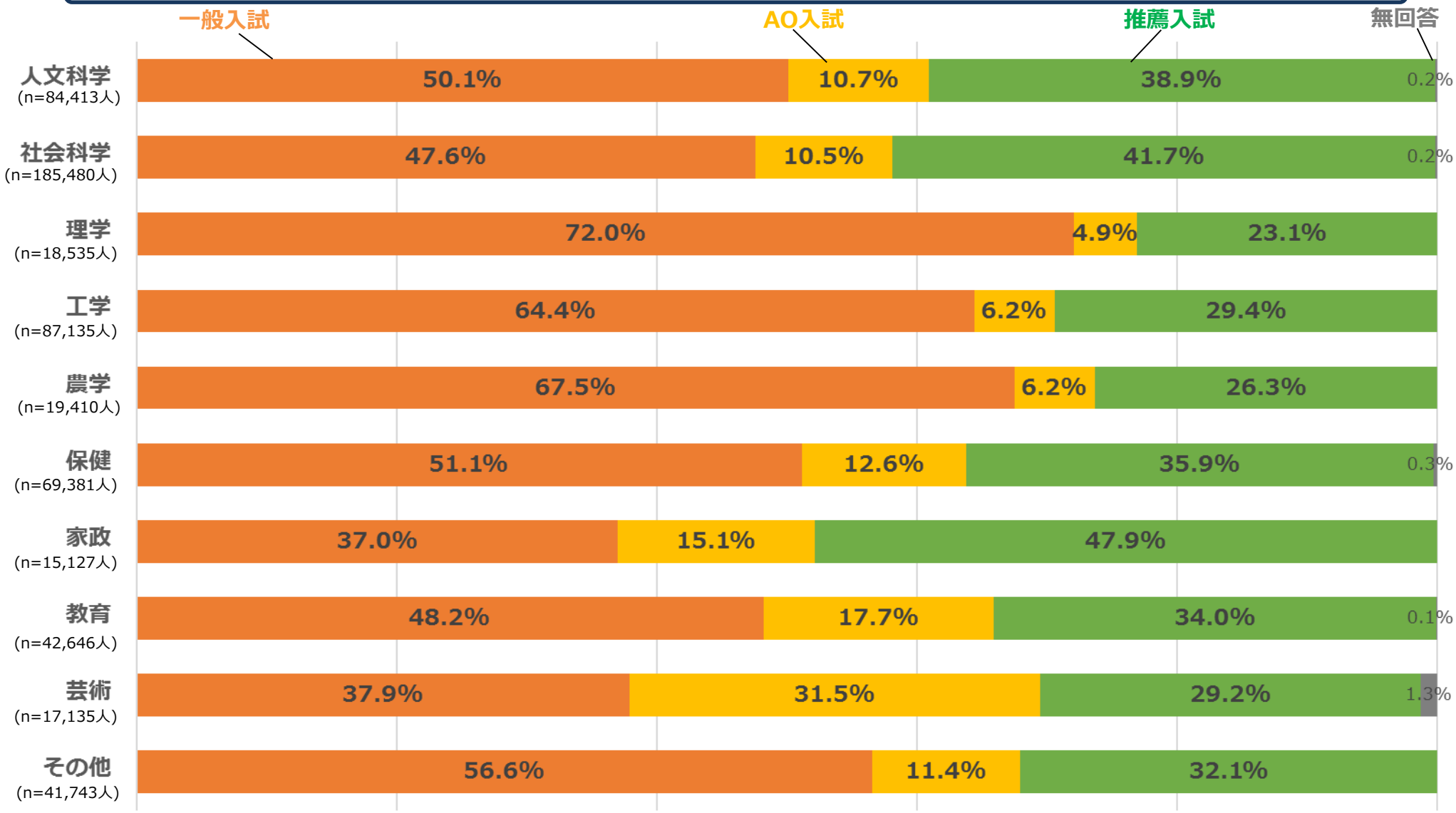
※ 本調査では、学部・学科を選択した上で選抜区分ごとに入学者数を回答するため、複数の学部・学科にまたがって実施される選抜区分の場合は、入学者数が重複して回答される。

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

学科系統分類別の入試方法（入学者数別）

新規

学科系統分類別（大分類（社会科学、保健については中分類））の入試方法で一般入試による入学者数の割合が多いのは、医学（75.9%）、理学（72.0%）、歯学（70.9%）。



n=581,348人
単数回答

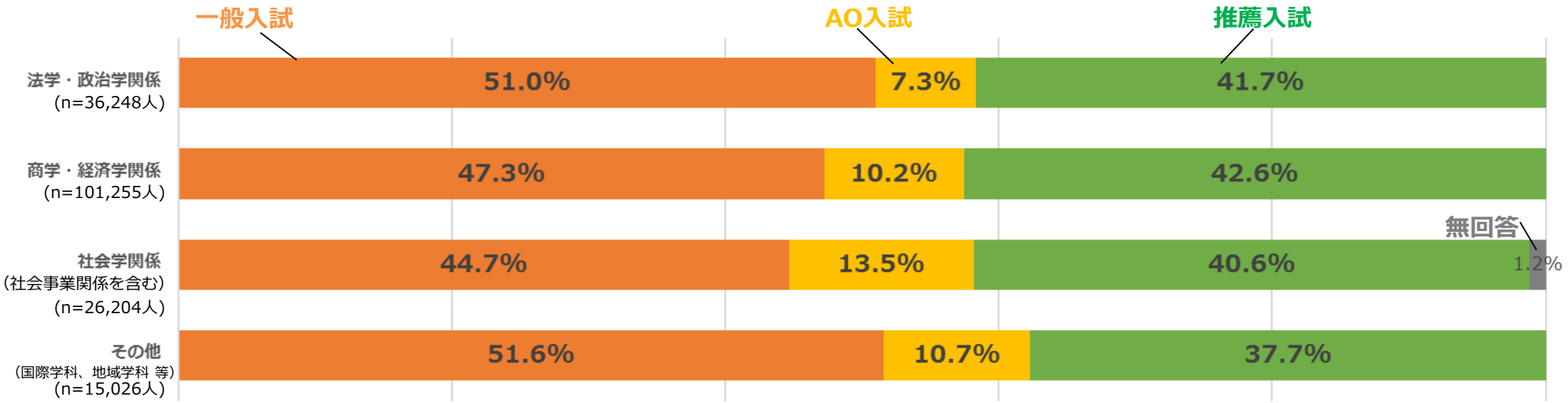
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

学科系統分類別の入試方法（入学者数別・社会科学／保健）

新規

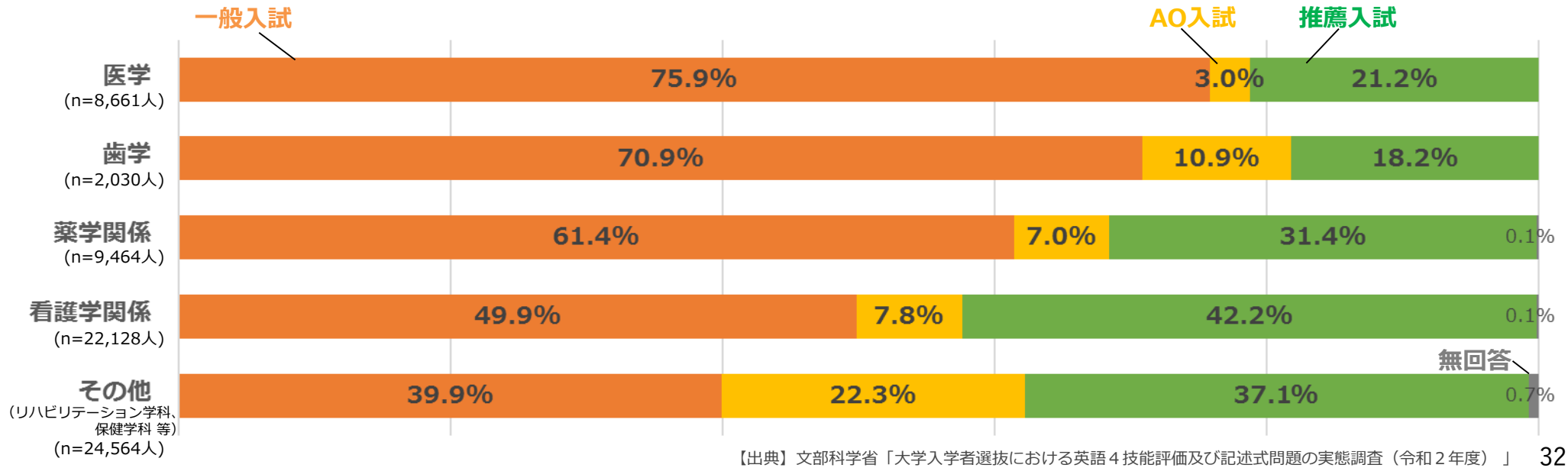
社会科学

（n=185,480人・単数回答）



保健

（n=69,381人・単数回答）

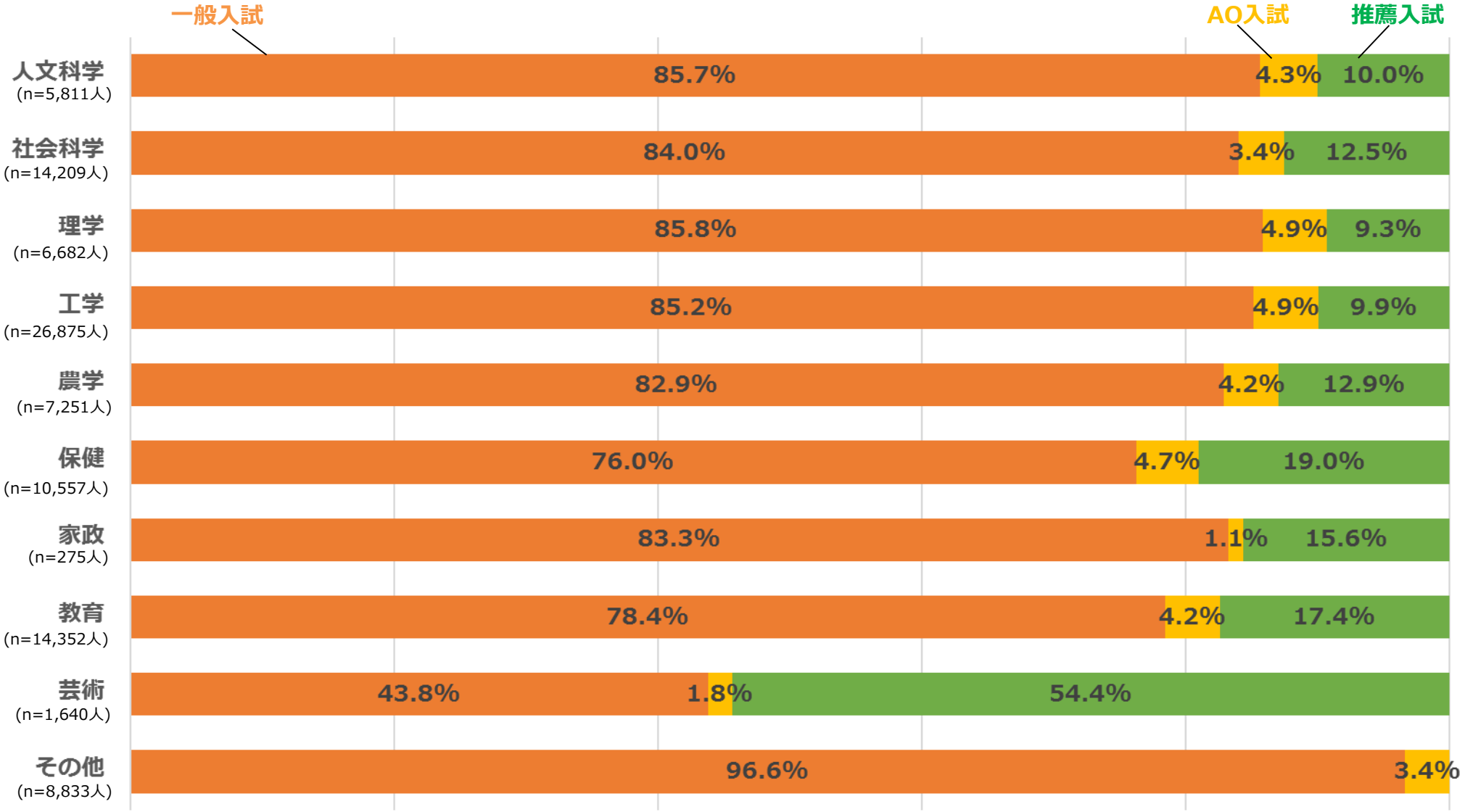


【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

学科系統分類別の入試方法（入学者数別・国立大学）

新規

国立大学における学科系統分類別（大分類（社会科学、保健については中分類））の入試方法で一般入試による入学者数の割合が多いのは、社会学関係（89.1%）、薬学関係（88.5%）、理学（85.8%）、法学・政治学関係（87.5%）。



n=96,485人
単数回答

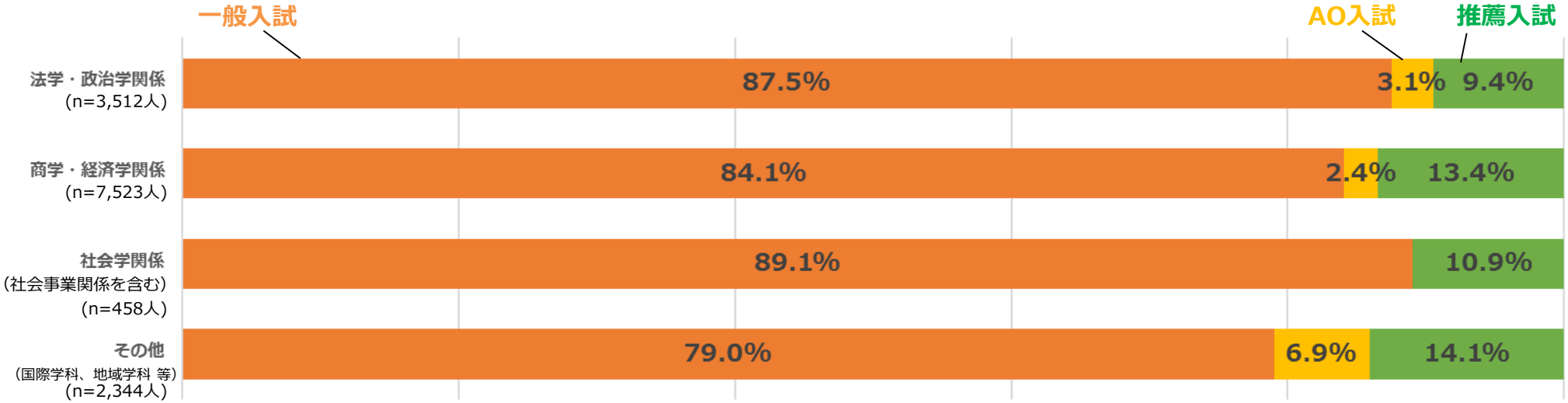
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

学科系統分類別の入試方法（入学者数別・国立大学・社会科学／保健）

新規

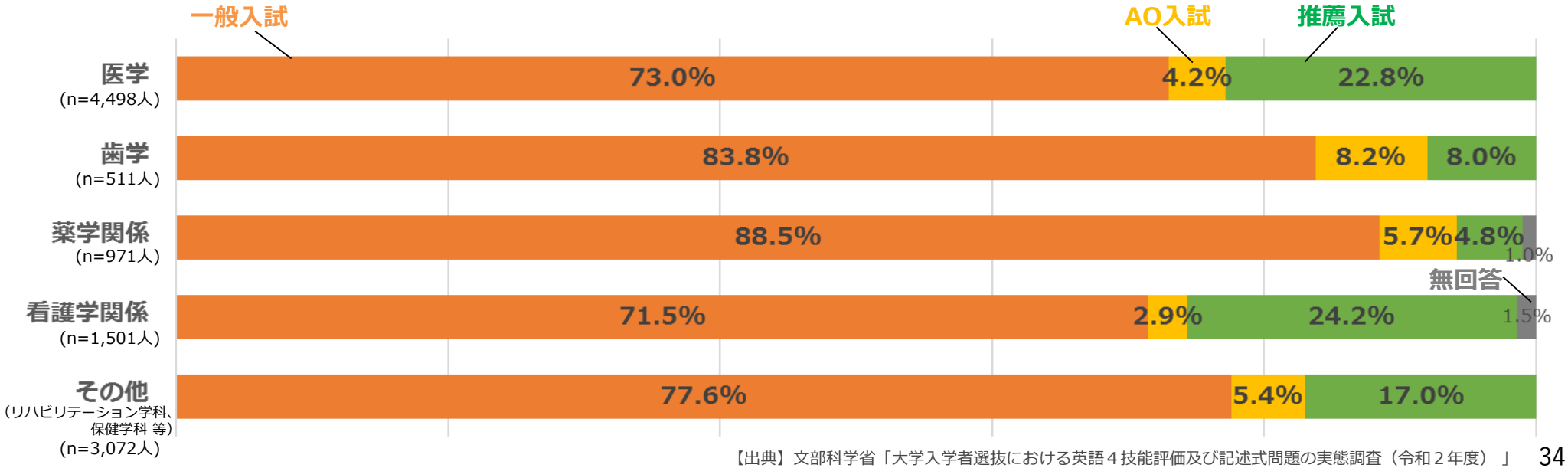
社会科学

（n=14,209人・単数回答）



保健

（n=10,557人・単数回答）

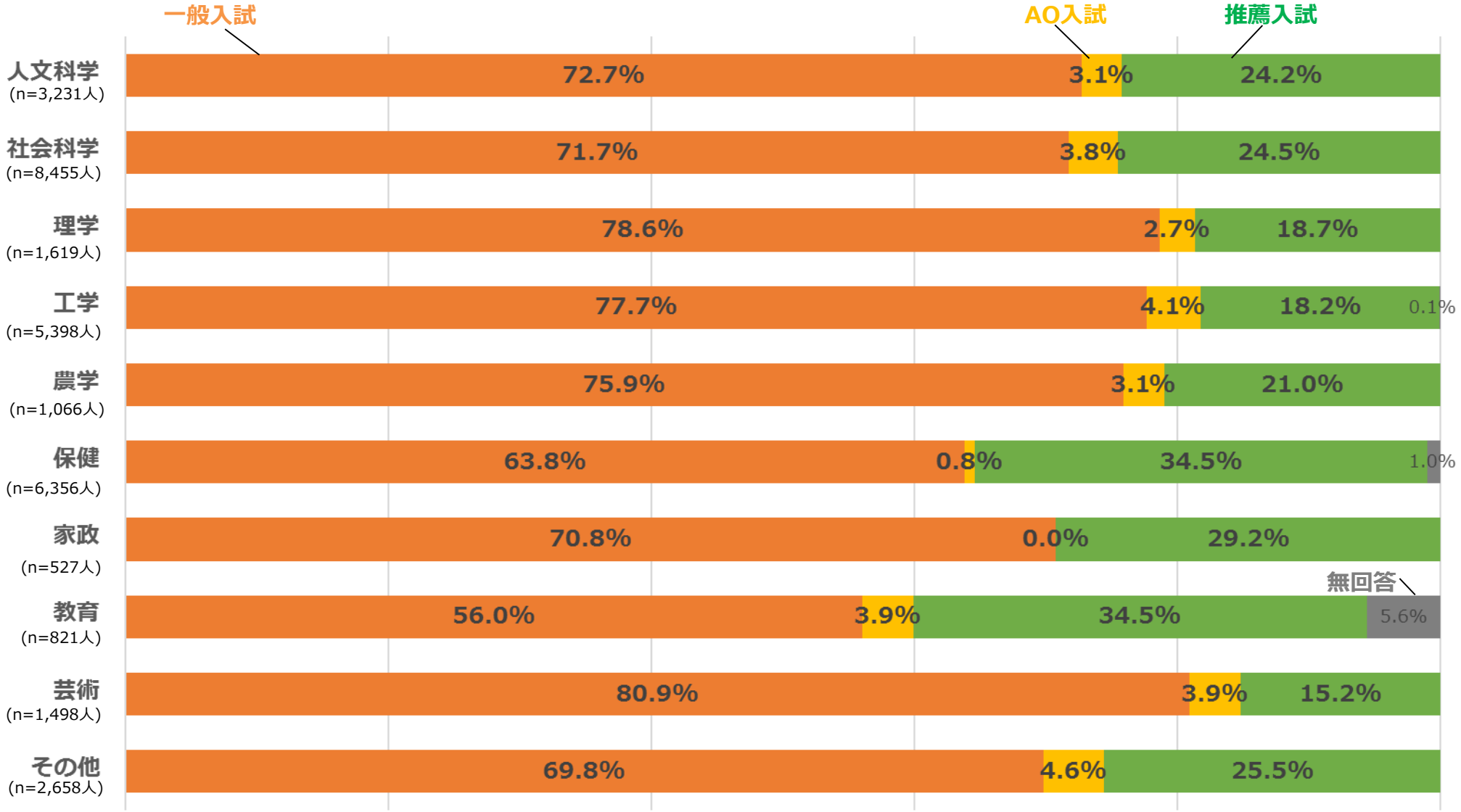


【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

学科系統分類別の入試方法（入学者数別・公立大学）

新規

公立大学における学科系統分類別（大分類（社会科学、保健については中分類））の入試方法で一般入試による入学者数の割合が多いのは、法学・政治学関係（95.6%）、歯学（87.5%）、芸術（80.9%）。



n=31,629人
単数回答

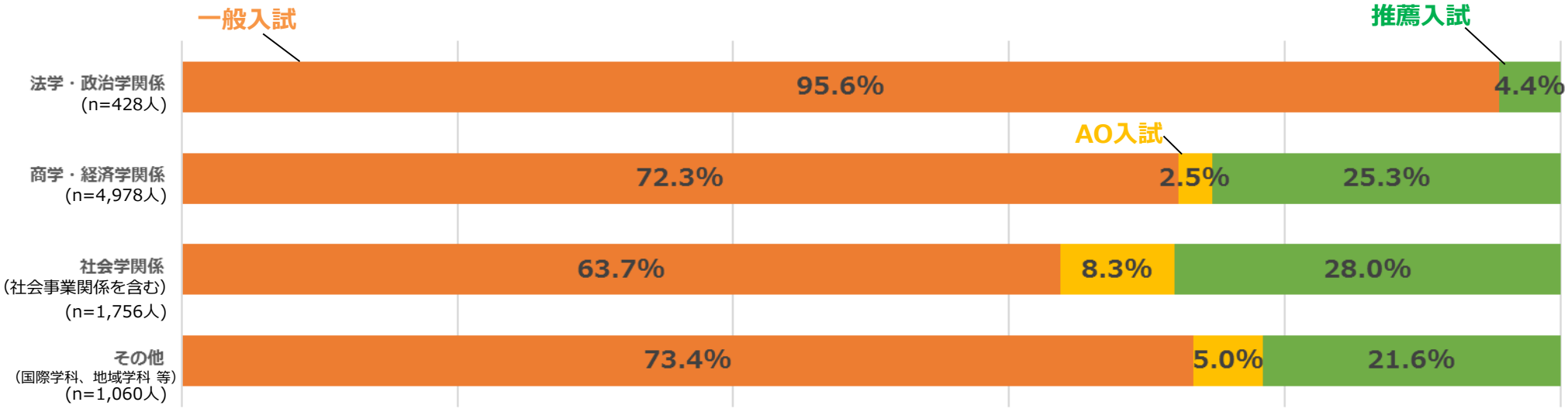
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

学科系統分類別の入試方法（入学者数別・公立大学・社会科学／保健）

新規

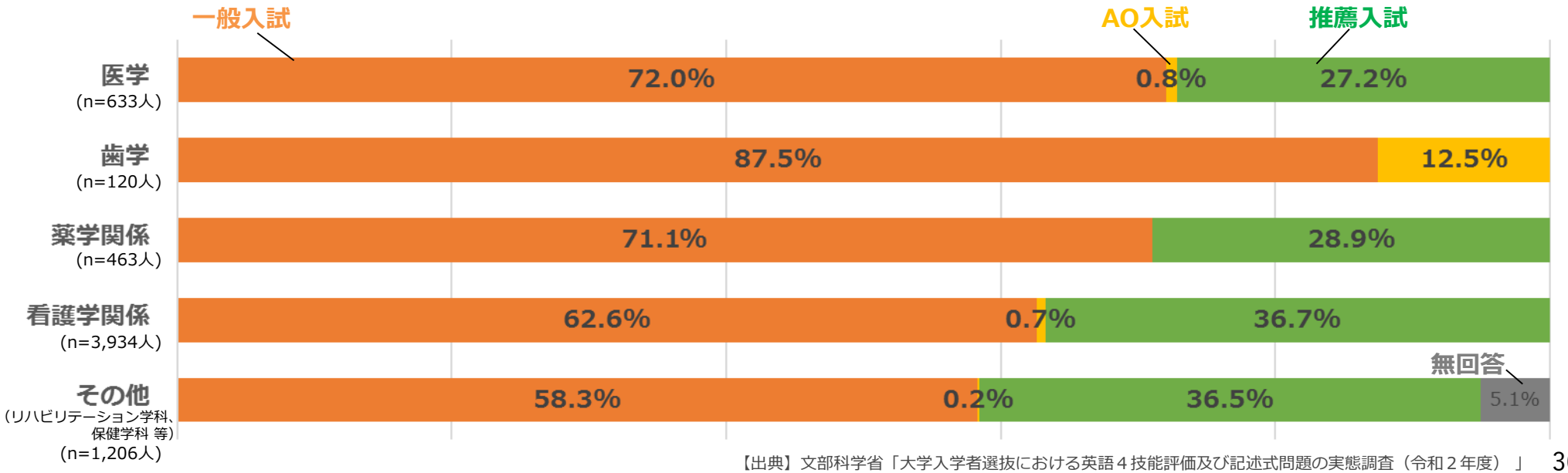
社会科学

（n=8,455人・単数回答）



保健

（n=6,356人・単数回答）

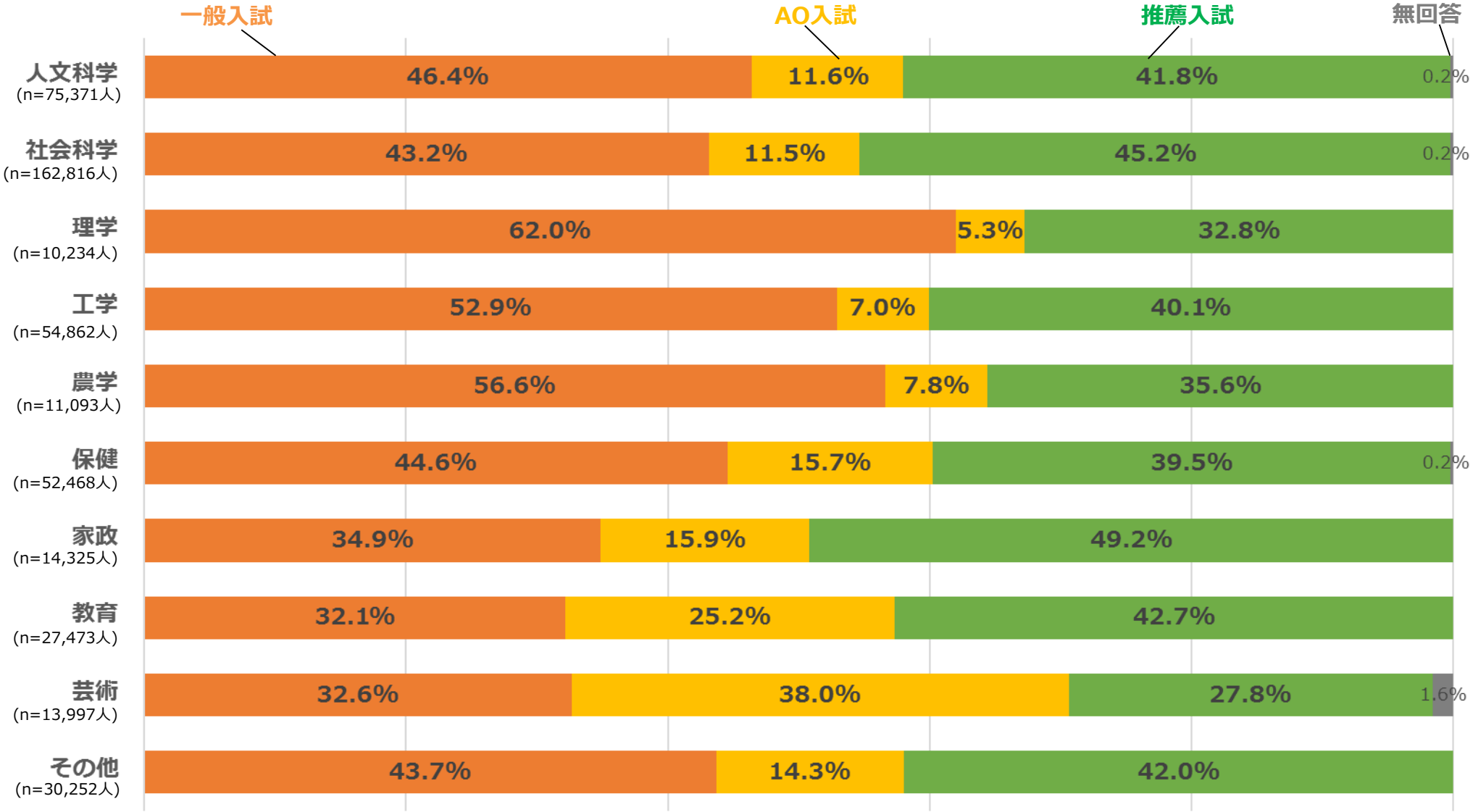


【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

学科系統分類別の入試方法（入学者数別・私立大学）

新規

公立大学における学科系統分類別（大分類（社会科学、保健については中分類））の入試方法で一般入試による入学者数の割合が多いのは、医学（80.2%）、歯学（64.8%）、理学（62.0%）。



n=453,234人
単数回答

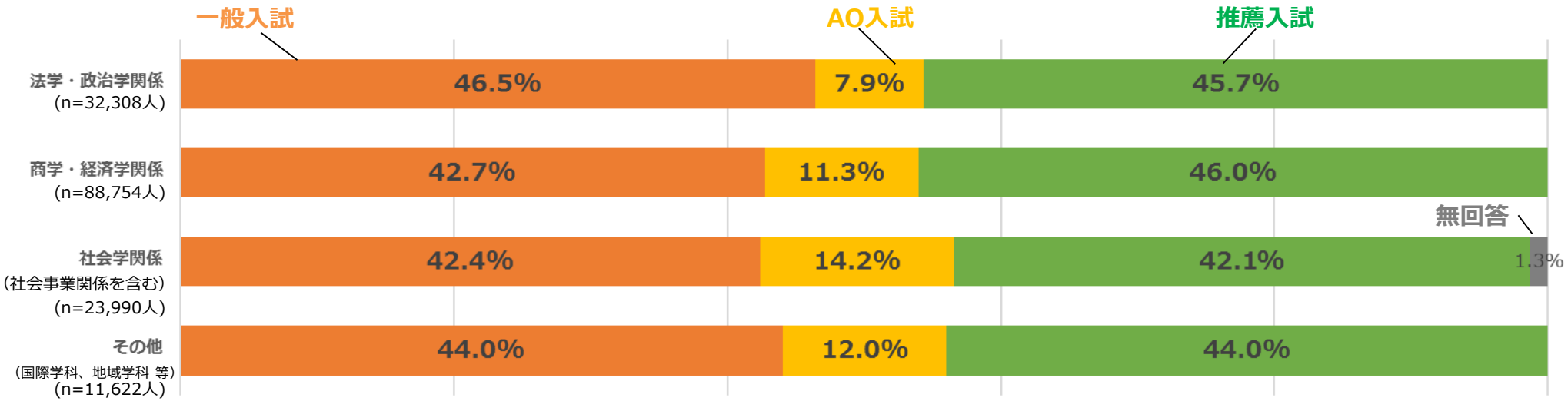
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

学科系統分類別の入試方法（入学者数別・私立大学・社会科学／保健）

新規

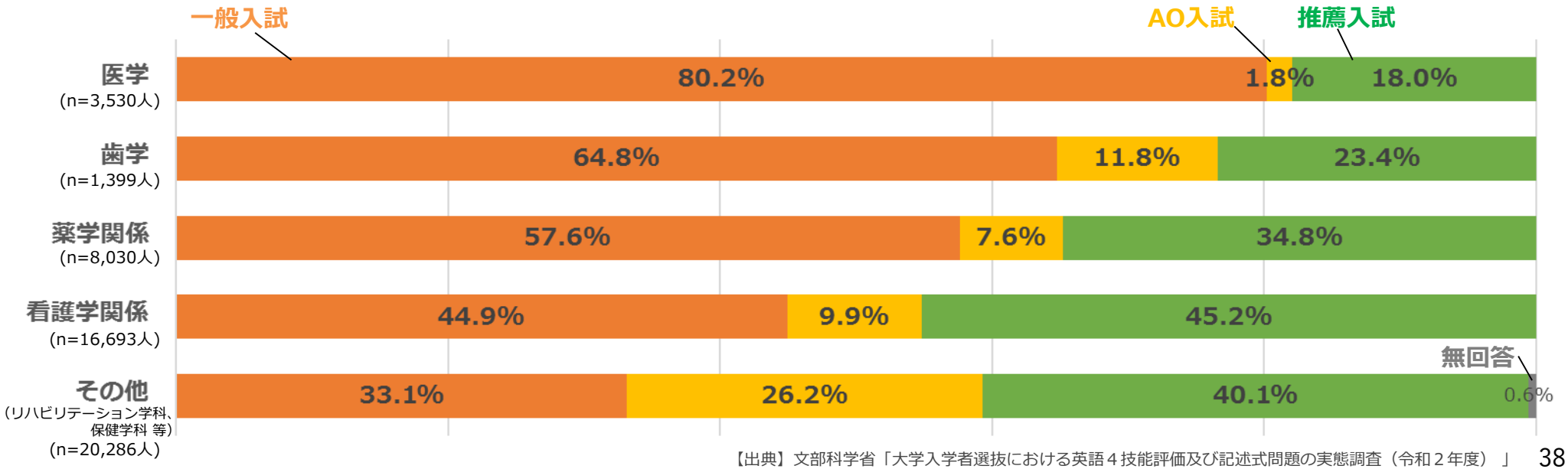
社会科学

（n=162,816人・単数回答）



保健

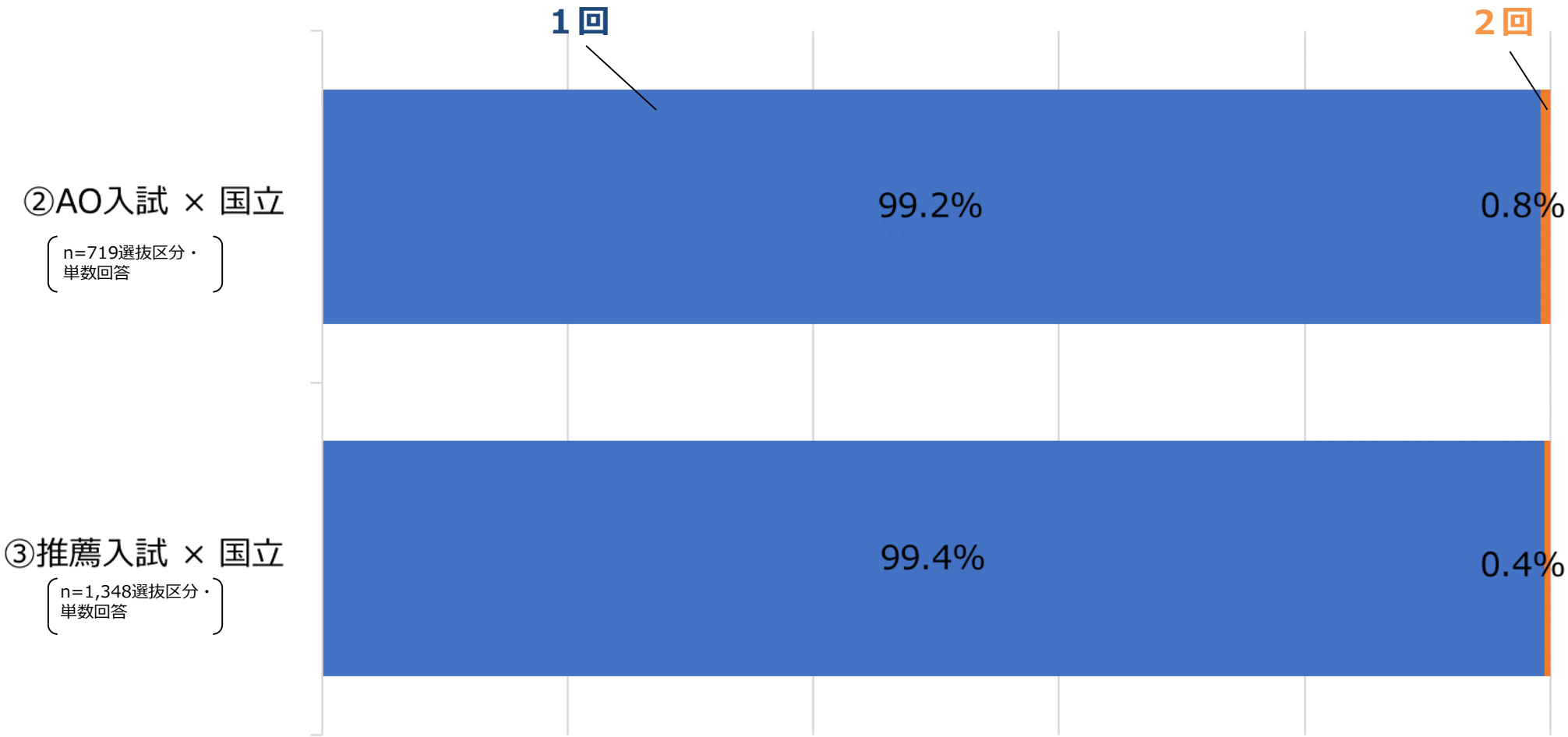
（n=52,468人・単数回答）



【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

AO入試・推薦入試の試験回数（国立大学）

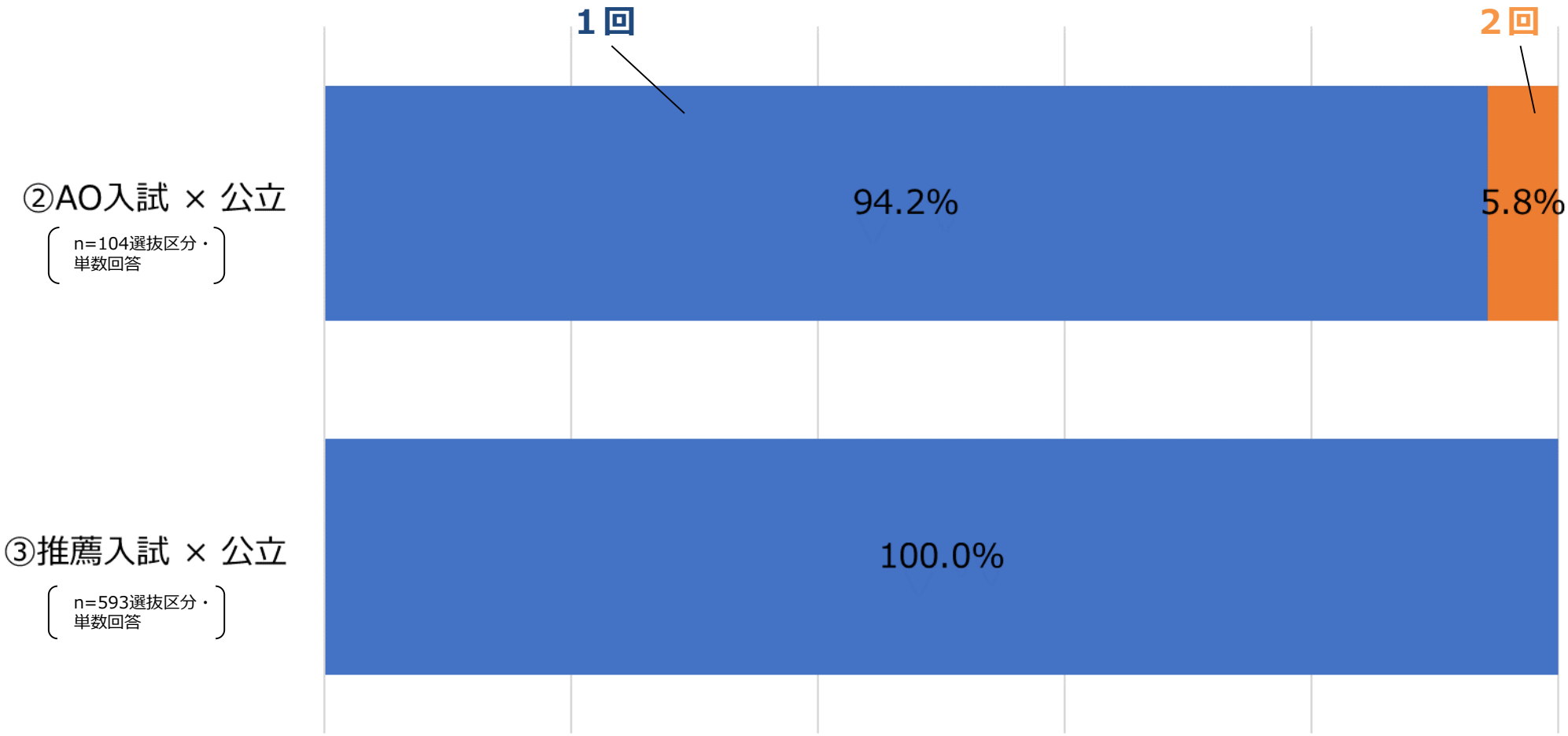
国立大学における、AO入試・推薦入試の選抜区分ごとの試験実施回数（受験可能な回数）は、
AO入試は1回が99.2%、2回が0.8%
推薦入試は1回が99.4%、2回が0.4%である。



【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

AO入試・推薦入試の試験回数（公立大学）

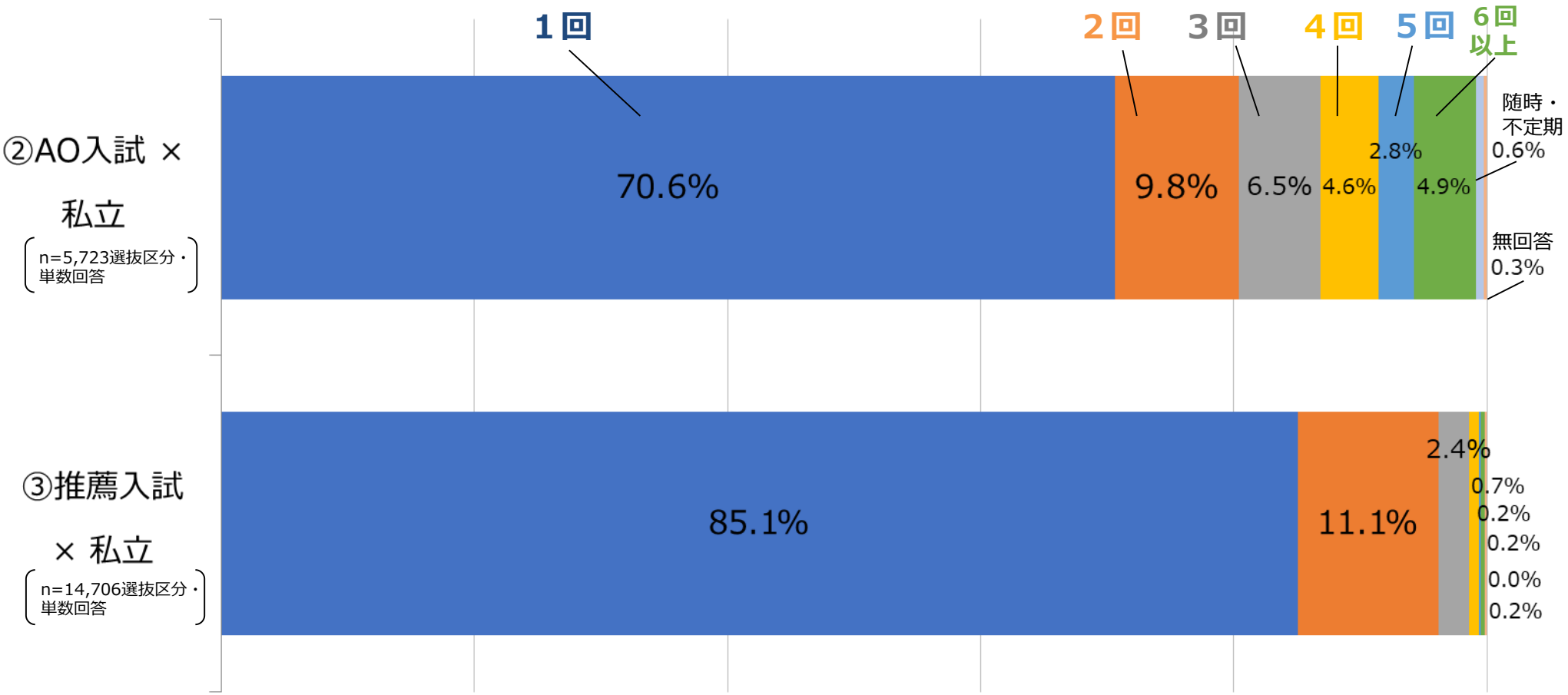
公立大学における、AO入試・推薦入試の選抜区分ごとの試験実施回数（受験可能な回数）は、
AO入試は1回が94.2%、2回が5.8%
推薦入試はすべて1回である。



【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

AO入試・推薦入試の試験回数（私立大学）

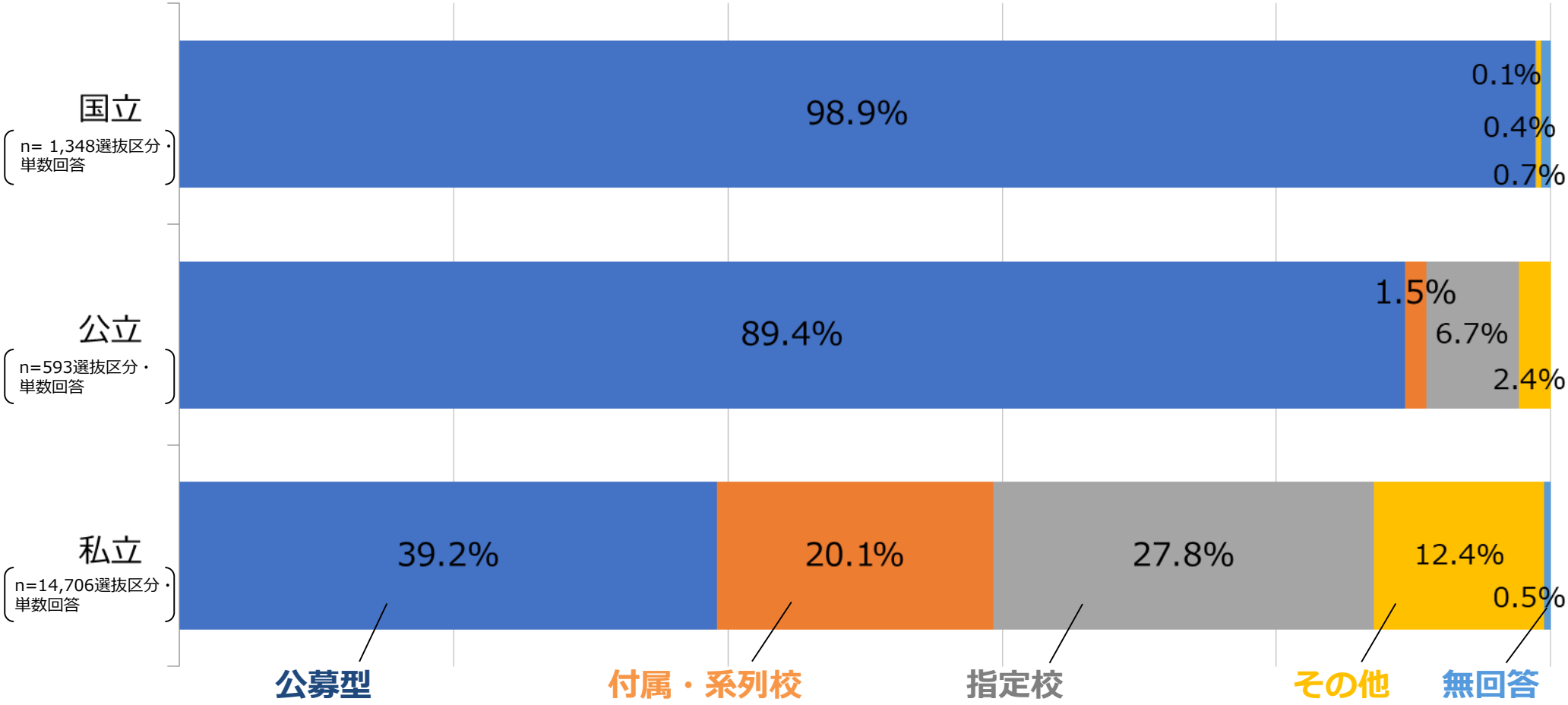
私立大学における、AO入試・推薦入試の選抜区分ごとの試験実施回数（受験可能な回数）は、
AO入試は1回が70.6%、2回が9.8%
推薦入試は1回が85.1%、2回が11.1%である。



【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

推薦入試の種類（国公私立・選抜区分数別）

推薦入試の種類を選抜区分数別でみると、公募型が国立では98.9%、公立では89.4%、私立では39.2%である。

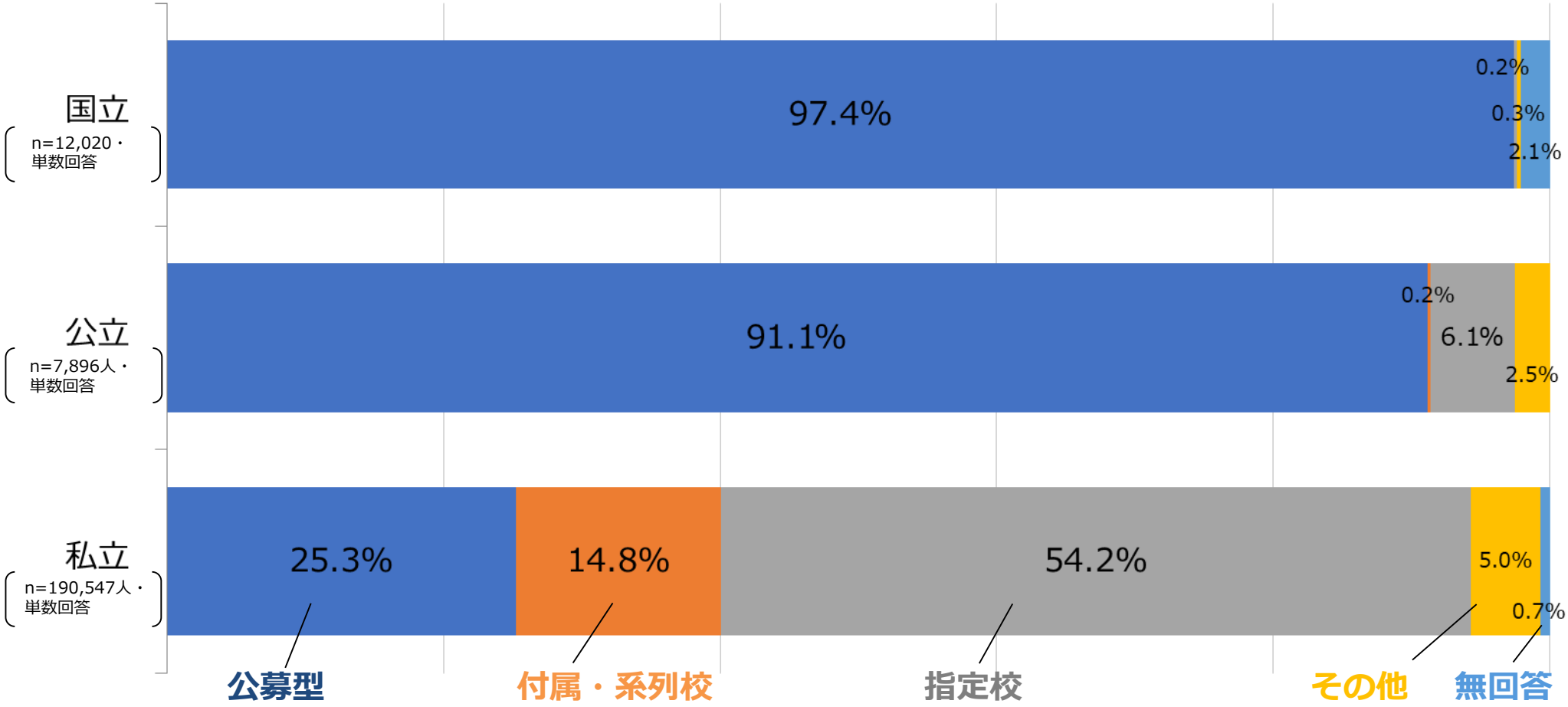


公募型	：大学が定める出題要件を満たし、かつ、所属学校の推薦を得られれば、誰でも出願できる推薦入試
付属・系列校	：大学の付属高校・系列高校の生徒のみが出願できる推薦入試
指定校	：大学が指定した学校の生徒のみが出願できる推薦入試（付属・系列校を除く）
その他	：上記以外の推薦入試（地域枠推薦、スポーツ推薦　など）

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

推薦入試の種類（国公私立・入学者数別）

推薦入試の種類を入学者数別でみると、公募型が国立では97.4%、公立では91.1%、私立では25.3%である。

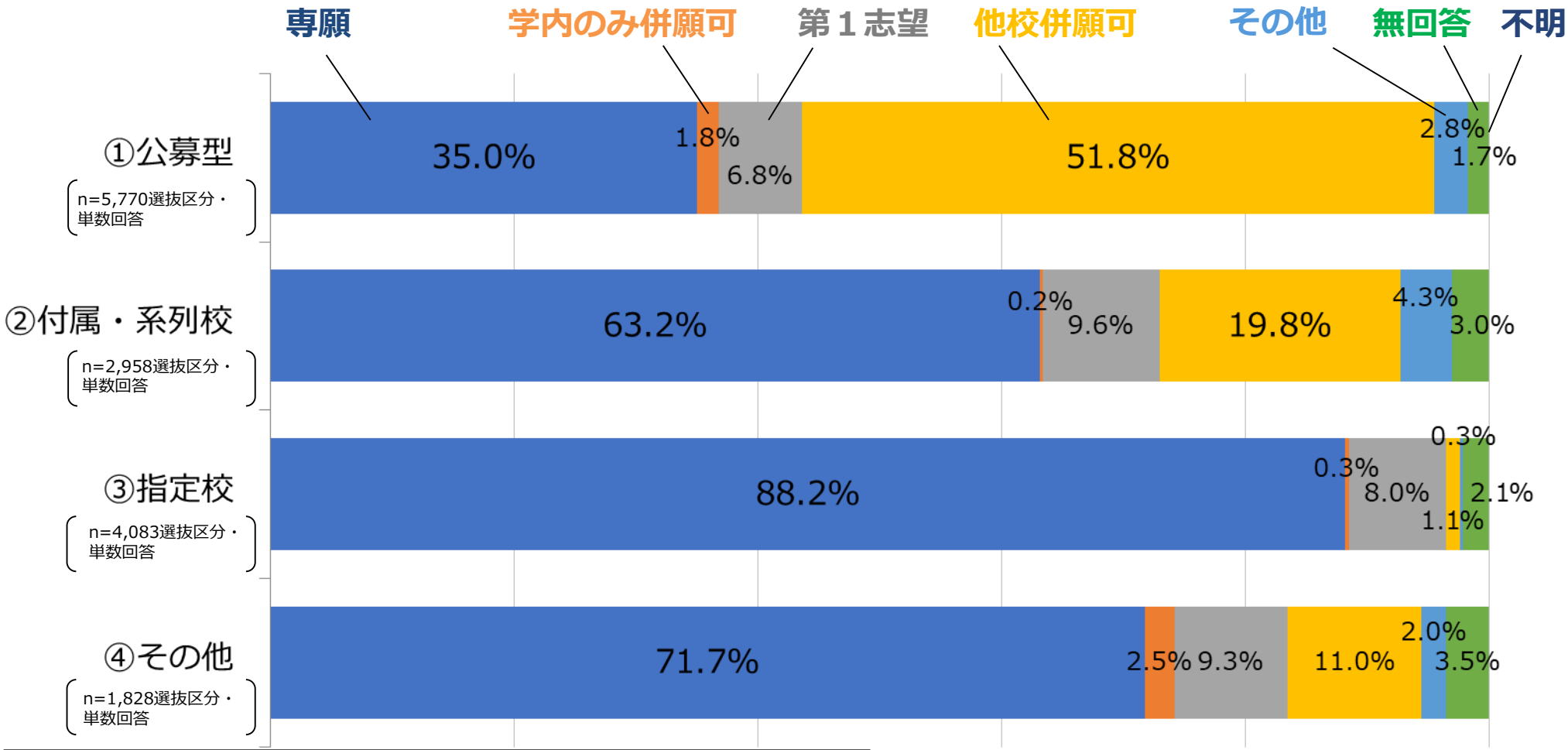


公募型	：大学が定める出題要件を満たし、かつ、所属学校の推薦を得られれば、誰でも出願できる推薦入試
付属・系列校	：大学の付属高校・系列高校の生徒のみが出願できる推薦入試
指定校	：大学が指定した学校の生徒のみが出願できる推薦入試（付属・系列校を除く）
その他	：上記以外の推薦入試（地域枠推薦、スポーツ推薦　など）

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

私立大学における推薦入試の併願可否

私立大学において、公募型は50.0%が他校併願可である一方、指定校は88.2%が専願である。



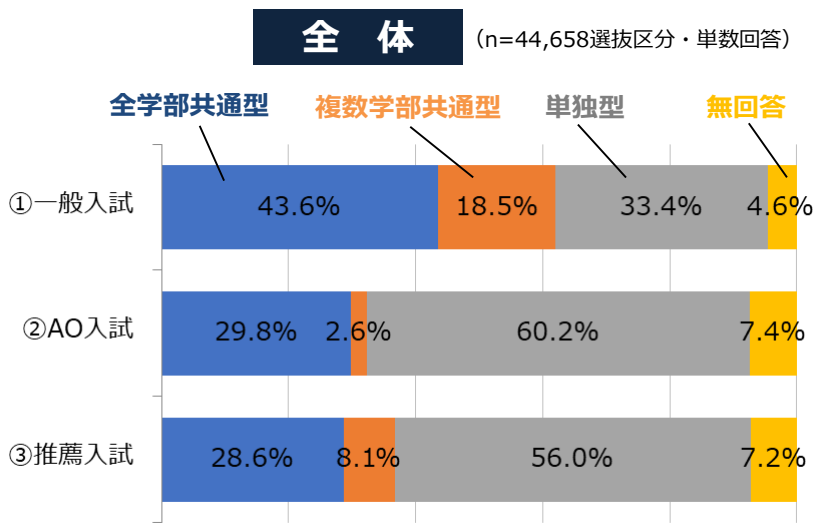
専願	：原則として当該区分のみの出願しか認めていない
学内のみ併願可	：学内・学部内・学科内等の間であれば併願可
第１志望	：当該学部・学科等を第１志望とすることを出願資格としている
他校併願可	：他大学との併願を認めている
その他	：上記以外（（試験日が異なるなどの）条件を満たせば併願可能　など）

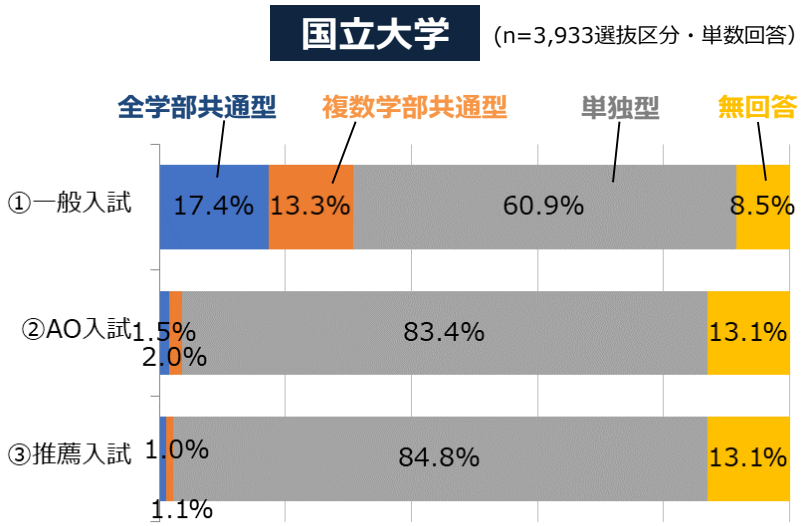
※ 推薦入試の方法について67選抜区分について、無回答

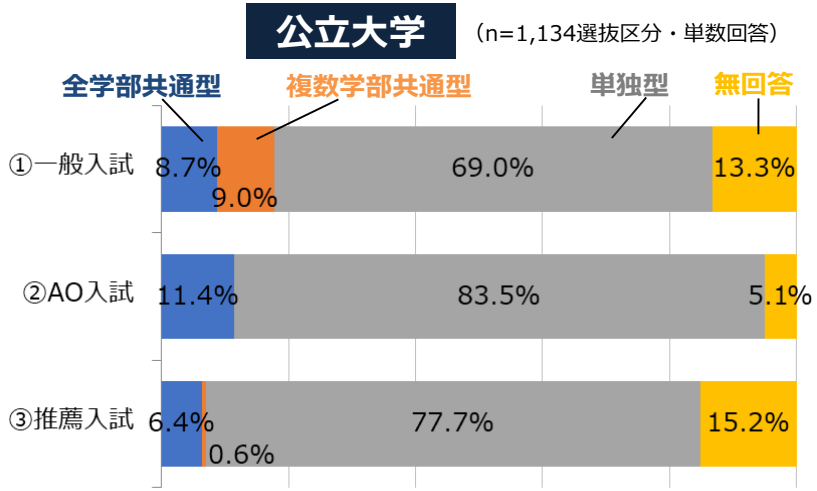
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

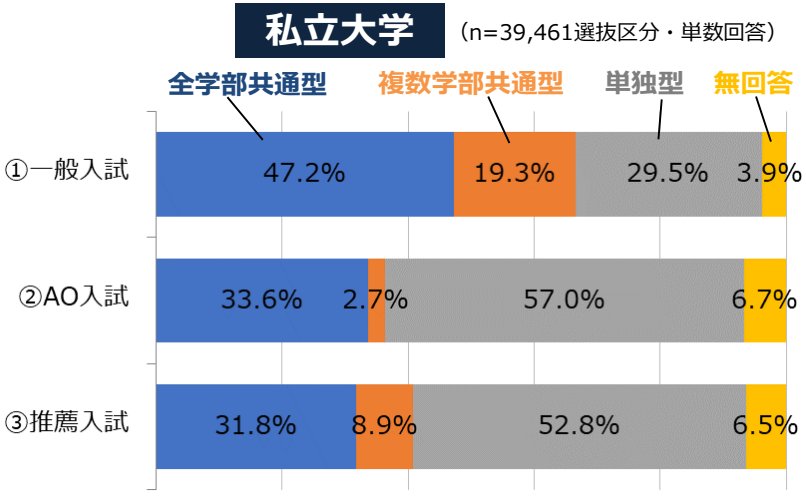
全学部又は複数学部での共通入試の実施

- 一般入試において、全学部で共通の試験問題を用いて合同で試験を実施し、それぞれの学部で合否判定を行う形式の選抜をしているのは43.6%である。
- また、複数の学部（全学部を除く。）で、同じく共通の入試を実施しているのは18.5%である。









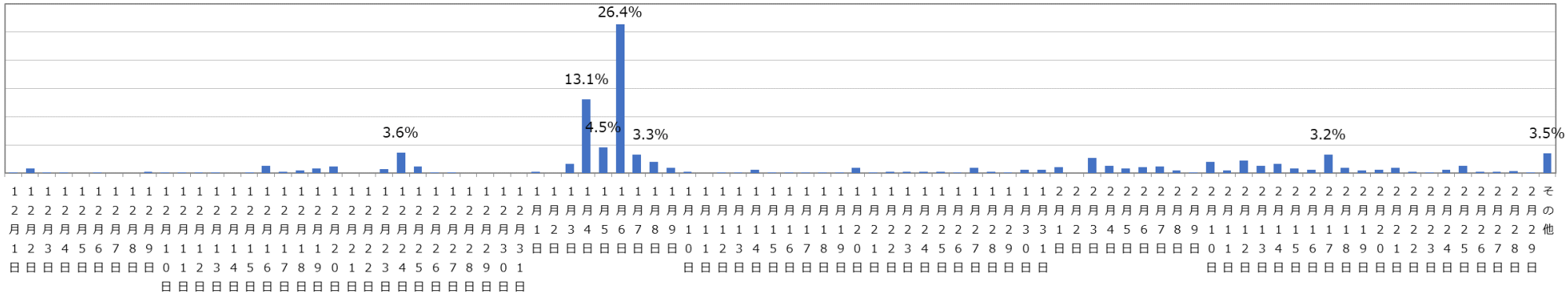
※ 一学部しかない大学における選抜区分を除く。

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

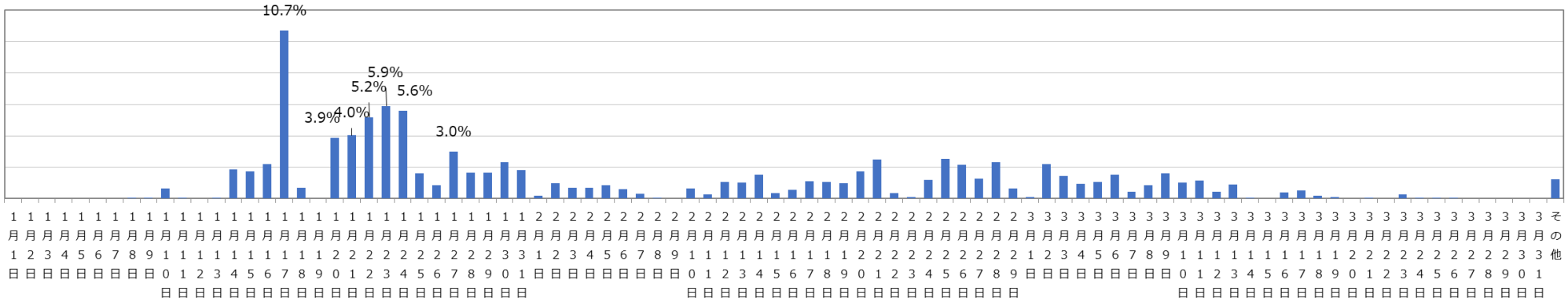
出願期間の初日・最終日（一般入試・私立大学）

私立大学の一般入試において、出願期間の初日は１月６日が26.4%であり、最終日は１月17日が10.7%である。

初日



最終日



【参考】令和２年度大学入学者選抜実施要項（抄）

第４　試験期日等

１　各大学で実施する一般入試（中略）において学力検査を課す場合の期日については，次により適宜定める。

(1) 試　験　期　日　令和２年２月１日から４月15日までの間

(2) 入学願書受付期間　試験期日に応じて定める。

(3) 合格者の決定発表　令和２年４月20日まで

【参考：一般入試・国立大学／公立大学】

国立（n=2527）：1月27日（97.7%）　最終日：2月5日（99.1%）

公立（n=768）：1月27日（97.8%）　最終日：2月5日（97.7%）

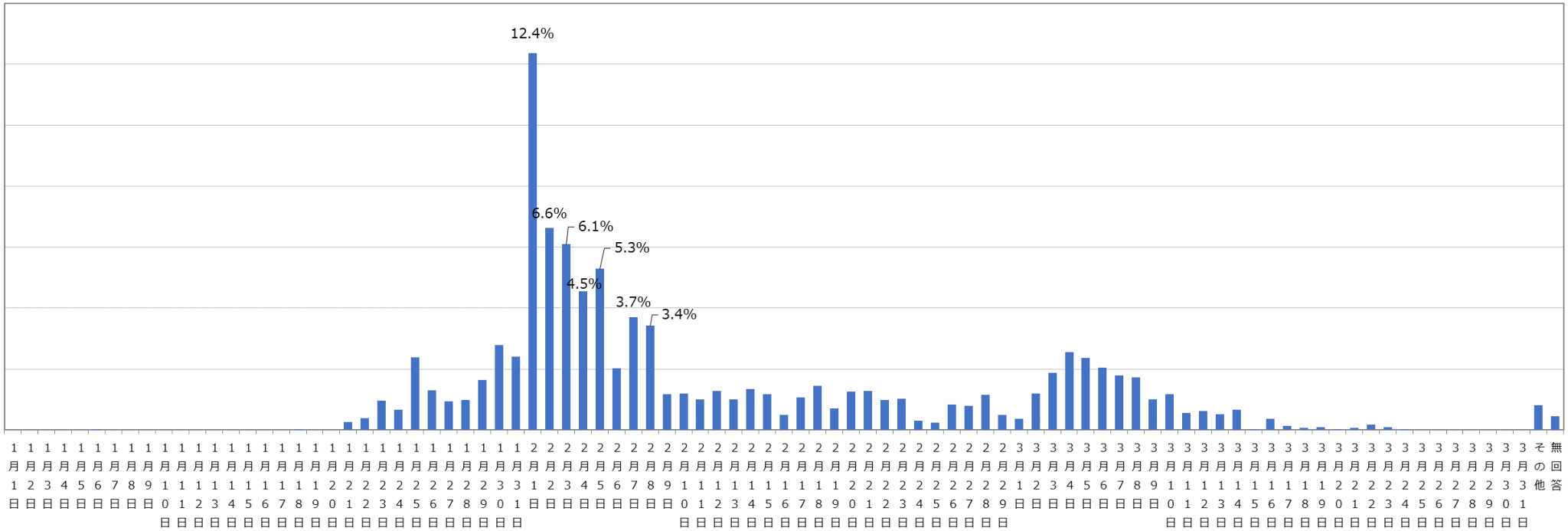
※初日は１月８日～2月18日、最終日は１月21日～３月２日のいずれかに含まれる

n=20,763選抜区分
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

個別選抜日程（一般入試・私立大学）

私立大学の一般入試において、個別選抜は２月１日に12.4%が実施されている。



【参考】令和２年度大学入学者選抜実施要項（抄）

第４　試験期日等

１　各大学で実施する一般入試（中略）において学力検査を課す場合の期日については，次により適宜定める。

(1) 試　験　期　日　令和２年２月１日から４月15日までの間

(2) 入学願書受付期間　試験期日に応じて定める。

(3) 合格者の決定発表　令和２年４月20日まで

【参考：一般入試・国立大学／公立大学】

国立（n=2,527）：２月25日（60.3%）　３月12日（36.6%）

公立（n=　768）：２月25日（48.2%）　３月12日（31.9%）

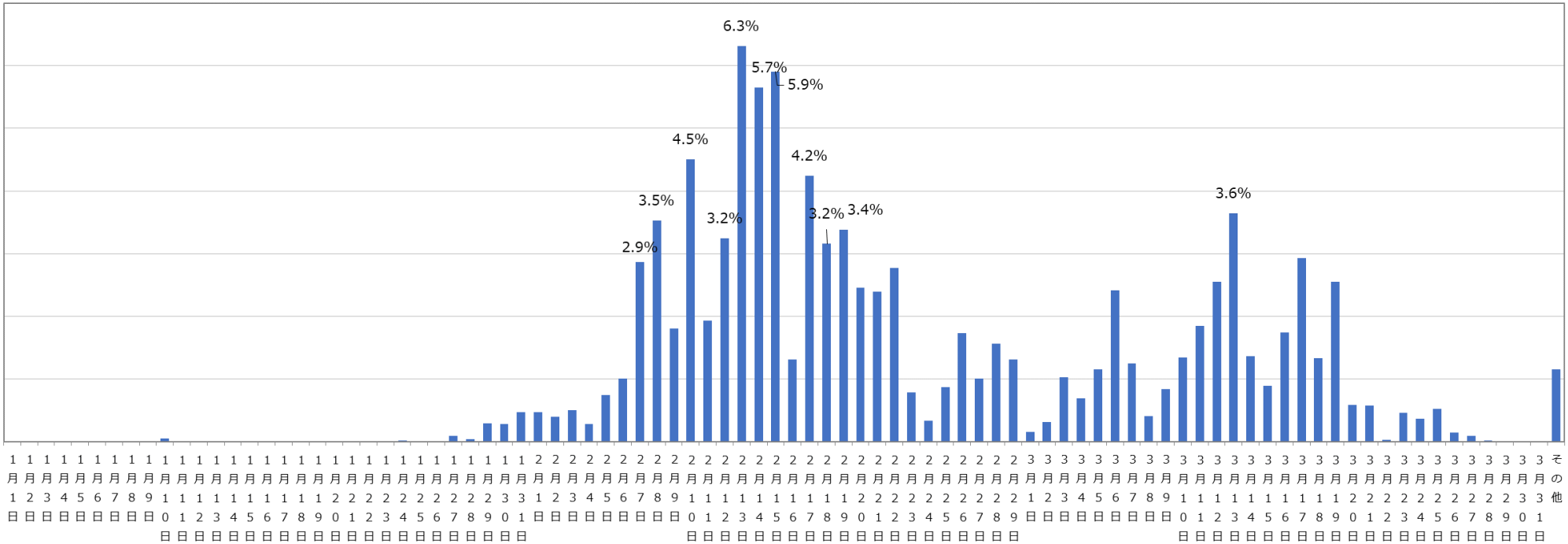
n=12,992選抜区分　※個別学力検査を実施する選抜区分のみ集計

単数回答　※個別選抜日程が複数日にわたる場合は初日のみ集計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

合格発表日（一般入試・私立大学）

私立大学の一般入試において、合格発表日は２月13日が６.3%であり、２月７～19日が多い。



【参考】令和２年度大学入学者選抜実施要項（抄）

第４　試験期日等

１　各大学で実施する一般入試（中略）において学力検査を課す場合の期日については，次により適宜定める。

(1) 試　験　期　日　令和２年２月１日から４月15日までの間

(2) 入学願書受付期間　試験期日に応じて定める。

(3) 合格者の決定発表　令和２年４月20日まで

【参考：一般入試・国立大学／公立大学】

国立（n=2527）：3月6日（41.9%）　3月20日（17.8%）

※3月6日～21日に９割以上が実施

公立（n=768）　：3月6日（19.4%）　3月21日（18.2%）

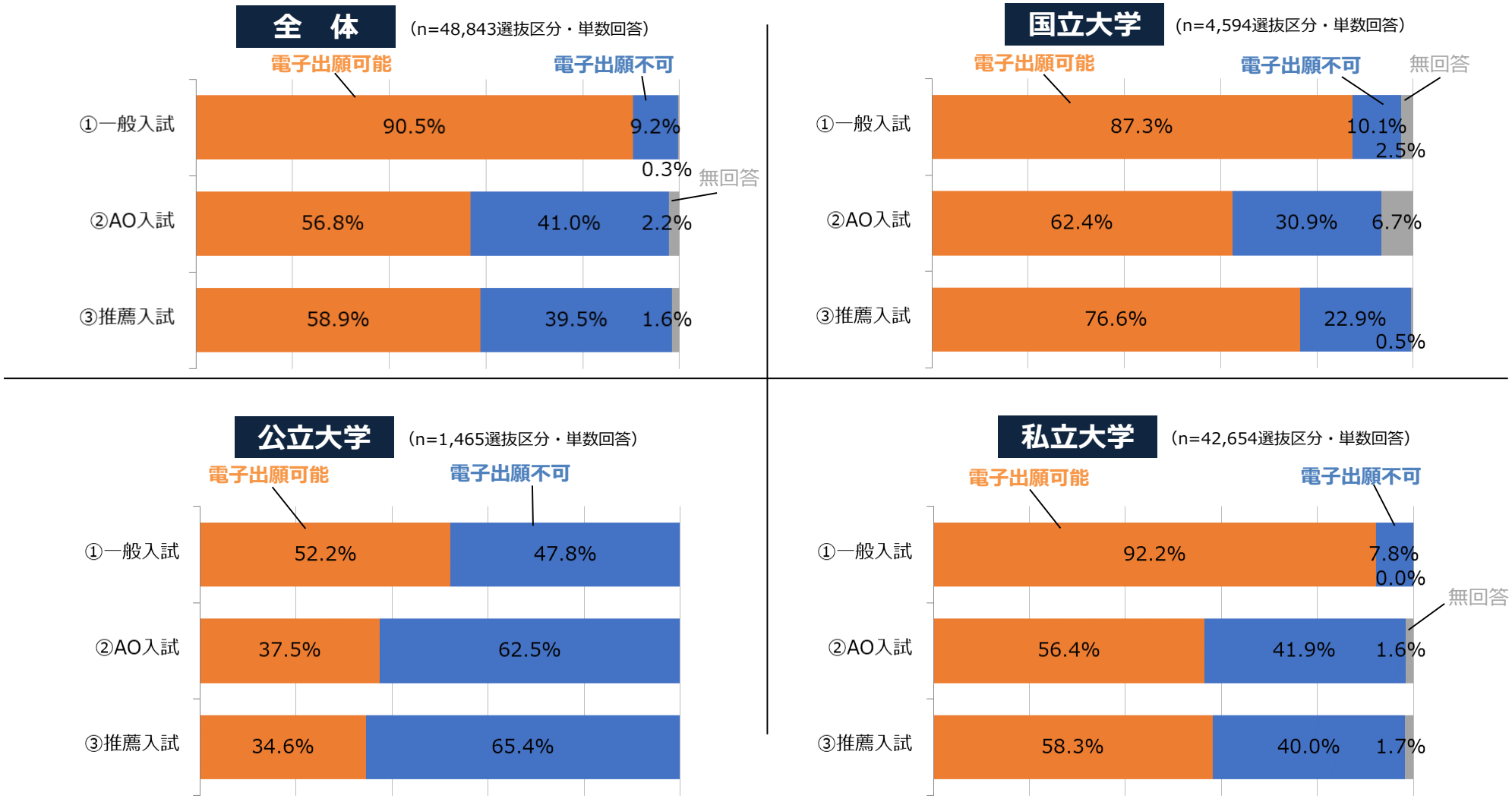
※3月6日～21日に９割以上が実施

n=20,763選抜区分
単数回答

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

電子出願の可否（国公私立別）

電子出願が可能な選抜区分は一般入試では90.5%、AO入試では56.8%、推薦入試では58.9%である。



※ 一部に紙媒体が必要であっても出願の一部で電子的な方法が利用されていれば「電子出願可能」としている。

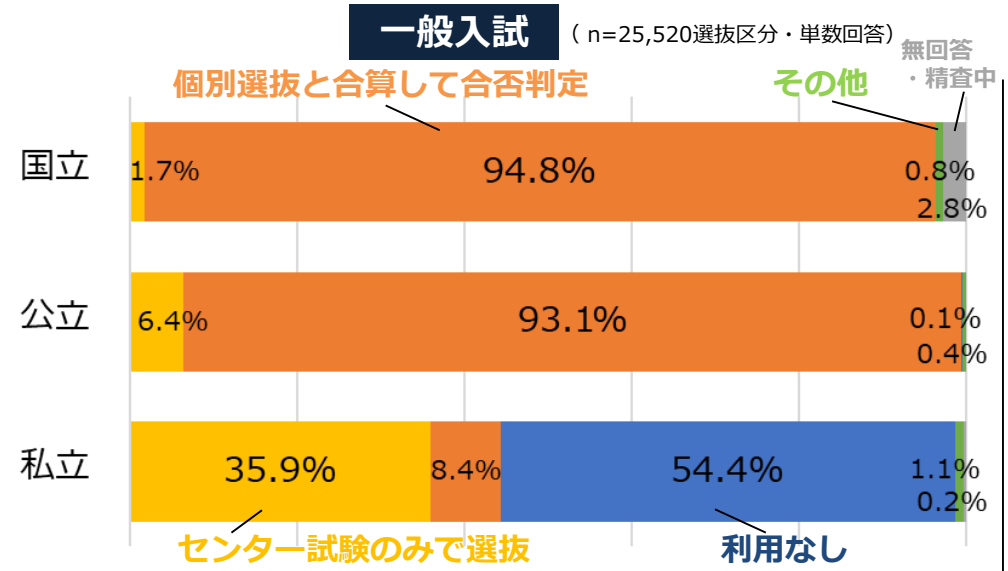
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

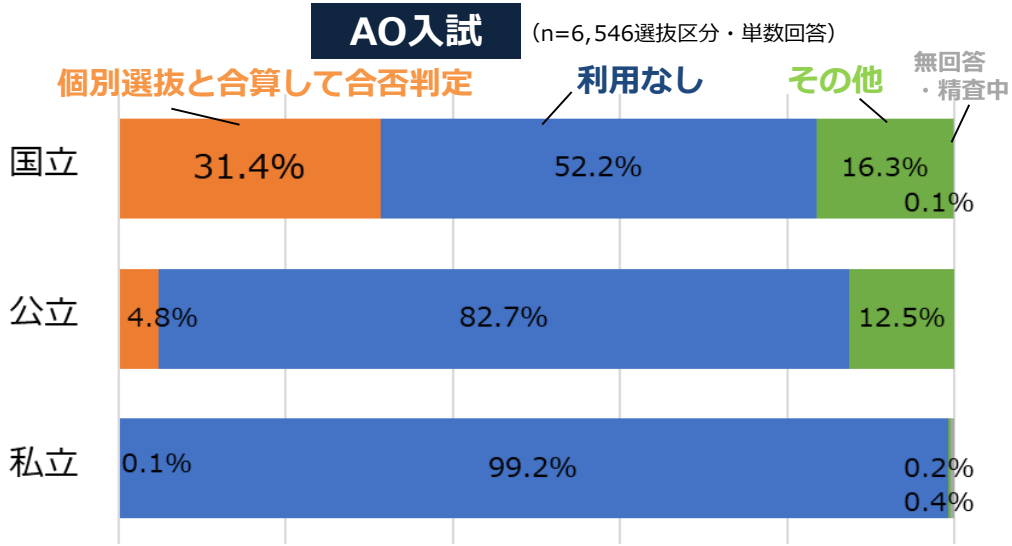
３．センター試験の利用の実態

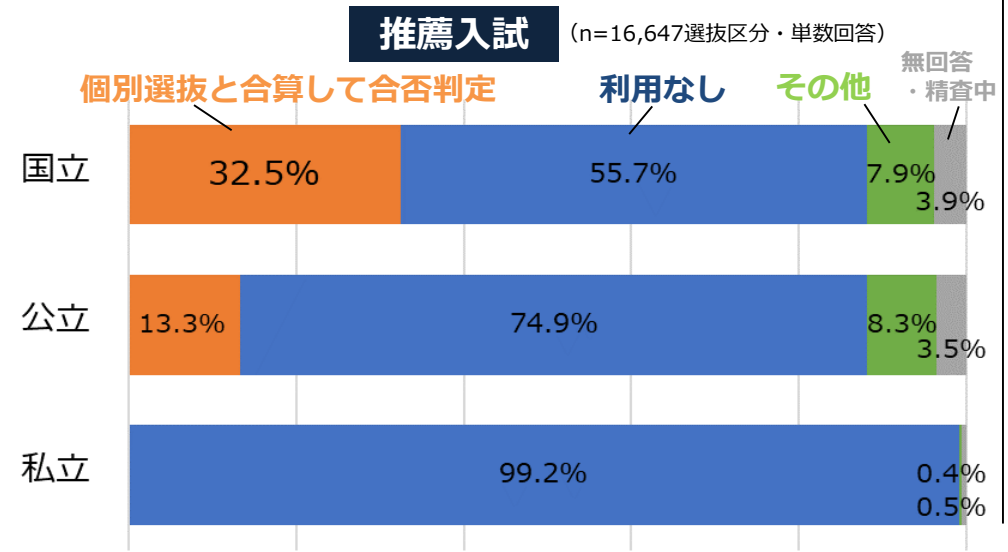
・センター試験の利用状況 51
・センター試験の過年度成績の利用状況 52
・合否判定に利用するセンター試験の科目数 53
・センター試験の外国語の利用 54
・センター試験英語のリスニングの利用 56
・リスニングを利用する場合の外国語の得点算出方法 57
・センター試験の合否判定時の換算点の割合 58

センター試験の利用状況

一般入試においてセンター試験を個別選抜と合算して合否判定するために利用する選抜区分は、国立大学94.8%、公立大学で93.1%。他方、利用しない選抜区分は、私立大学で54.4%である。







【その他の内容の主な例】
○一定の得点以上を２次試験受験資格として設定

【各選抜区分数】

○一般入試
国立：n=　2,527選抜区分
公立：n=　　768選抜区分
私立：n=22,225選抜区分

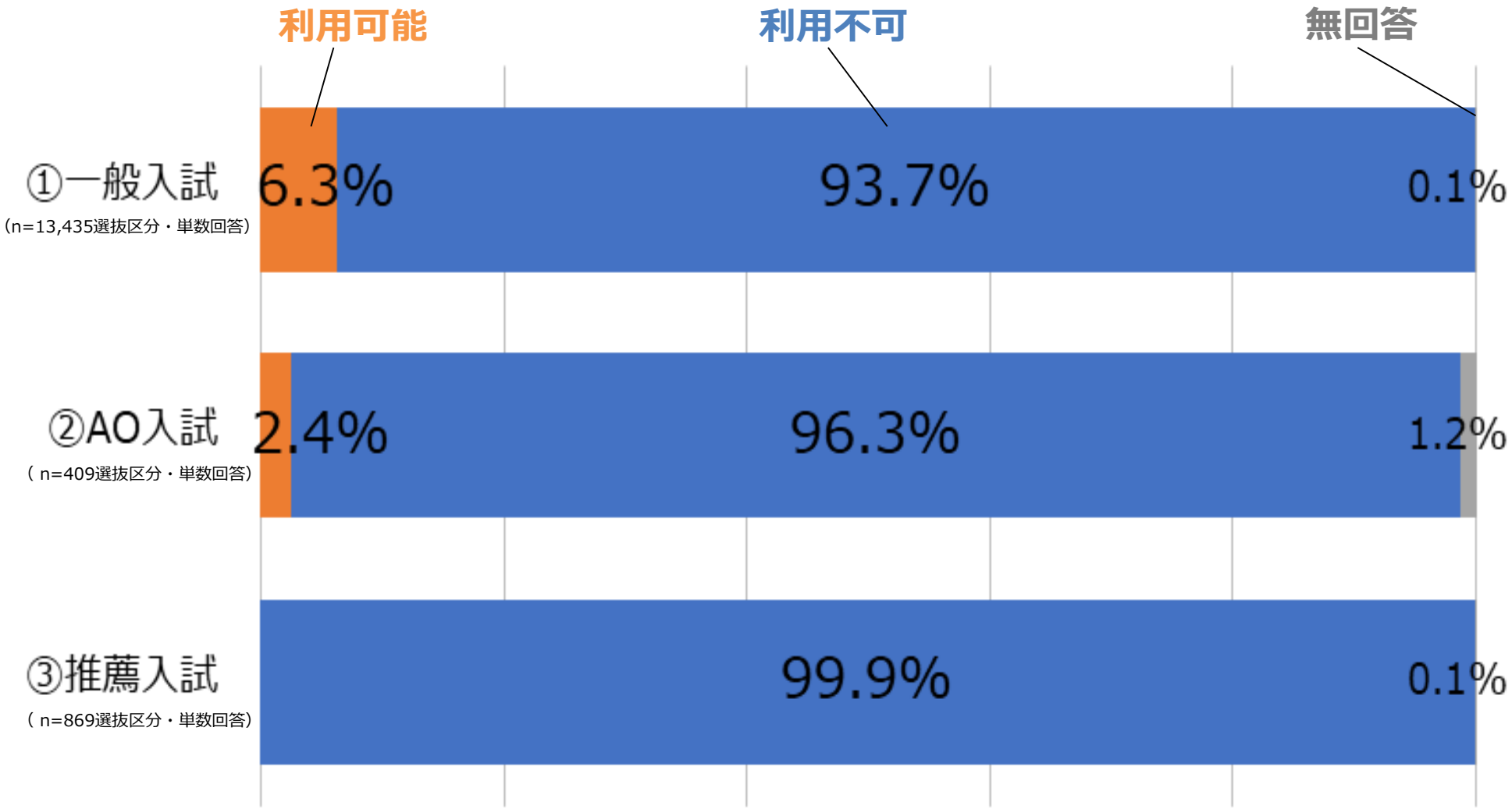
○AO入試
国立：n=　719選抜区分
公立：n=　104選抜区分
私立：n=5,723選抜区分

○推薦入試
国立：n=　1,348選抜区分
公立：n=　　593選抜区分
私立：n=14,706選抜区分

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

センター試験の過年度成績の利用状況

センター試験の過年度成績の利用については、一般入試で6.3%（国立：０選抜区分　公立：０選抜区分　私立：843選抜区分）、AO入試で2.4%（国立：６選抜区分　公立：１選抜区分　私立：３選抜区分）となっている。



【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

合否判定に利用するセンター試験の科目数

センター試験を利用する場合、一般入試においては、国立大学では７科目の利用、公立大学では７・５・６科目の利用、私立大学では２・３科目の利用が多い。

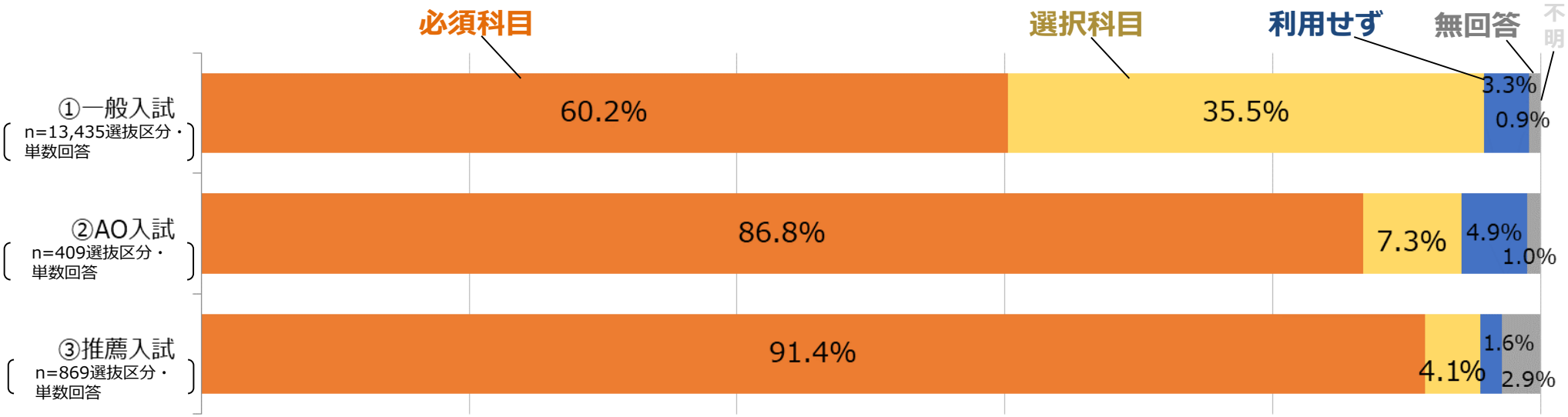
入試方法	国公私	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	無回答	平均科目数
一般入試	国立（n=2,527選抜区分）	0.0%	0.6%	2.5%	3.0%	4.2%	6.6%	**55.4%**	27.7%	0.0%	**6.9**
	公立（n=767選抜区分）	0.5%	2.6%	15.5%	15.3%	**18.6%**	**18.3%**	**21.5%**	5.6%	0.0%	**5.2**
	私立（n=10,141選抜区分）	7.0%	**35.7%**	**36.0%**	10.1%	6.3%	2.2%	0.7%	0.0%	0.0%	**2.8**
AO入試	国立（n=344選抜区分）	0.3%	0.9%	9.6%	10.2%	8.1%	7.6%	**48.3%**	15.1%	0.0%	**6.2**
	公立（n=18選抜区分）	0.0%	11.1%	5.6%	22.2%	0.0%	0.0%	**38.9%**	0.0%	0.0%	**5.1**
	私立（n=47選抜区分）	4.3%	21.3%	**27.7%**	**38.3%**	2.1%	0.0%	6.4%	0.0%	0.0%	**3.4**
推薦入試	国立（n=597選抜区分）	0.2%	1.0%	6.9%	6.4%	5.9%	10.6%	**49.6%**	19.6%	0.0%	**6.4**
	公立（n=149選抜区分）	0.0%	1.3%	18.8%	8.7%	**20.8%**	7.4%	**24.2%**	10.1%	0.0%	**5.4**
	私立（n=123選抜区分）	1.6%	9.8%	18.7%	**32.5%**	**22.0%**	0.8%	1.6%	0.0%	0.0%	**3.9**

※ nは、センター試験を利用する選抜区分のうち、合否判定に利用するセンター試験の科目数が１～８の選抜区分のみ集計

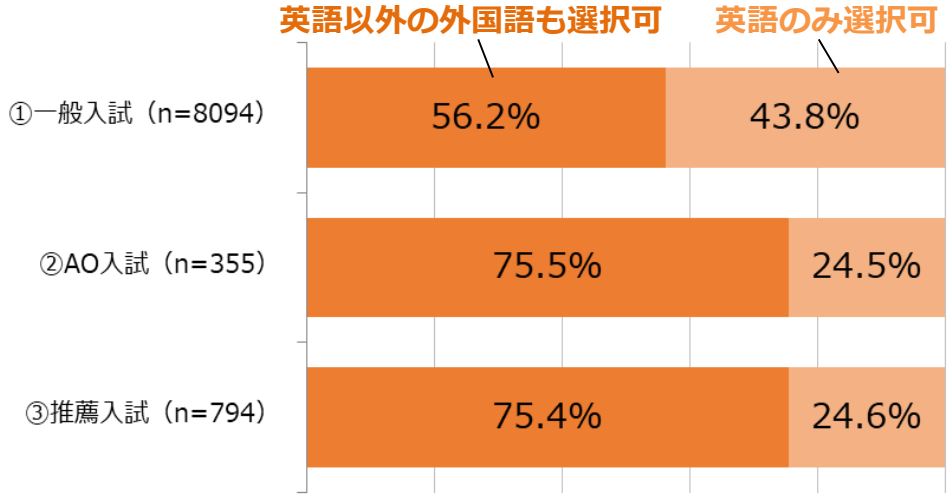
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

センター試験の外国語の利用

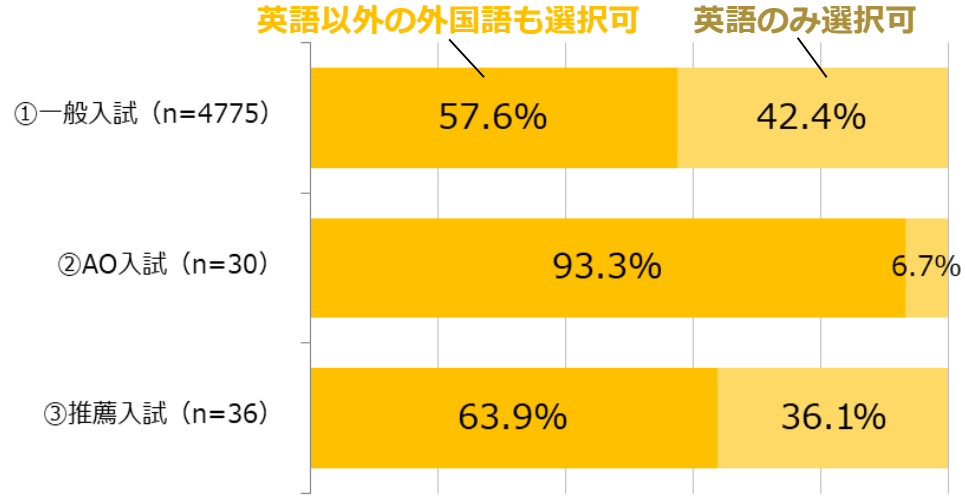
センター試験を利用する選抜区分のうち外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）の利用状況は、一般入試で「必須科目としている」が60.2%、「選択科目としている」が35.5%である。



必須科目の内訳



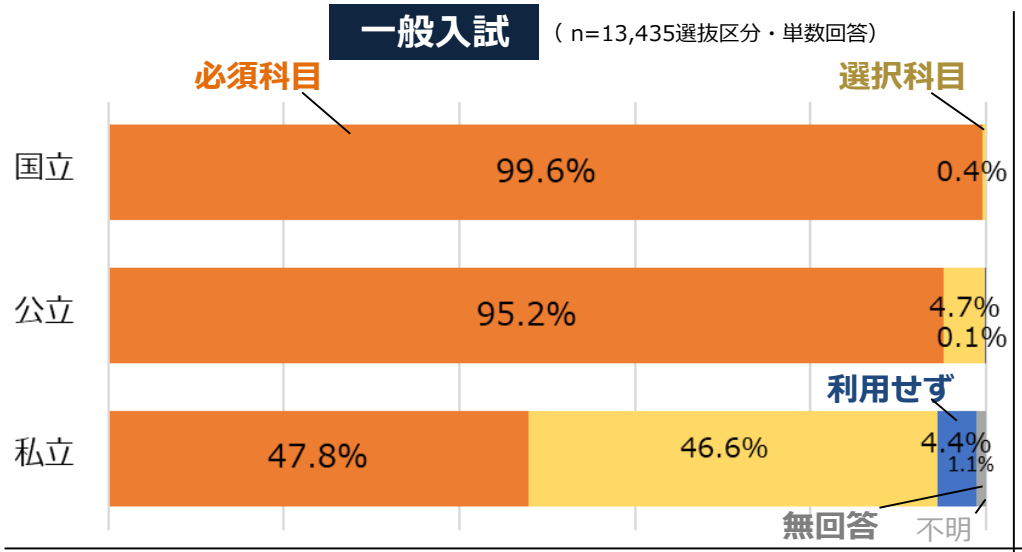
選択科目の内訳

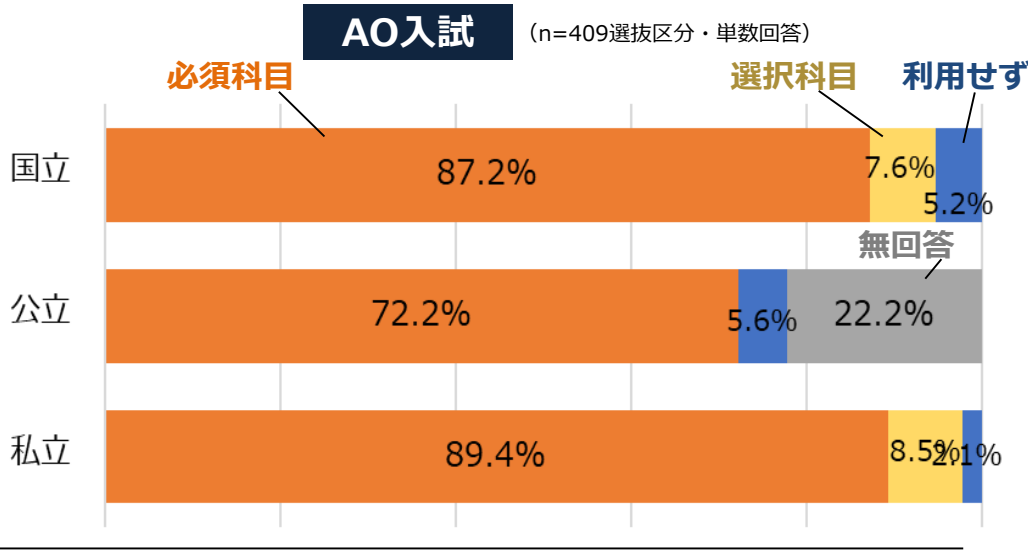


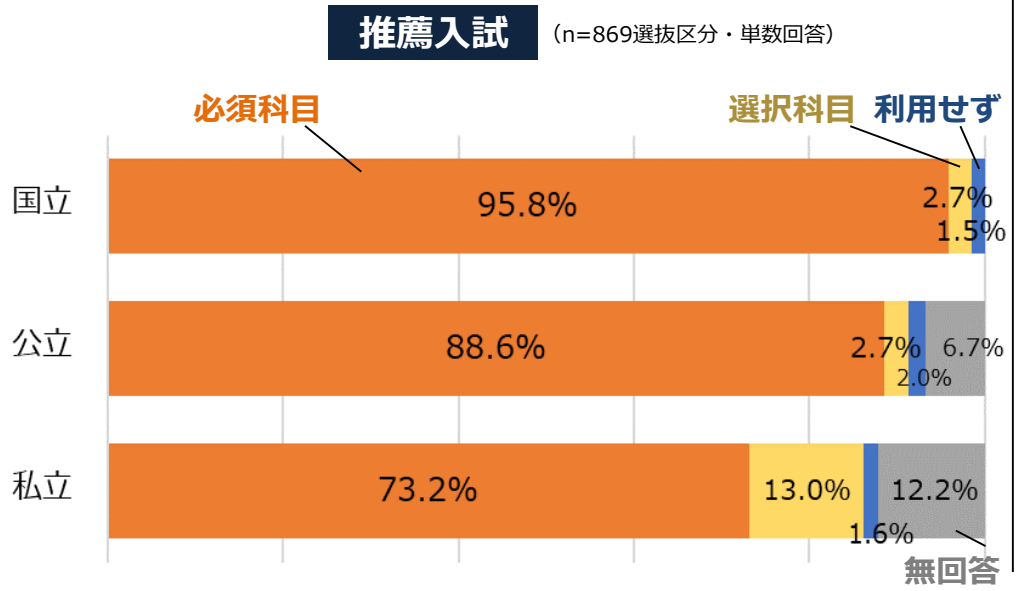
※ nは、センター試験を利用する選抜区分数

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

センター試験の外国語の利用（国公私別）







※ nは、センター試験を利用する選抜区分数

○一般入試
国立：n= 2,527選抜区分
公立：n=　767選抜区分
私立：n=10,141選抜区分

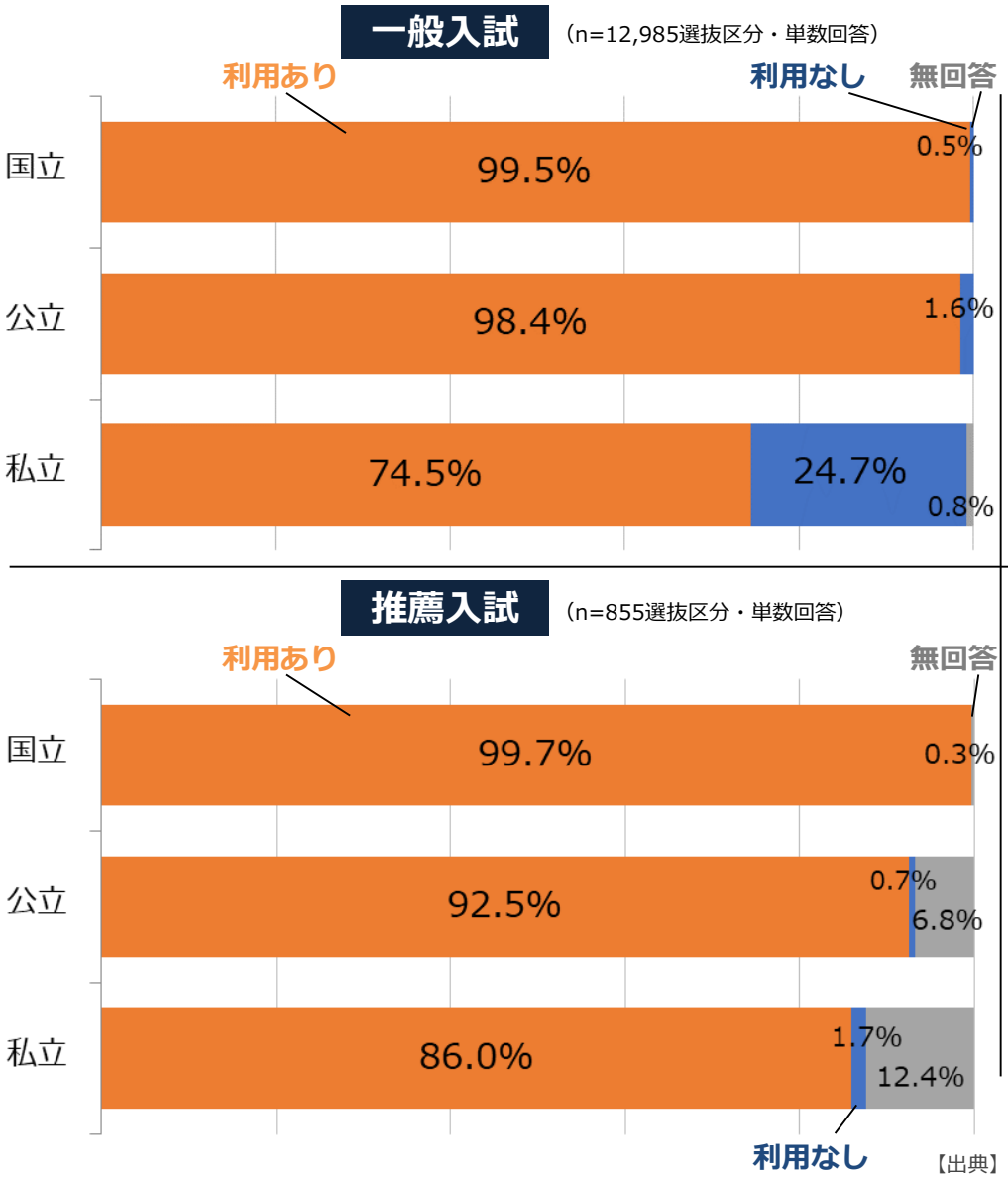
○AO入試
国立：n=344選抜区分
公立：n=　18選抜区分
私立：n=　47選抜区分

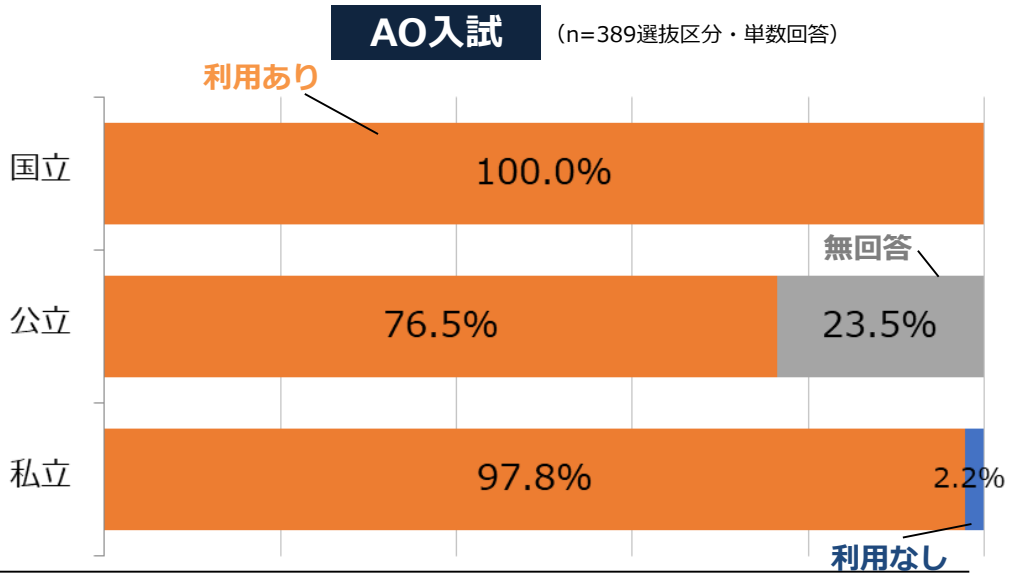
○推薦入試
国立：n=597選抜区分
公立：n=149選抜区分
私立：n=123選抜区分

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

センター試験英語のリスニングの利用

センター試験英語を利用する場合、一般入試では、リスニングを利用するのは、国立大学で99.5%、公立大学で98.4%、私立大学で74.5%である。





※ nは、センター試験の英語を利用する選抜区分数

○一般入試
国立：n=2,515選抜区分
公立：n=　754選抜区分
私立：n=7,218選抜区分

○AO入試
国立：n=326選抜区分
公立：n=　13選抜区分
私立：n=　45選抜区分

○推薦入試
国立：n=586選抜区分
公立：n=135選抜区分
私立：n=104選抜区分

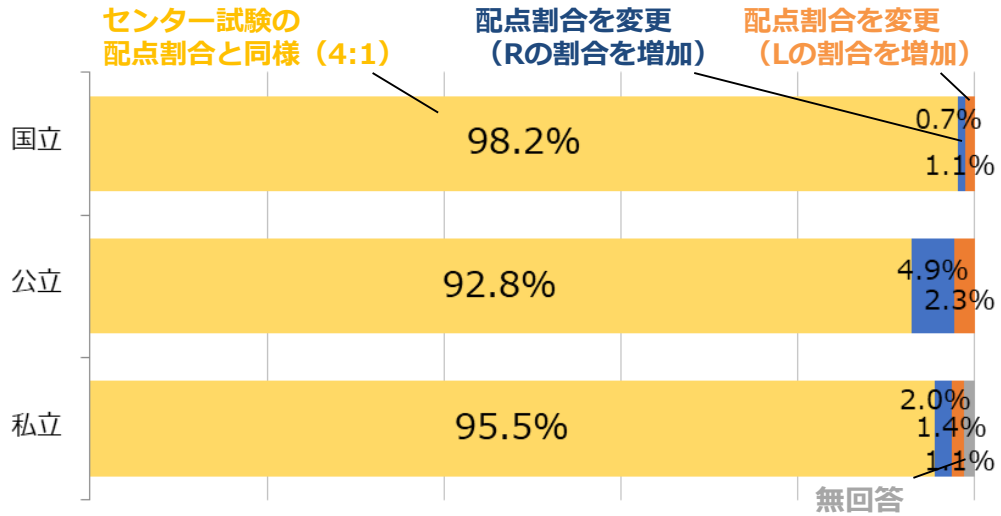
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

リスニングを利用する場合の外国語の得点算出方法

センター試験の英語のリスニングの得点算出方法について、一般入試においては、センター試験の配点割合と同様の４：１とする選抜区分が、国立大学では98.2%、公立大学では92.8%、私立大学で95.5%である。

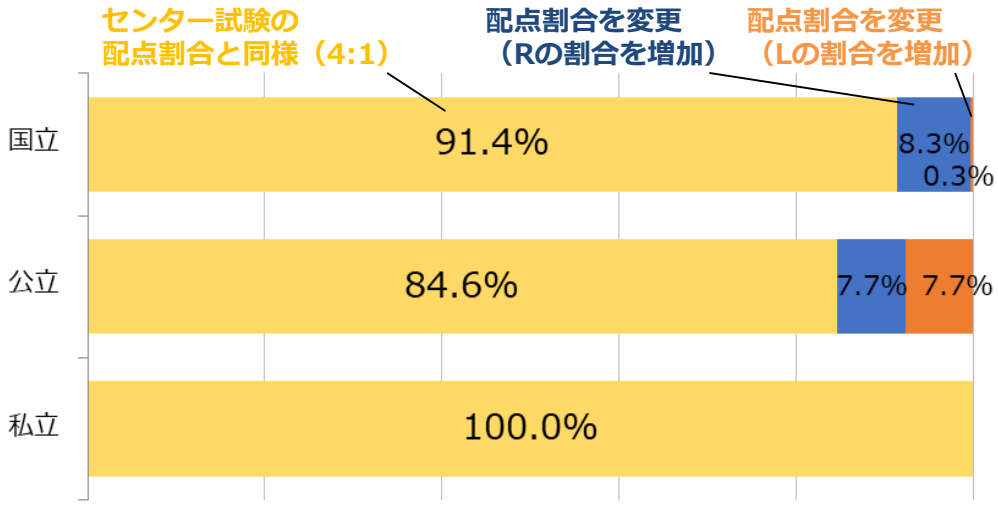
一般入試

（ n=10,487選抜区分・単数回答）



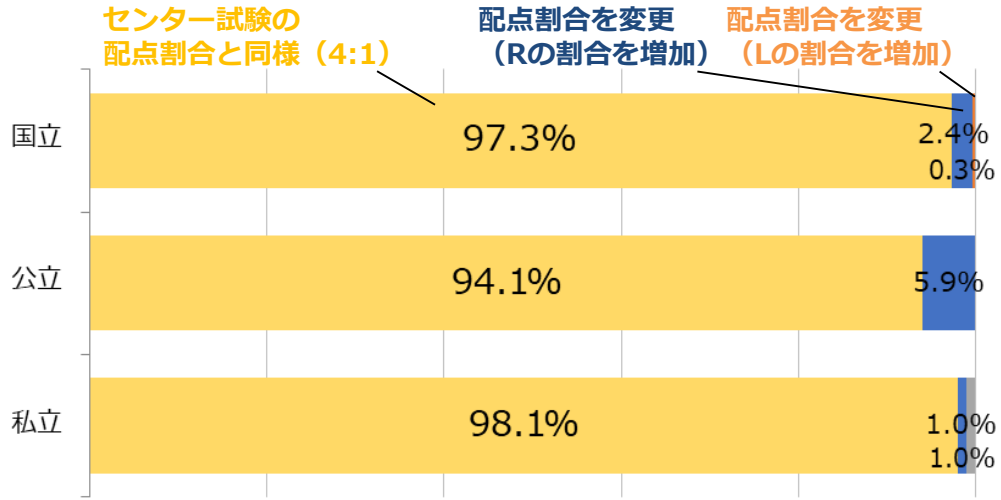
AO入試

（n=384選抜区分・単数回答）



推薦入試

（n=825選抜区分・単数回答）



R：リーディング

L：リスニング

※ nは、センター試験の英語を利用し、かつリスニングを利用する選抜区分数

○一般入試
国立：n=2,515選抜区分
公立：n=　754選抜区分
私立：n=7,218選抜区分

○AO入試
国立：n=326選抜区分
公立：n=　13選抜区分
私立：n=　45選抜区分

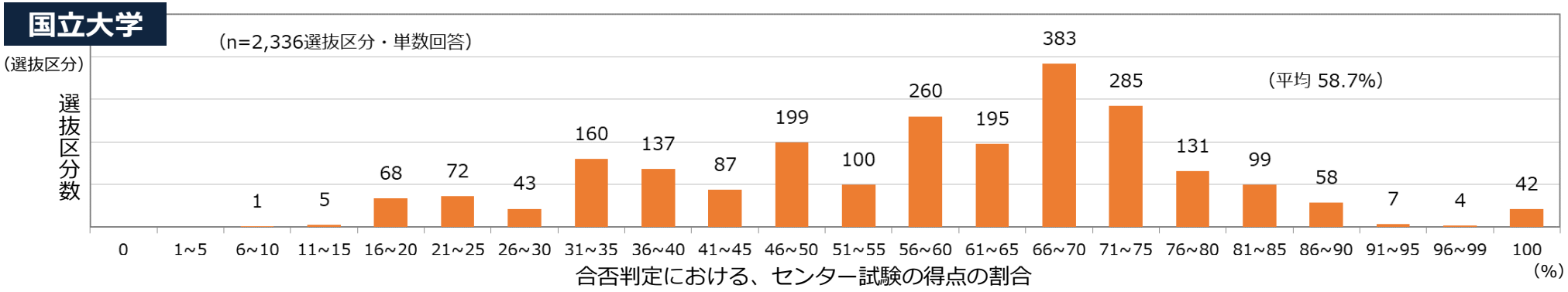
○推薦入試
国立：n=586選抜区分
公立：n=135選抜区分
私立：n=104選抜区分

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

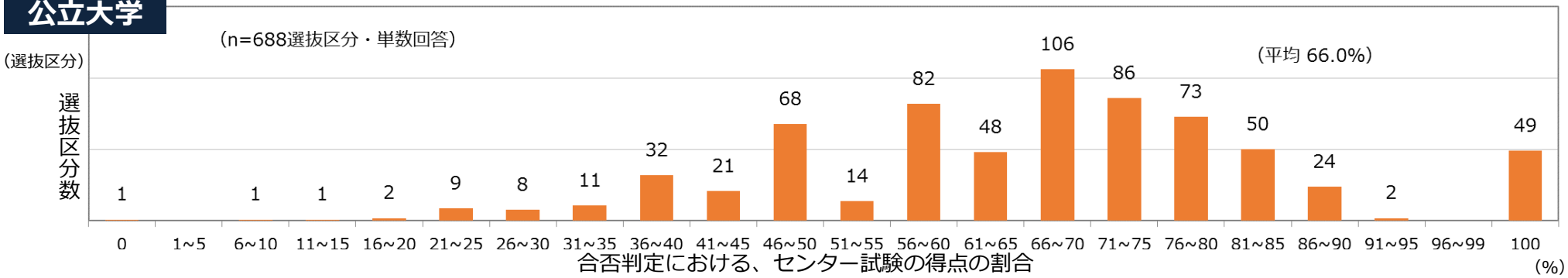
センター試験の合否判定時の換算点の割合（一般入試）

一般入試において、合否判定での総合点に占めるセンター試験の配点の割合は、平均して、国立大学では58.7%、公立大学では66.0%、私立大学では個別選抜のみあるいはセンター試験のみによる選抜区分が多い。

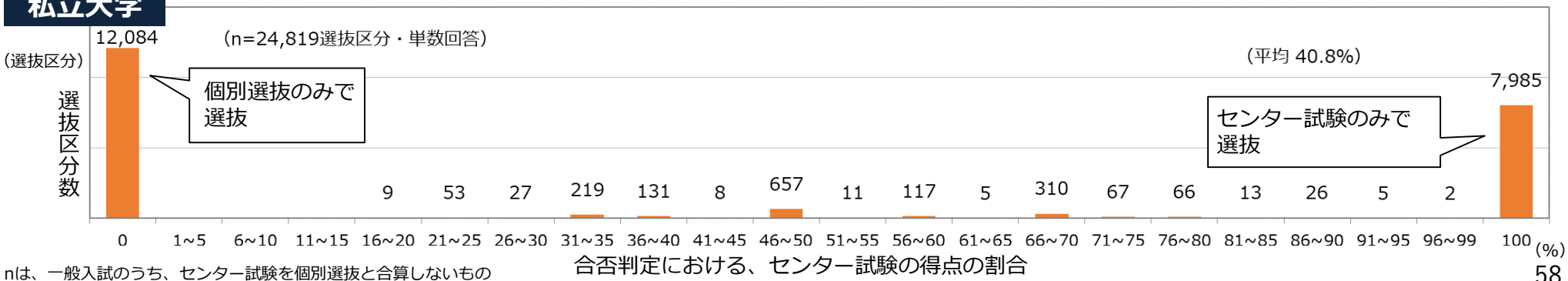
国立大学



公立大学



私立大学



※ nは、一般入試のうち、センター試験を個別選抜と合算しないもの及び合否判定時の換算点の回答がないものを除外している

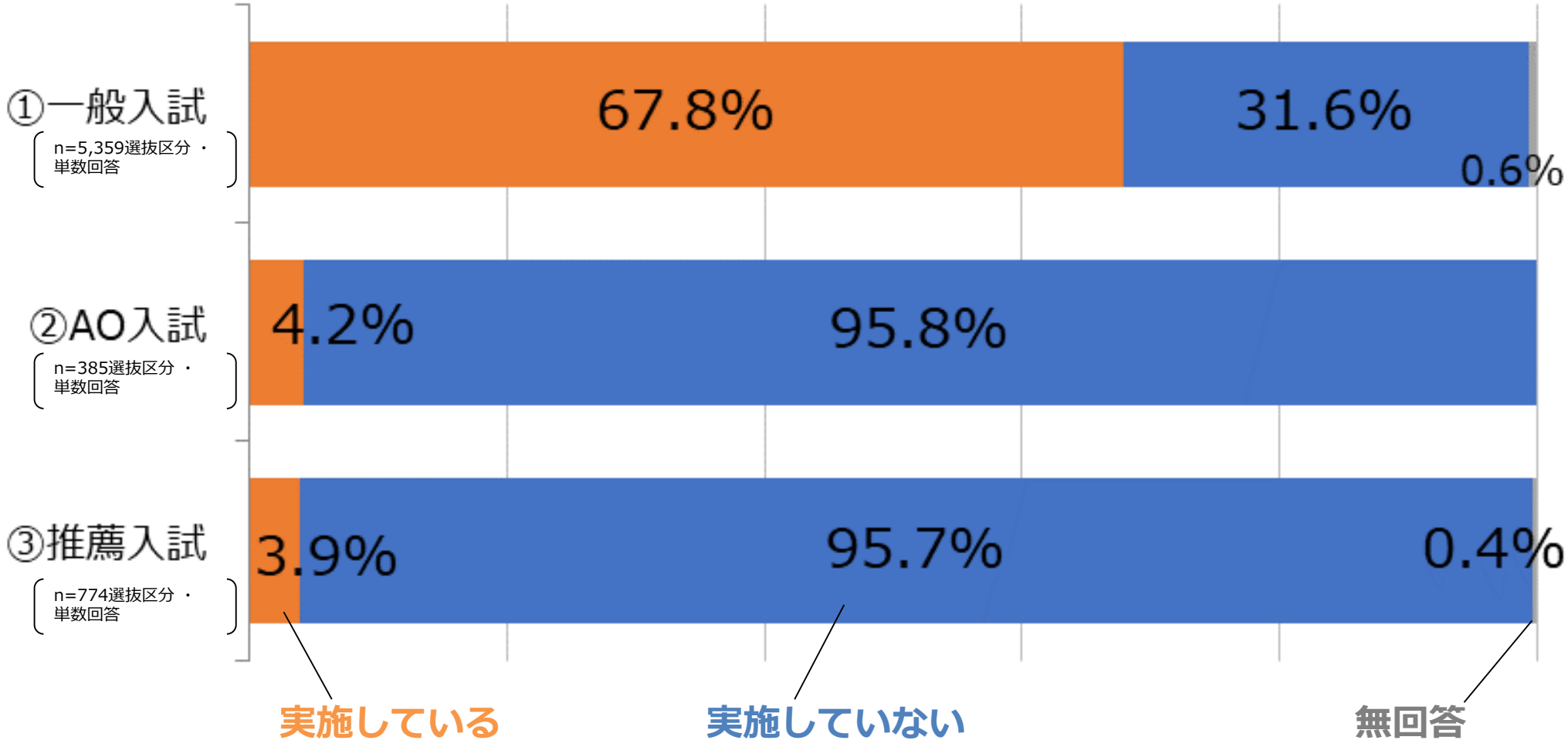
【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

４．個別選抜の実態

・個別学力検査実施の有無（センター試験の利用あり） 60
・合否判定に利用する個別学力検査の科目数（センター試験の利用あり） 61
・個別学力検査実施の有無（センター試験の利用なし） 62
・合否判定に利用する個別学力検査の科目数（センター試験の利用なし） 63
・一般入試において個別学力検査を実施する選抜区分の割合 64
・一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況 65
・英語に係る技能別の出題の有無 88
・小論文出題状況 89
・AO入試における学力把握措置 90
・推薦入試における学力把握措置 91
・AO入試での個別学力検査における各科目の出題状況 92
・推薦入試での個別学力検査における各科目の出題状況 93
・学力検査以外の資料等の考慮 94
・学力検査以外に考慮する資料等の利用率 95

個別学力検査実施の有無（センター試験の利用あり）

センター試験を利用していると回答した選抜区分（n=6,527）のうち、更に、個別学力検査を実施しているのは、一般入試が67.8%（3,635選抜区分）、AO入試が4.2%（16選抜区分）、推薦入試が3.9%（30選抜区分）。



※ nはセンター試験のみで選抜を実施する選抜区分を含まない。

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

合否判定に利用する個別学力検査の科目数（センター試験の利用あり）

センター試験を利用し、かつ個別学力検査を課す場合、合否判定に利用する個別学力検査の科目数は、一般入試において、国立大学では３・１・４科目、公立大学では１・２科目、私立大学では１・２科目が多い。

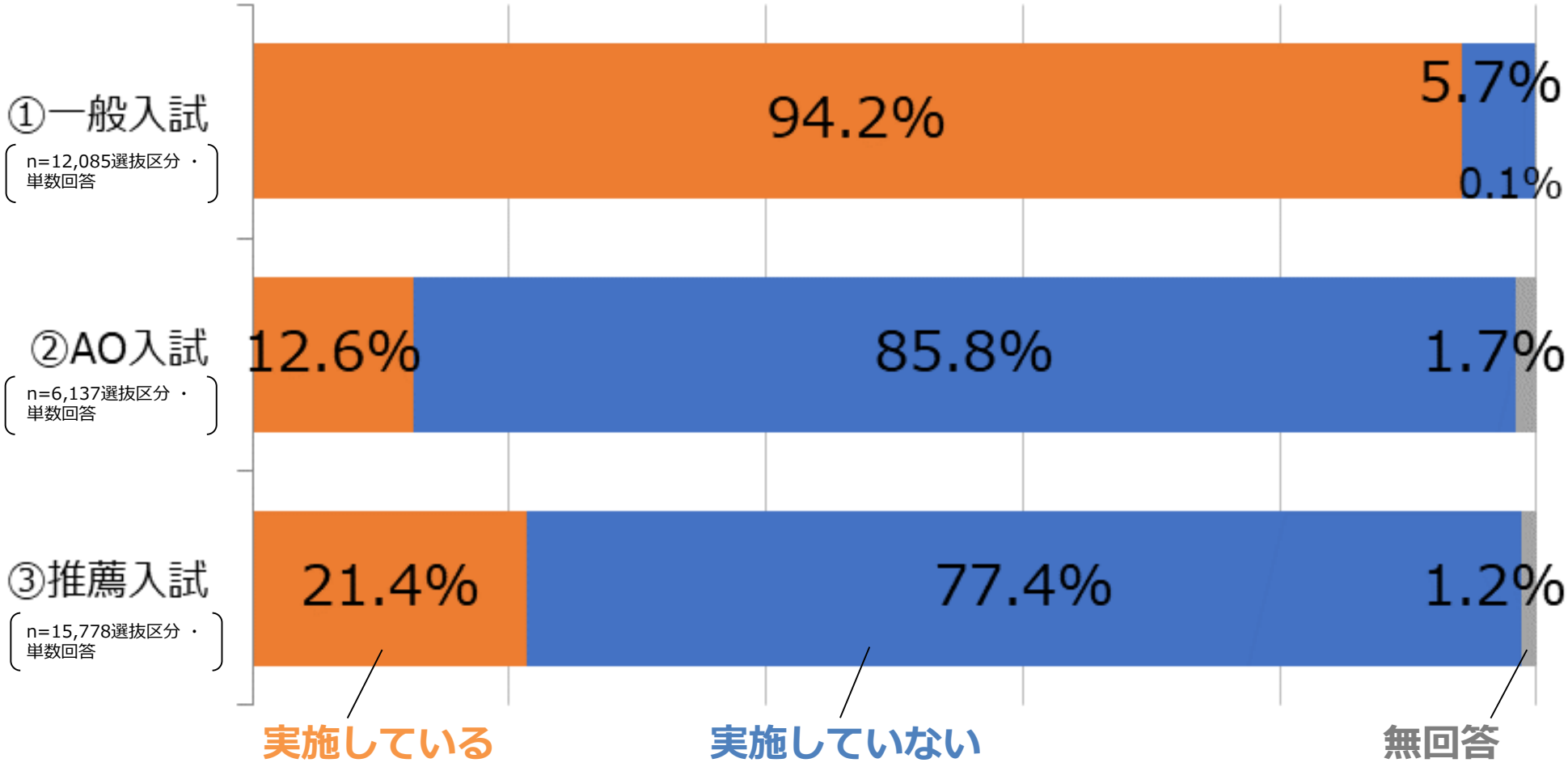
入試方法	国公私	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	無回答	平均科目数
一般入試	国立（n=1,620選抜区分）	**30.9%**	**35.1%**	15.2%	**16.1%**	2.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.6%	**2.2**
	公立（n=409選抜区分）	**45.0%**	**34.5%**	13.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	**1.8**
	私立（n=1,606選抜区分）	**46.5%**	**34.6%**	17.5%	1.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	**1.7**
AO入試	国立（n=13選抜区分）	**92.3%**	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	**1.1**
	公立（n=0選抜区分）										
	私立（n=3選抜区分）	**66.7%**	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	**1.3**
推薦入試	国立（n=8選抜区分）	**75.0%**	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	**1.0**
	公立（n=7選抜区分）	**71.4%**	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	**1.6**
	私立（n=15選抜区分）	**80.0%**	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	**1.2**

※ nは、センター試験を利用し、かつ個別学力検査を課す選抜区分のうち、合否判定に利用する個別学力検査の科目数が１～８の選抜区分のみ集計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

個別学力検査実施の有無（センター試験の利用なし）

センター試験を利用していないと回答した選抜区分（n=34,114）のうち、個別学力検査を実施していないのは、一般入試が5.7%（690選抜区分）、AO入試が85.8%（5,263選抜区分）、推薦入試が77.4%（12,216選抜区分）。



【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

合否判定に利用する個別学力検査の科目数（センター試験の利用なし）

センター試験を利用せず、個別学力検査を課す場合、合否判定に利用する個別学力検査の科目数は、一般入試において、私立大学では２・３科目が多い。

入試方法	国公私	1科目	2科目	3科目	4科目	5科目	6科目	7科目	8科目	無回答	平均科目数
一般入試	国立（n=0選抜区分）										
	公立（n=1選抜区分）	0.0%	**100.0%**	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	**2.0**
	私立（n=11,386選抜区分）	7.8%	**49.2%**	**39.8%**	2.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.6%	**2.4**
AO入試	国立（n=54選抜区分）	38.9%	**44.4%**	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	**1.8**
	公立（n=3選抜区分）	**66.7%**	**33.3%**	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	**1.3**
	私立（n=715選抜区分）	**44.2%**	**35.9%**	15.1%	0.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	**1.8**
推薦入試	国立（n=28選抜区分）	**100.0%**	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	**1.0**
	公立（n=63選抜区分）	**65.1%**	14.3%	1.6%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	**1.4**
	私立（n=3,282選抜区分）	37.4%	**53.7%**	5.8%	0.7%	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	1.7%	**1.7**

※ nは、センター試験を利用せず、個別学力検査を課す選抜区分のうち、合否判定に利用する個別学力検査の科目数が１～８の選抜区分のみ集計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試において個別学力検査を実施する選抜区分の割合

一般入試において個別学力検査を実施する選抜区分の割合は、国立大学で64.1%、公立大学で53.4%、私立大学で58.6%である。

	①センター試験と個別学力検査の両方を課す選抜区分	②センター試験を課さず、個別学力検査のみを課す選抜区分	③センター試験を課した上で、個別学力検査以外の資料を考慮する選抜区分 ※個別学力検査は課さない	④センター試験のみを課す選抜区分	⑤センター試験も個別学力検査も課さず、個別学力検査以外の資料を考慮して選抜する選抜区分	計
国立大学	1,620 (64.1%)	0 (0.0%)	865 (34.2%)	42 (1.7%)	0 (0.0%)	2,527 (100%)
	個別学力検査実施　64.1%		個別学力検査実施なし　35.9%			
公立大学	409 (53.3%)	1 (0.1%)	309 (40.2%)	49 (6.4%)	0 (0.0%)	768 (100%)
	個別学力検査実施　53.4%		個別学力検査実施なし　46.6%			
私立大学	1,606 (7.2%)	11,386 (51.3%)	517 (2.3%)	7,985 (36.0%)	690 (3.2%)	22,184 (100%)
	個別学力検査実施　58.6%		個別学力検査実施なし　41.4%			
計	3,635 (14.3%)	11,387 (44.7%)	1,691 (6.6%)	8,076 (31.7%)	690 (2.7%)	25,479 (100%)
	個別学力検査実施　59.0%		個別学力検査実施なし　41.0%			

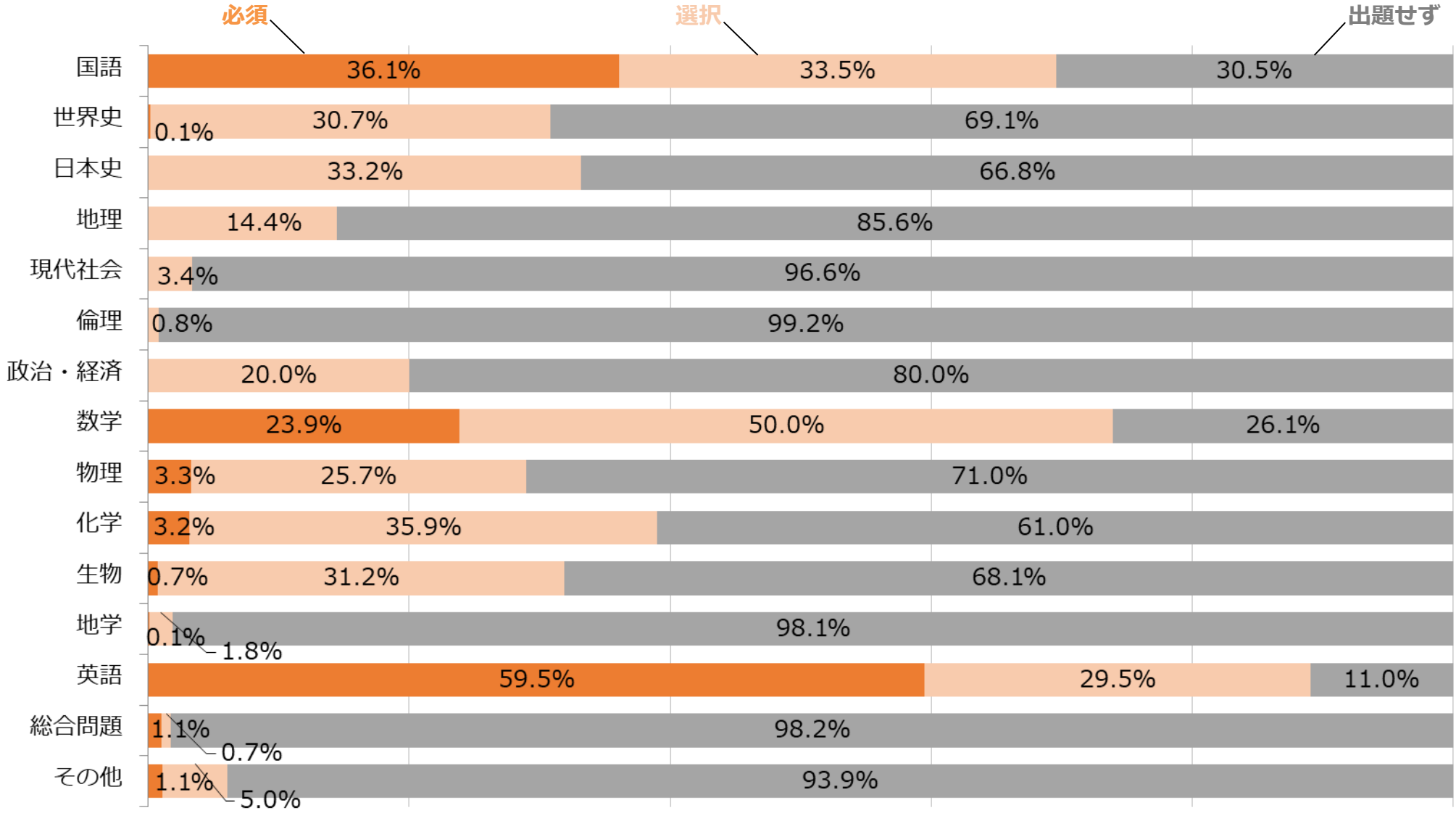
※ 本調査における「個別学力検査」は、学習指導要領に定められている教科・科目の学力検査、「総合問題」としている。「小論文」、「面接」、「討論」及び「実技検査」等は含まない。

※ 選抜方法が不明の選抜区分は除いている。

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況

一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 89.0%）、数学（同 73.9%）、国語（同 69.6%）を出題する選抜区分が多い。

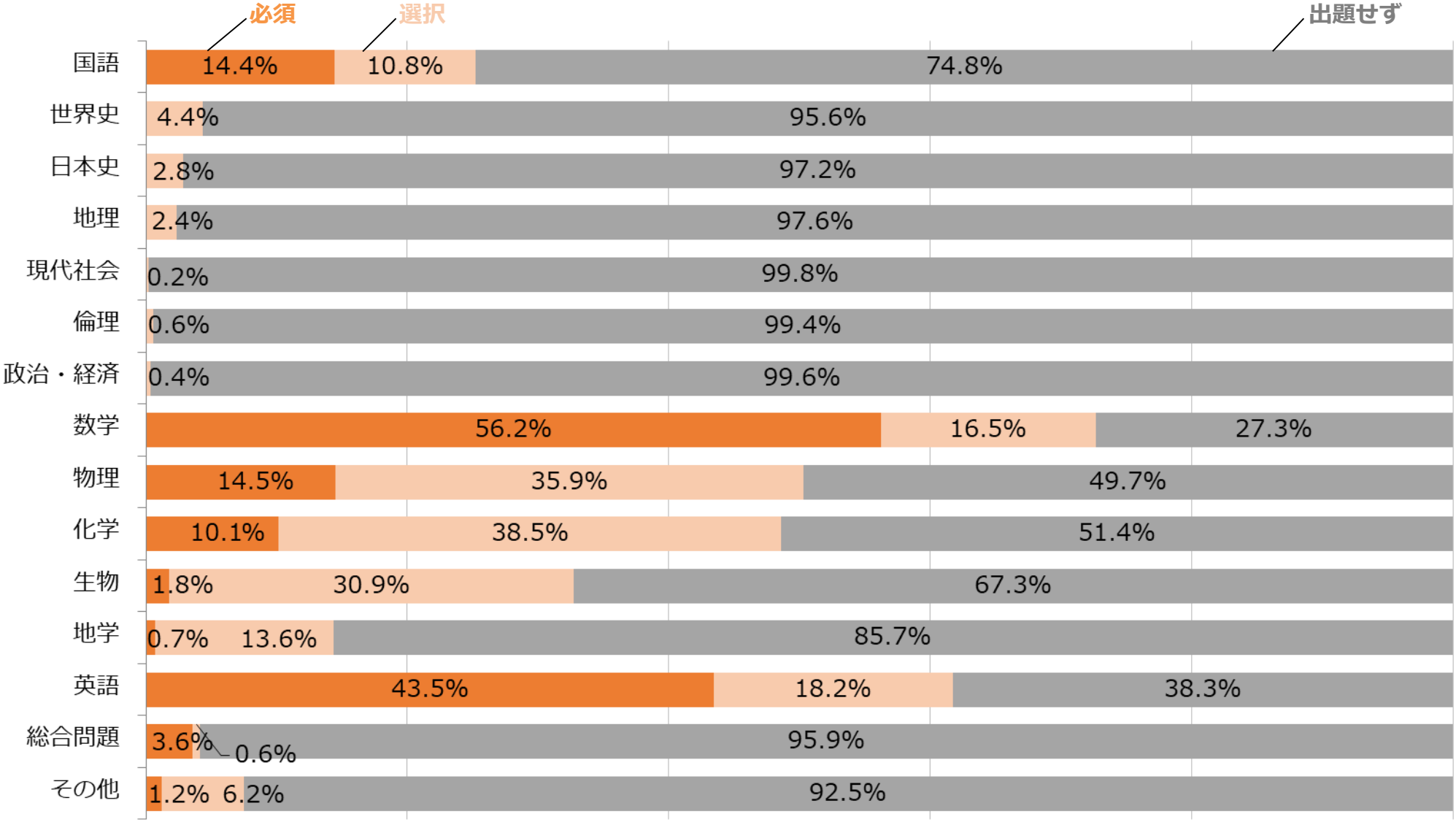


n=14,888選抜区分

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（国立大学）

国立大学において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、数学（必須＋選択 72.7%）、英語（同 61.7%）、物理（同 50.4%）を出題する選抜区分が多い。

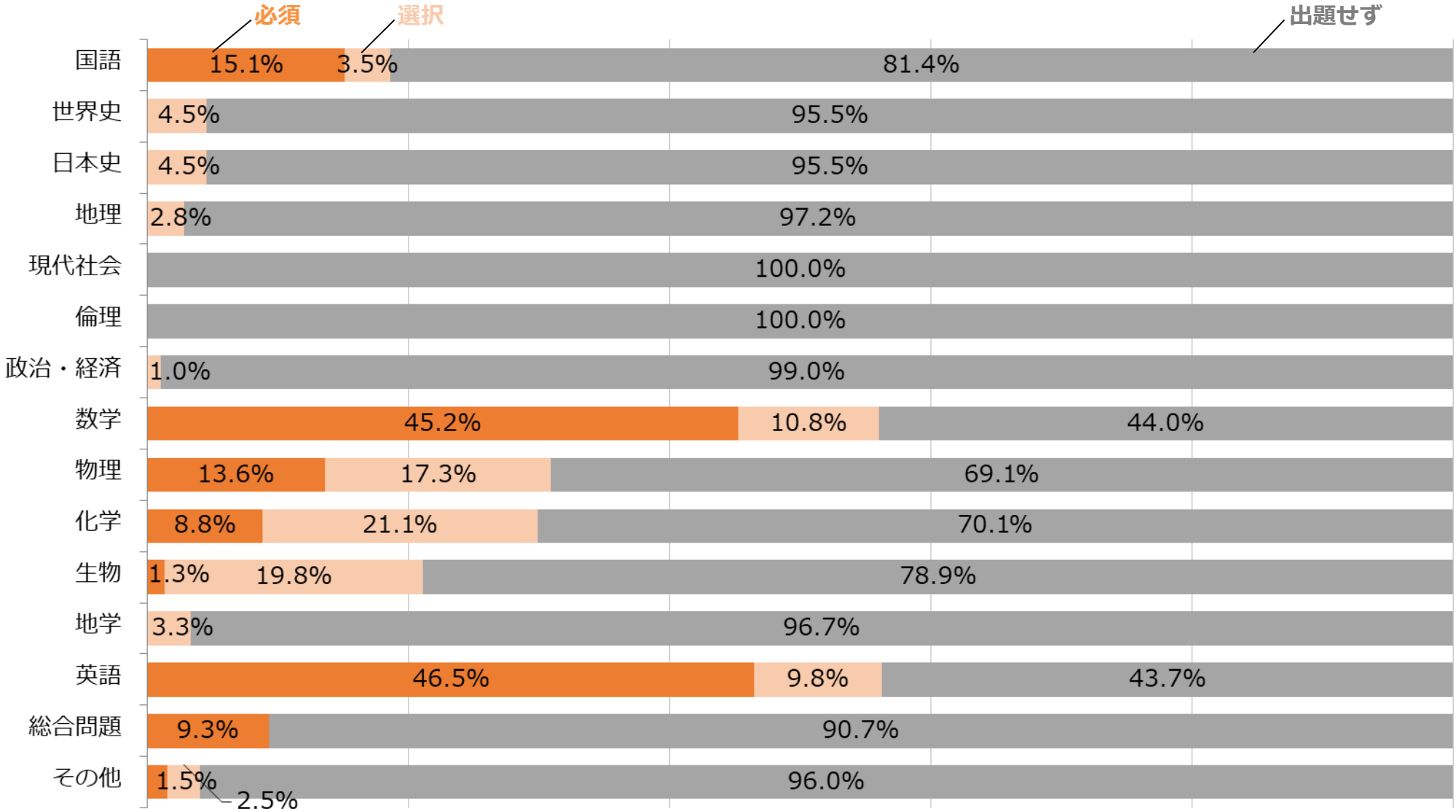


n=1,617選抜区分

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（公立大学）

公立大学において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、数学（必須＋選択 56.0%）、英語（同 56.3%）、物理（同 30.9%）を出題する選抜区分が多い。

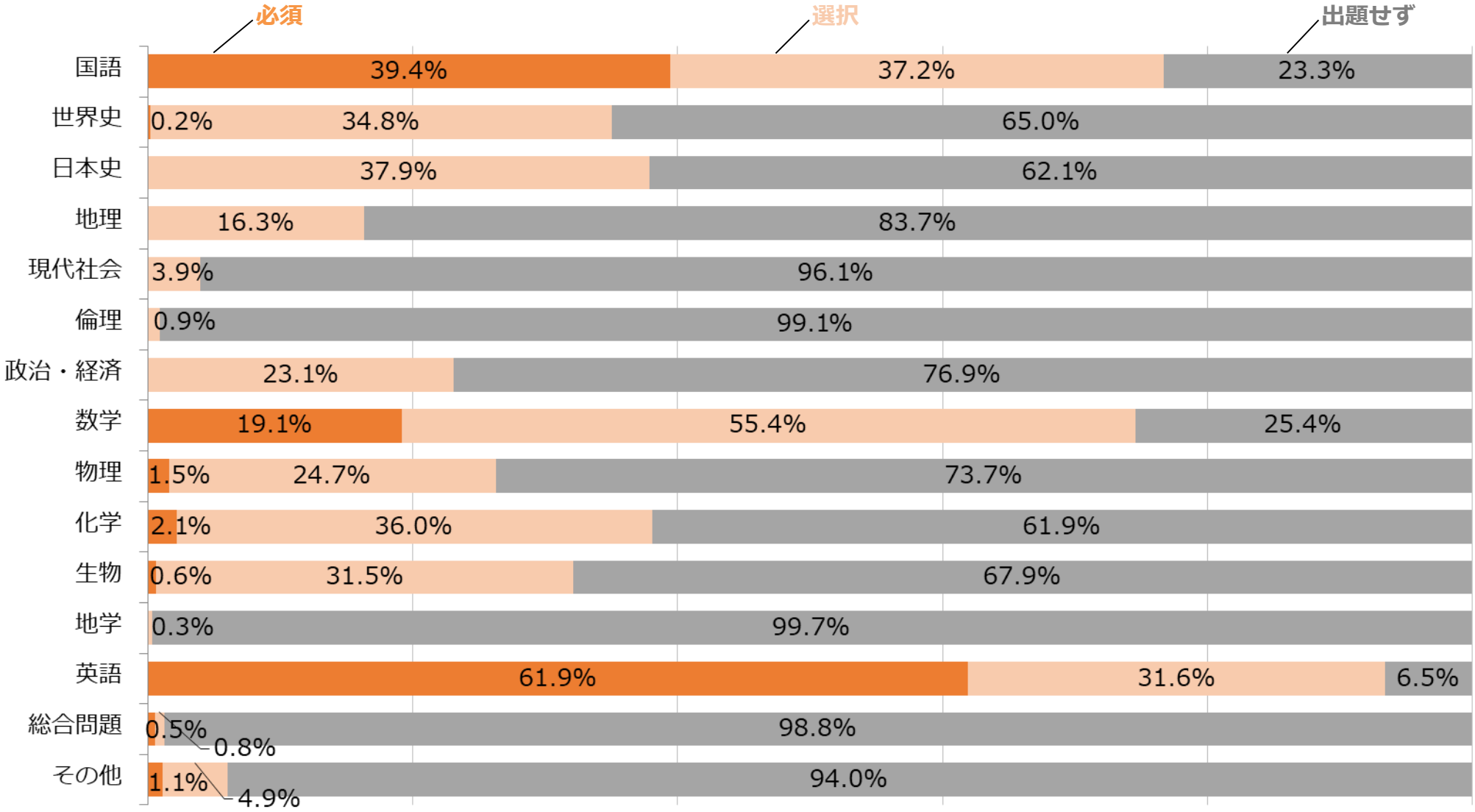


n=398選抜区分

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（私立大学）

私立大学において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 93.5%）、国語（同 76.6%）、数学（同 74.5%）を出題する選抜区分が多い。

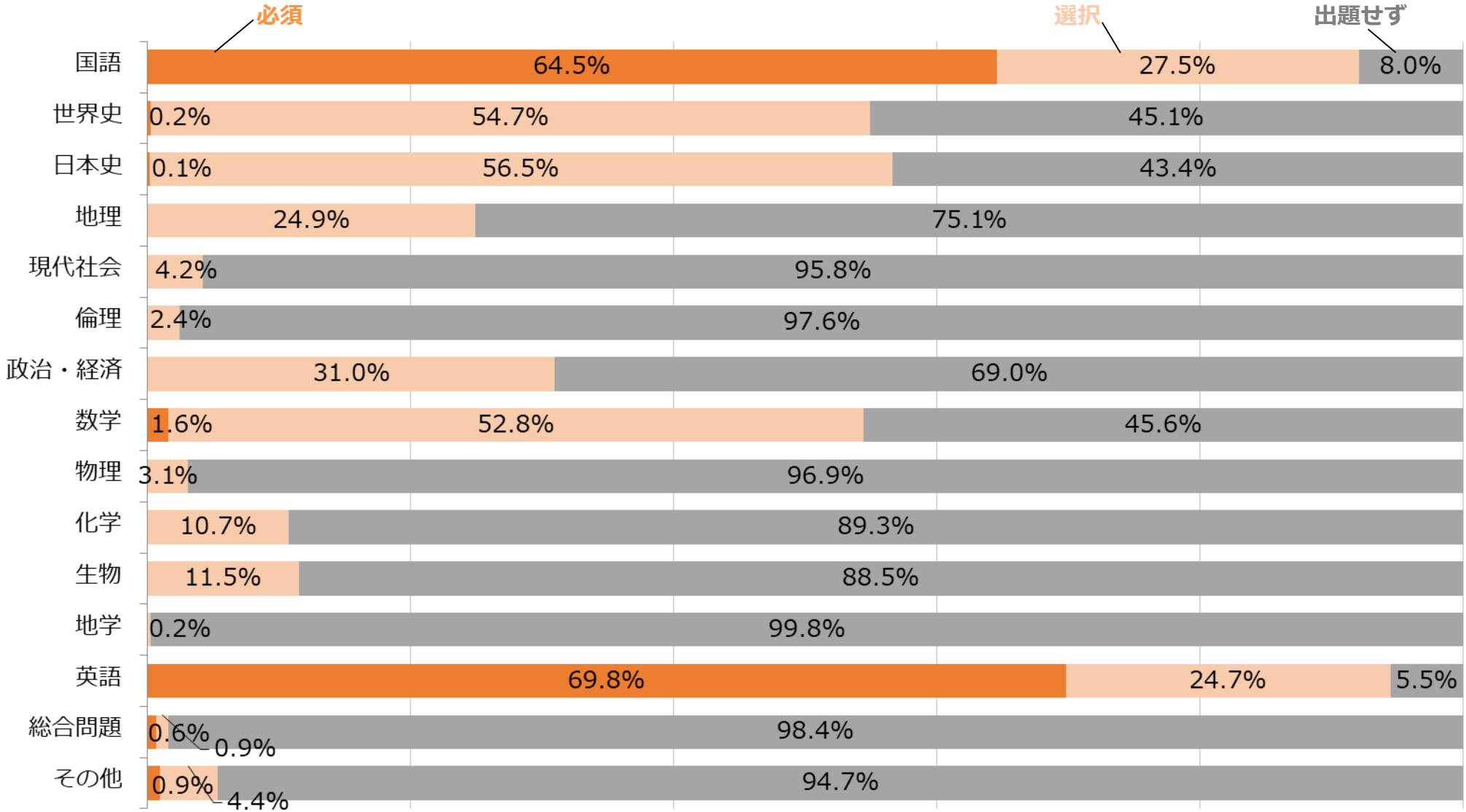


n=12,873選抜区分

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／人文科学）

人文科学系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 94.5%）、国語（同 92.0%）、日本史（同 56.6%）を出題する選抜区分が多い。

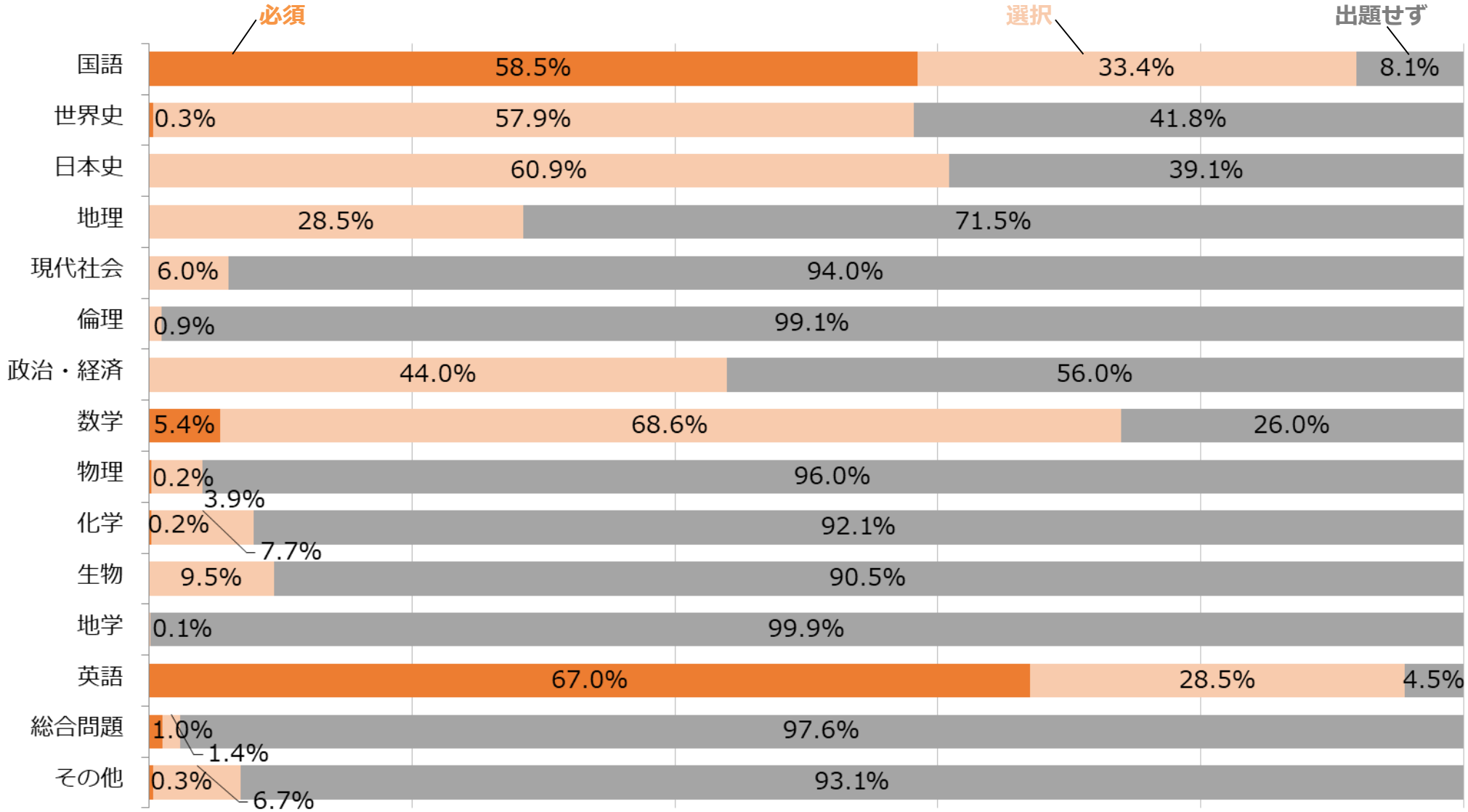


n=2,578選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／社会科学）

社会科学系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 95.5%）、国語（同 91.9%）、数学（同 74.0%）を出題する選抜区分が多い。



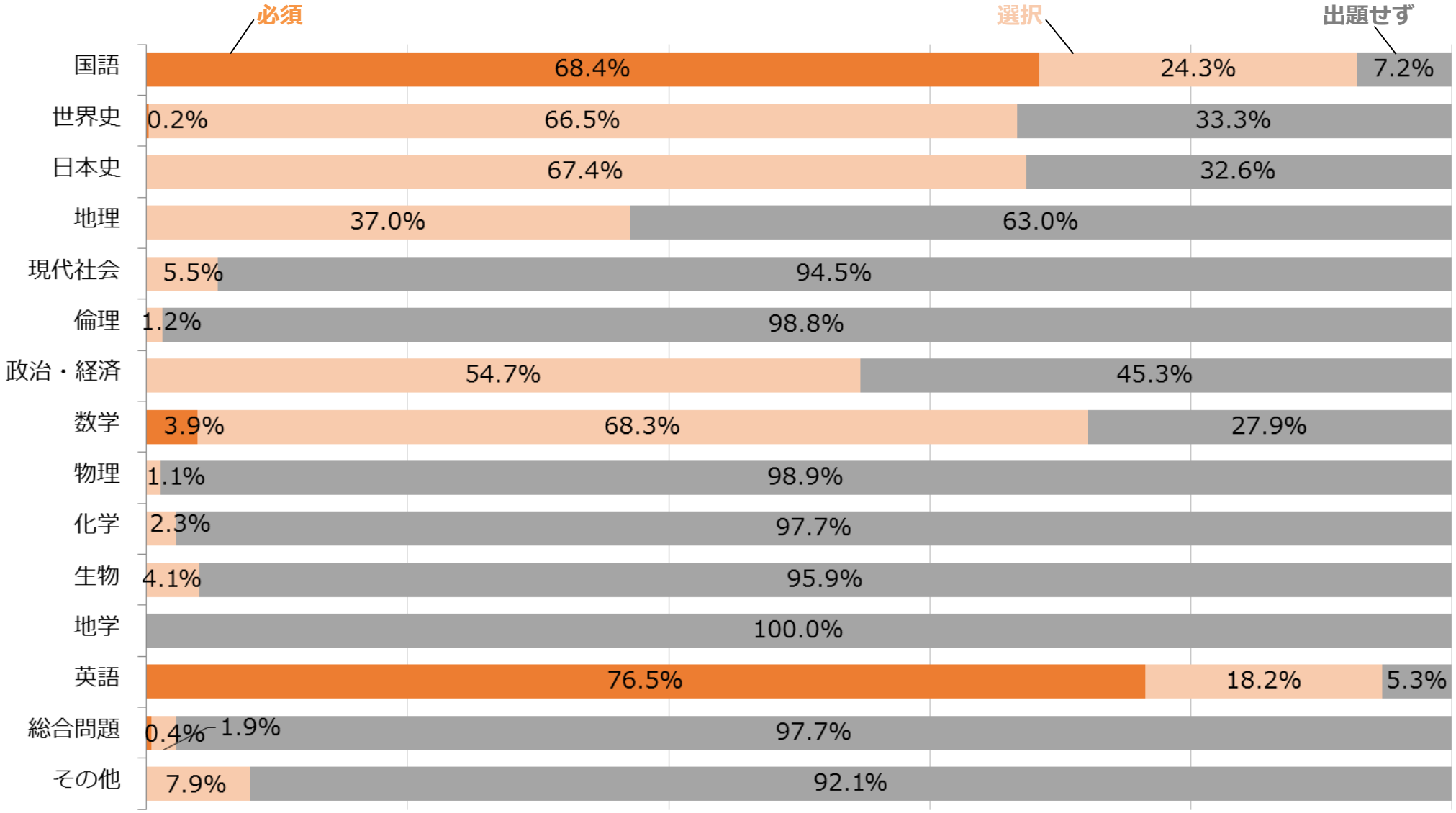
n=3,487選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（社会科学／法学・政治学関係）

新規

社会科学系の学科のうち、法学・政治学関係において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 94.7%）、国語（同 92.7%）、数学（同 72.2%）を出題する選抜区分が多い。



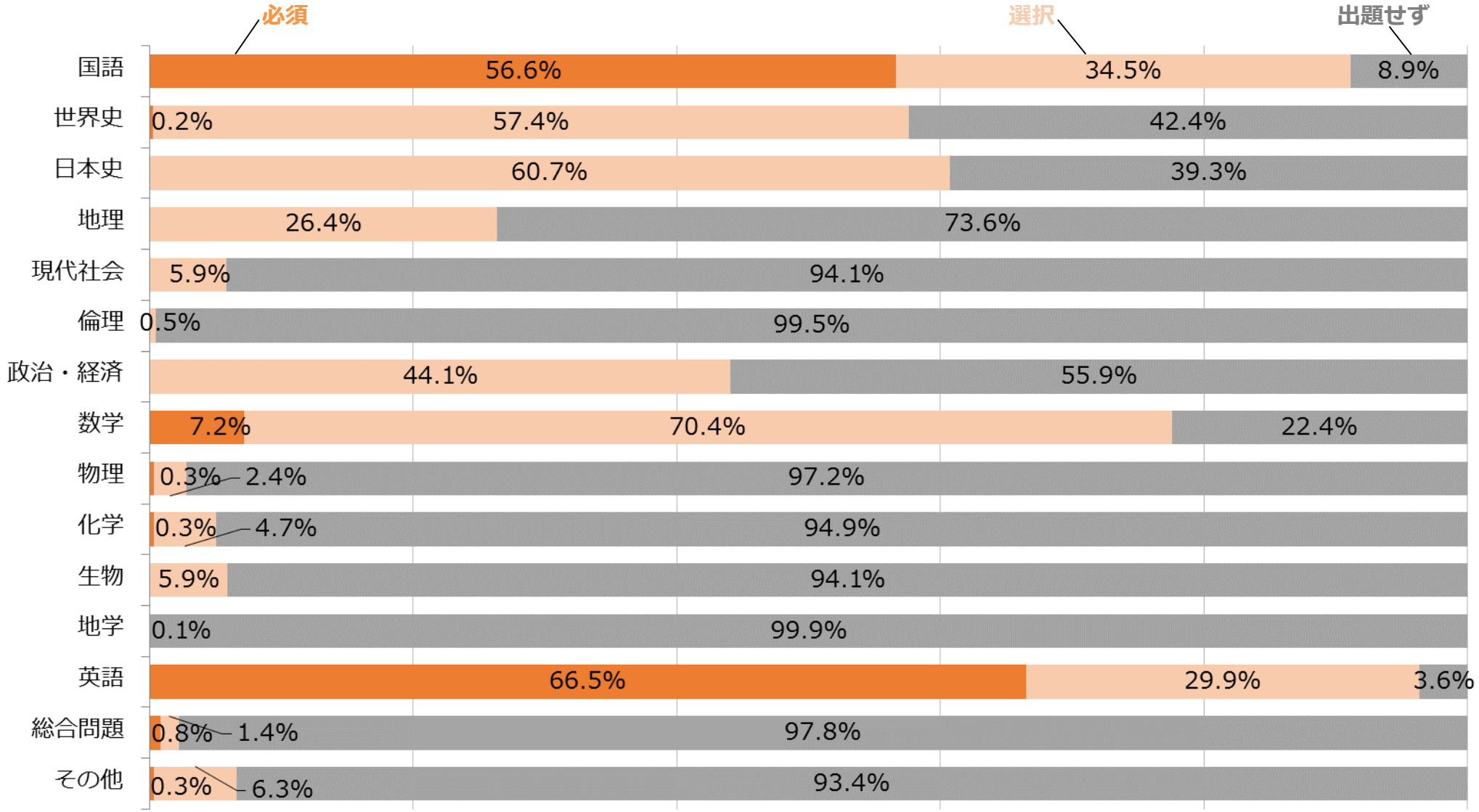
n=567選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（社会科学／商学・経済学関係）

新規

社会科学系の学科のうち、商学・経済学関係において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 96.4%）、国語（同 91.1%）、数学（同 77.6%）を出題する選抜区分が多い。



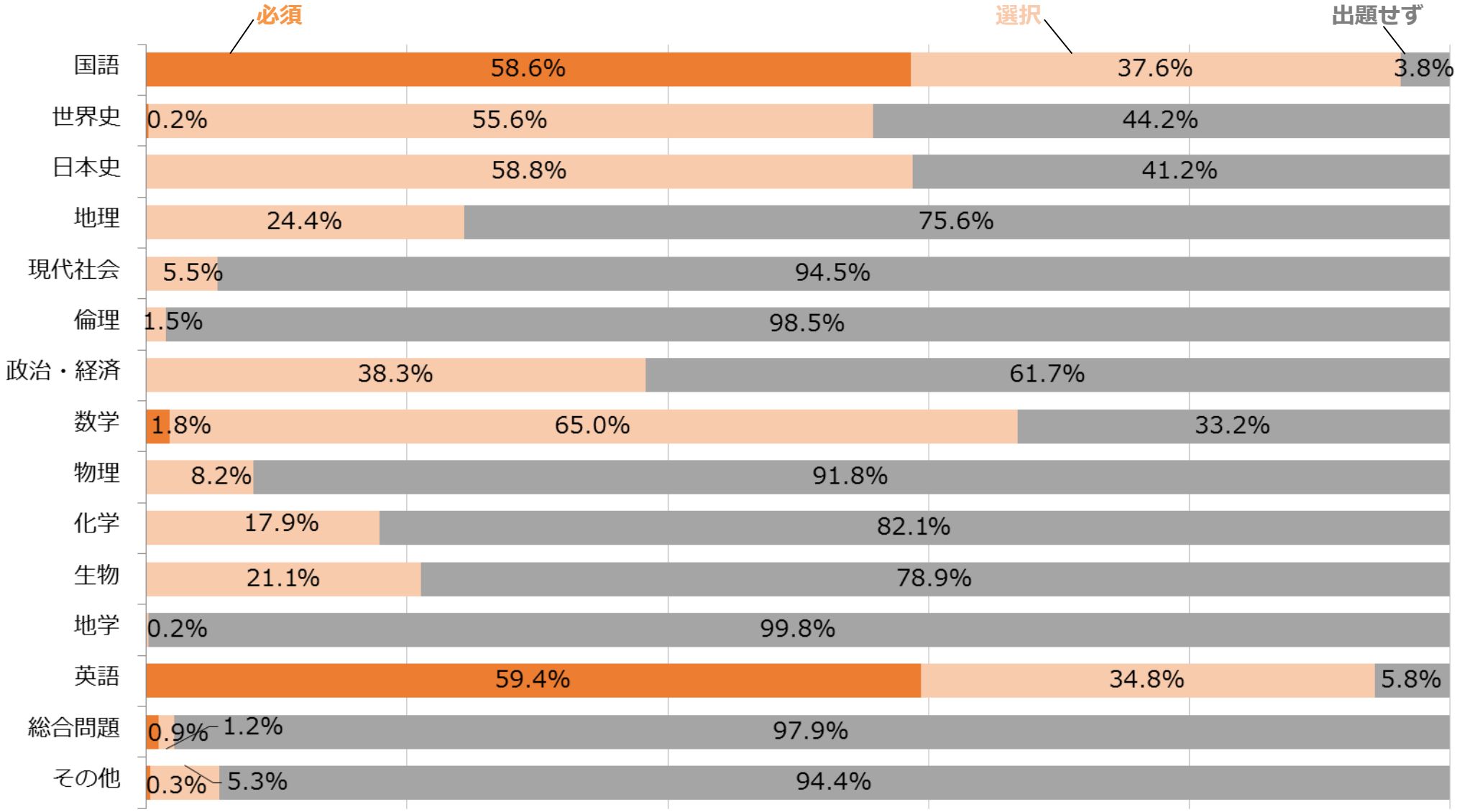
n=1,760選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（社会科学／社会学関係）

新規

社会科学系の学科のうち、社会学関係において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、国語（必須＋選択 96.2%）、英語（同 94.2%）、数学（同 66.8%）を出題する選抜区分が多い。



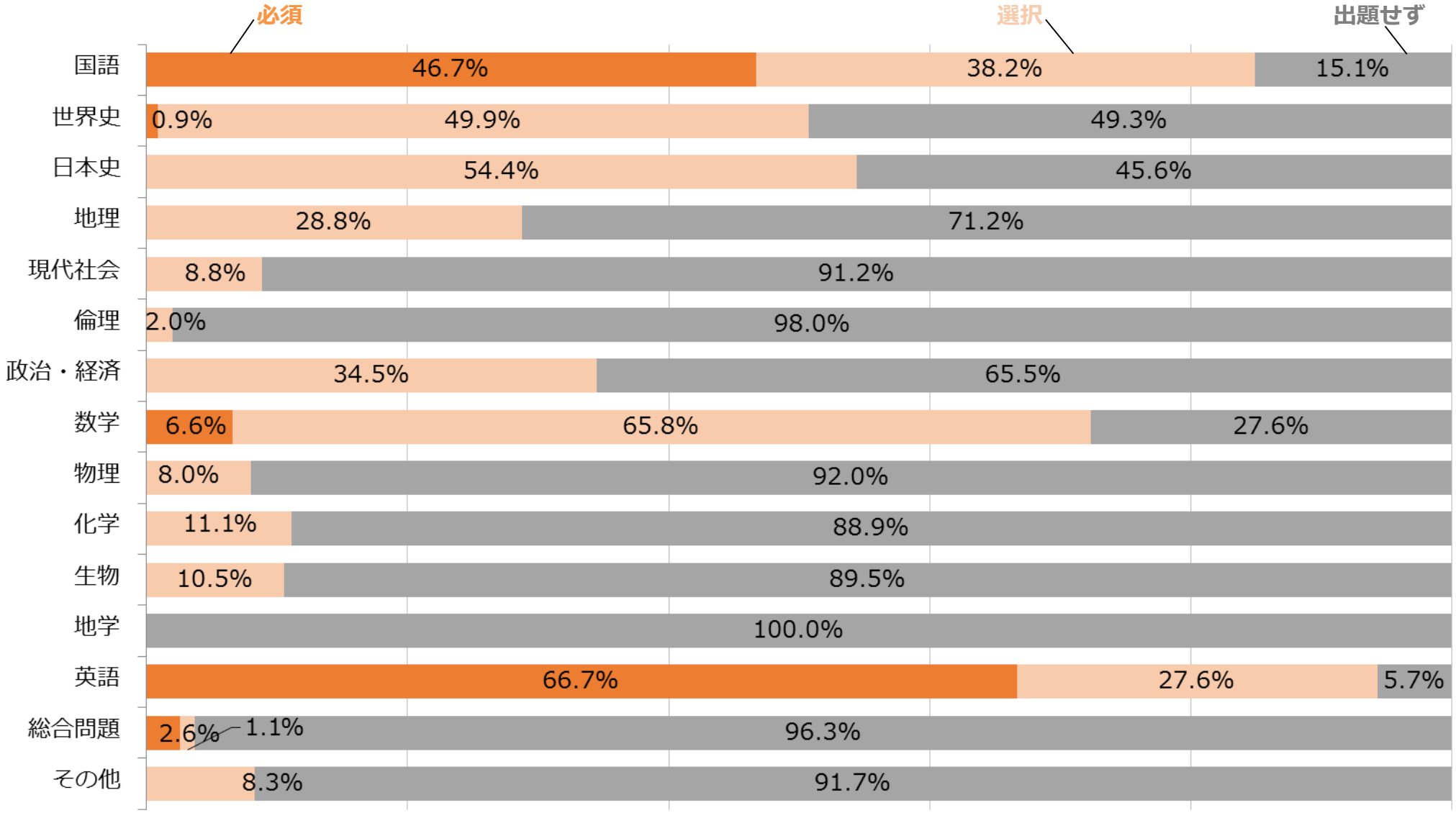
n=660選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（社会科学／社会科学その他）

新規

社会科学系の学科のうち、その他の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 94.3%）、国語（同 84.9%）、数学（同 72.4%）を出題する選抜区分が多い。

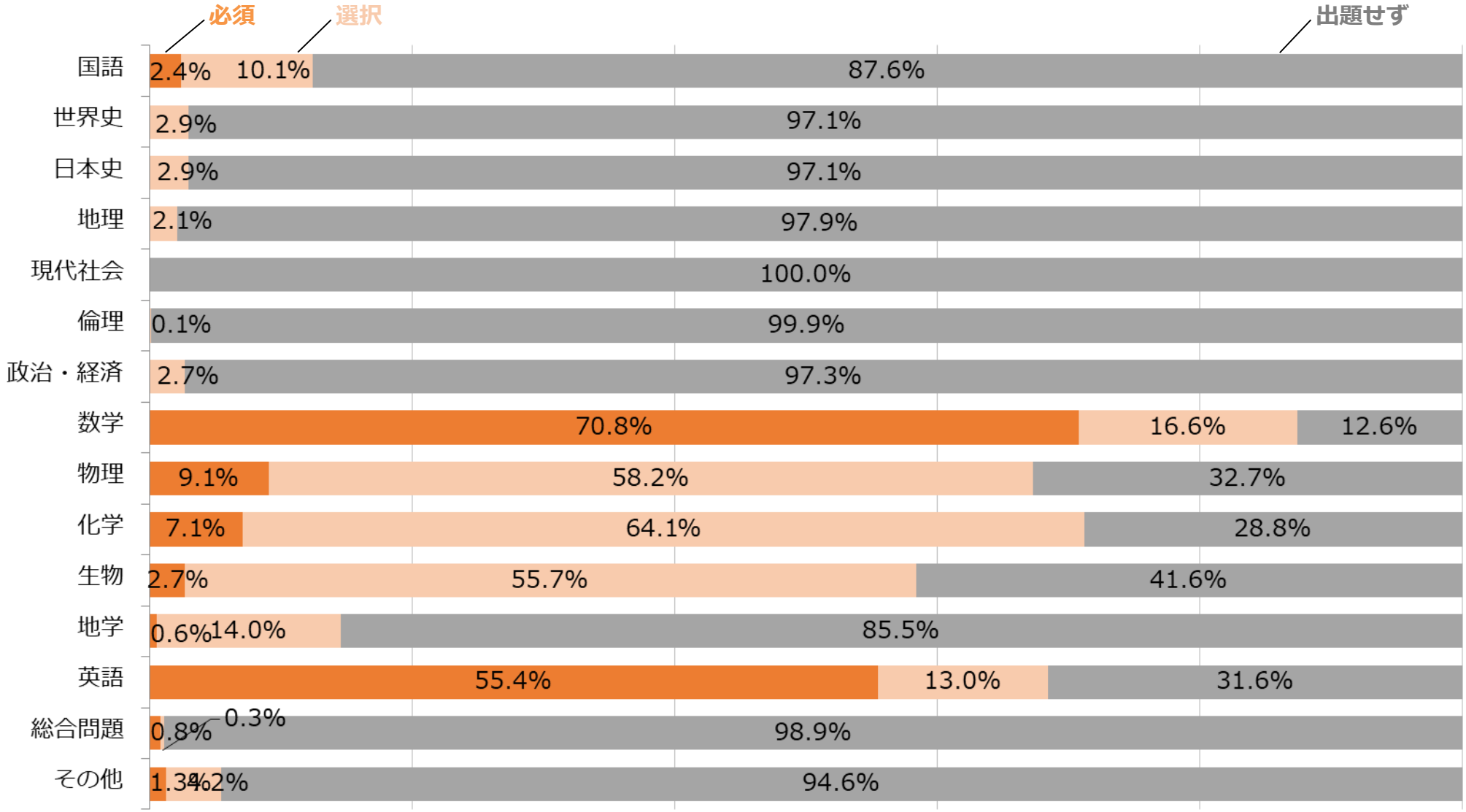


n=351選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／理学）

理学系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、数学（必須＋選択 87.4%）、化学（71.2%）、物理（67.3%）を出題する選抜区分が多い。

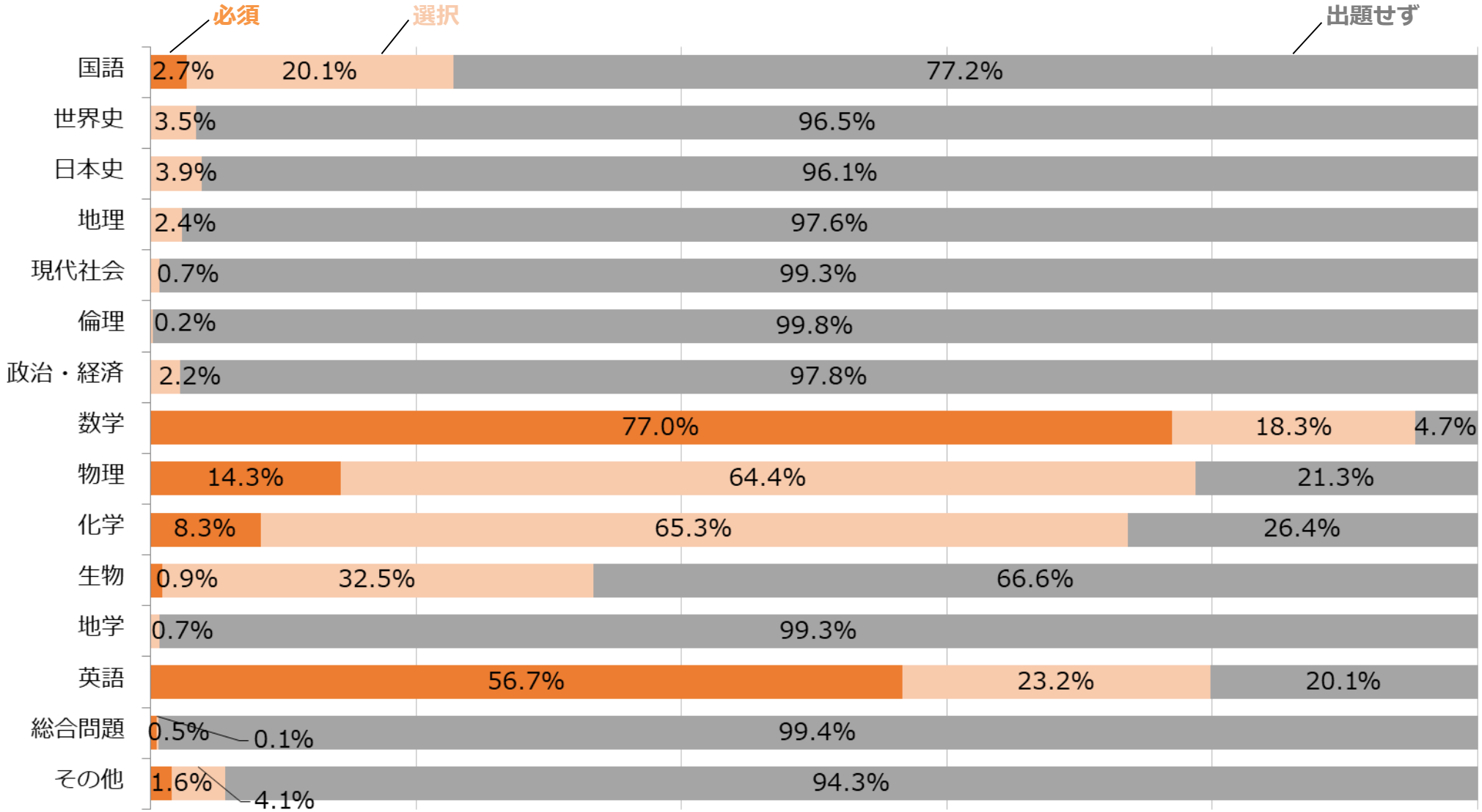


n=716選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／工学）

工学系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、数学（必須＋選択 95.3%）、英語（同 79.9%）、物理（同 78.7%）を出題する選抜区分が多い。

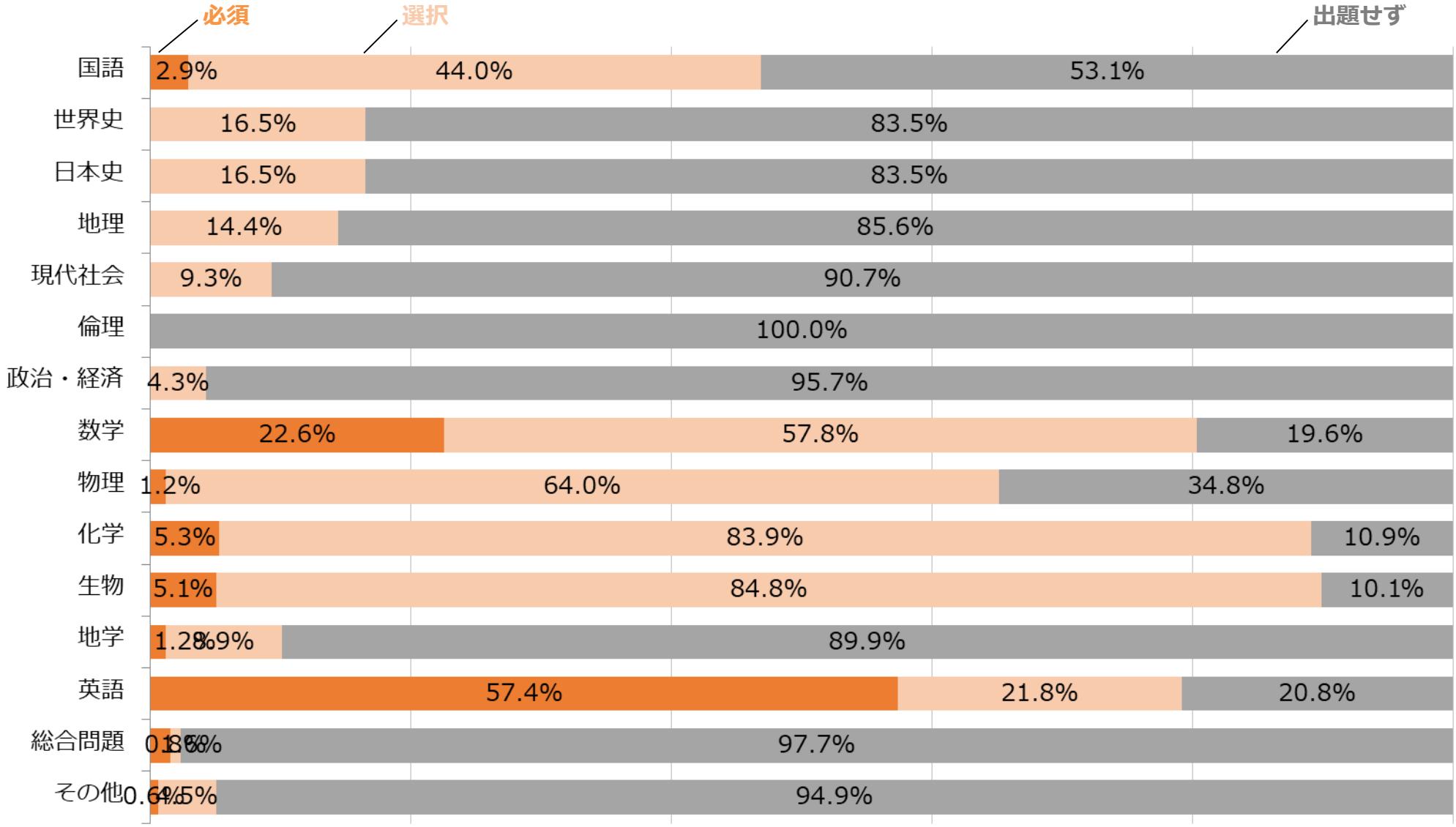


n=2,593選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／農学）

農学系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、生物（必須＋選択 89.9%）、化学（同 89.2%）、数学（同 80.4%）を出題する選抜区分が多い。

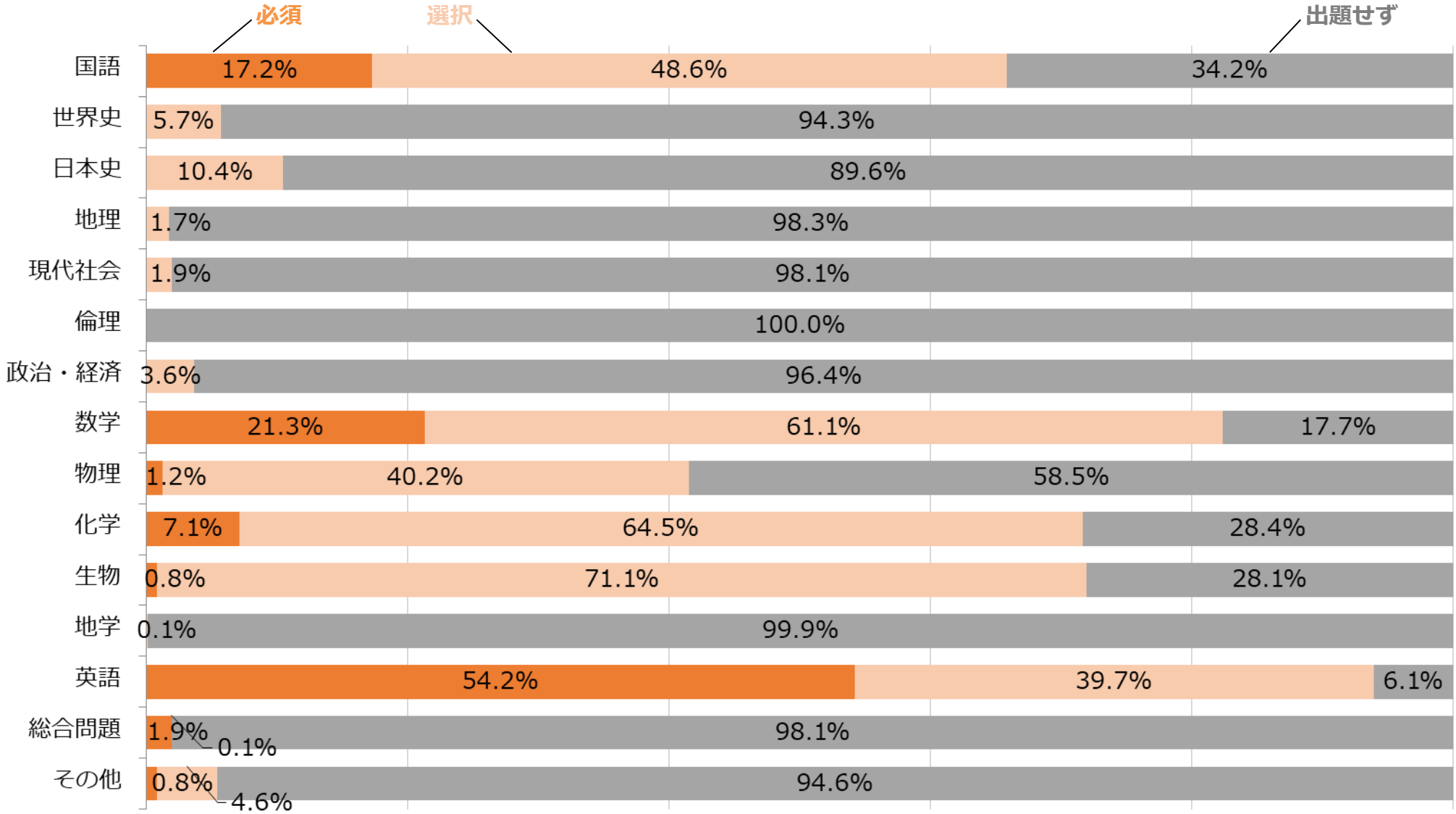


n=514選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／保健）

保健系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 93.9%）、数学（同 82.4%）、生物（同 71.9%）を出題する選抜区分が多い。



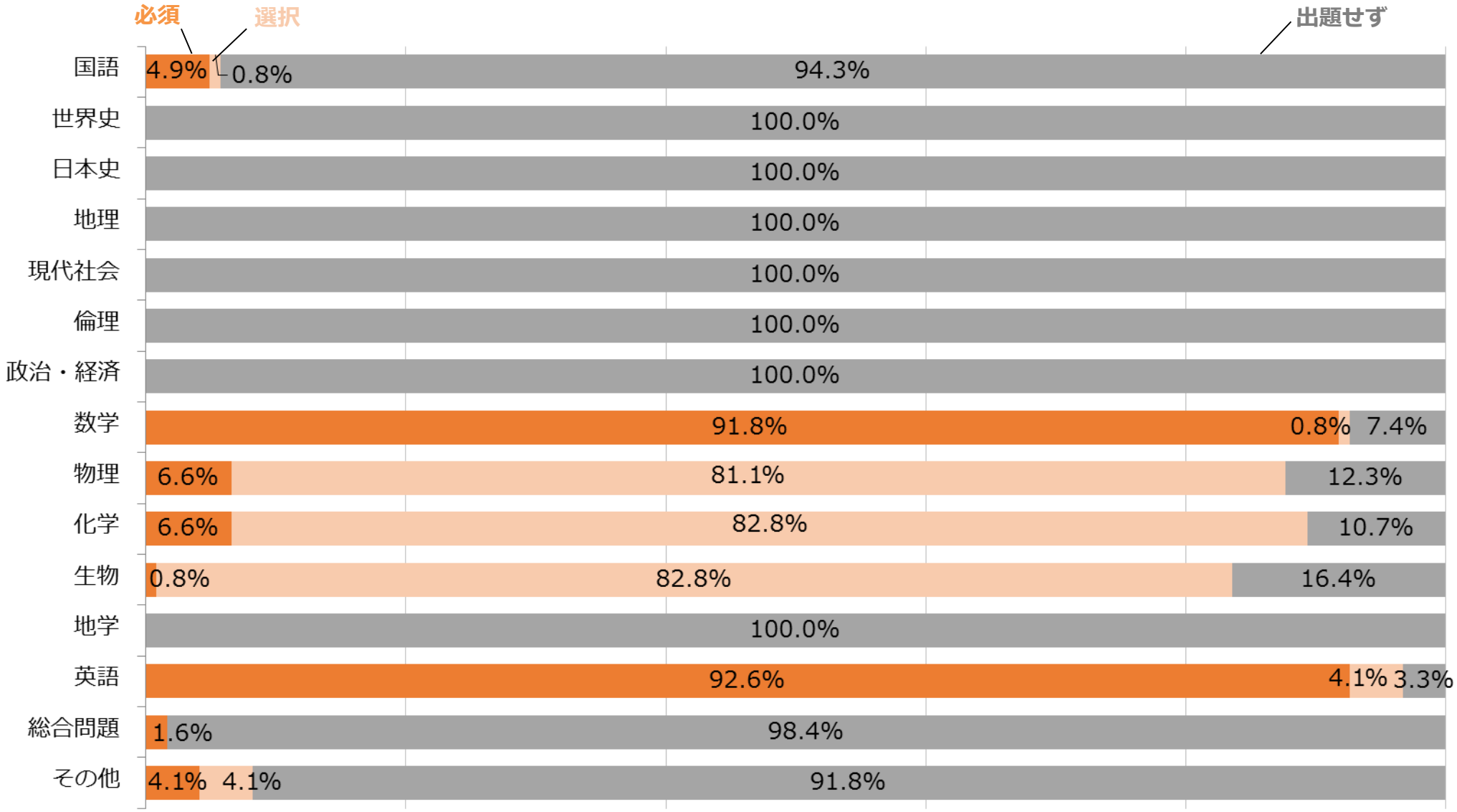
n=1,857選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（保健／医学）

新規

保健系の学科のうち、医学において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 96.7%）、数学（同 92.6%）、化学（同 89.4%）を出題する選抜区分が多い。



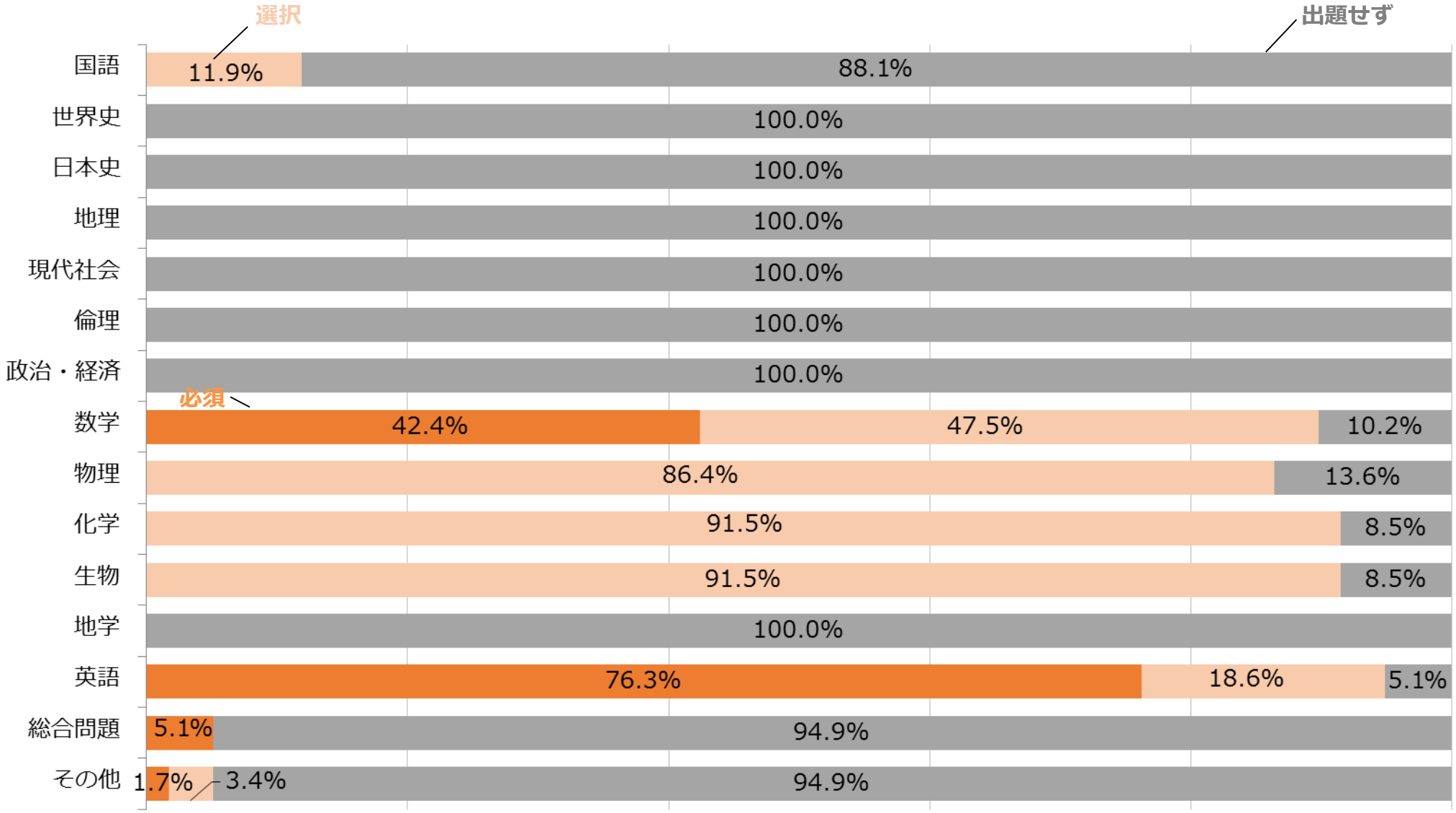
n=122選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（保健／歯学）

新規

保健系の学科のうち、歯学において、一般入試で個別学力検査を課す選択区分では、英語（必須＋選択 94.9%）、化学（同 91.5%）、生物（同 91.5%）を出題する選択区分が多い。



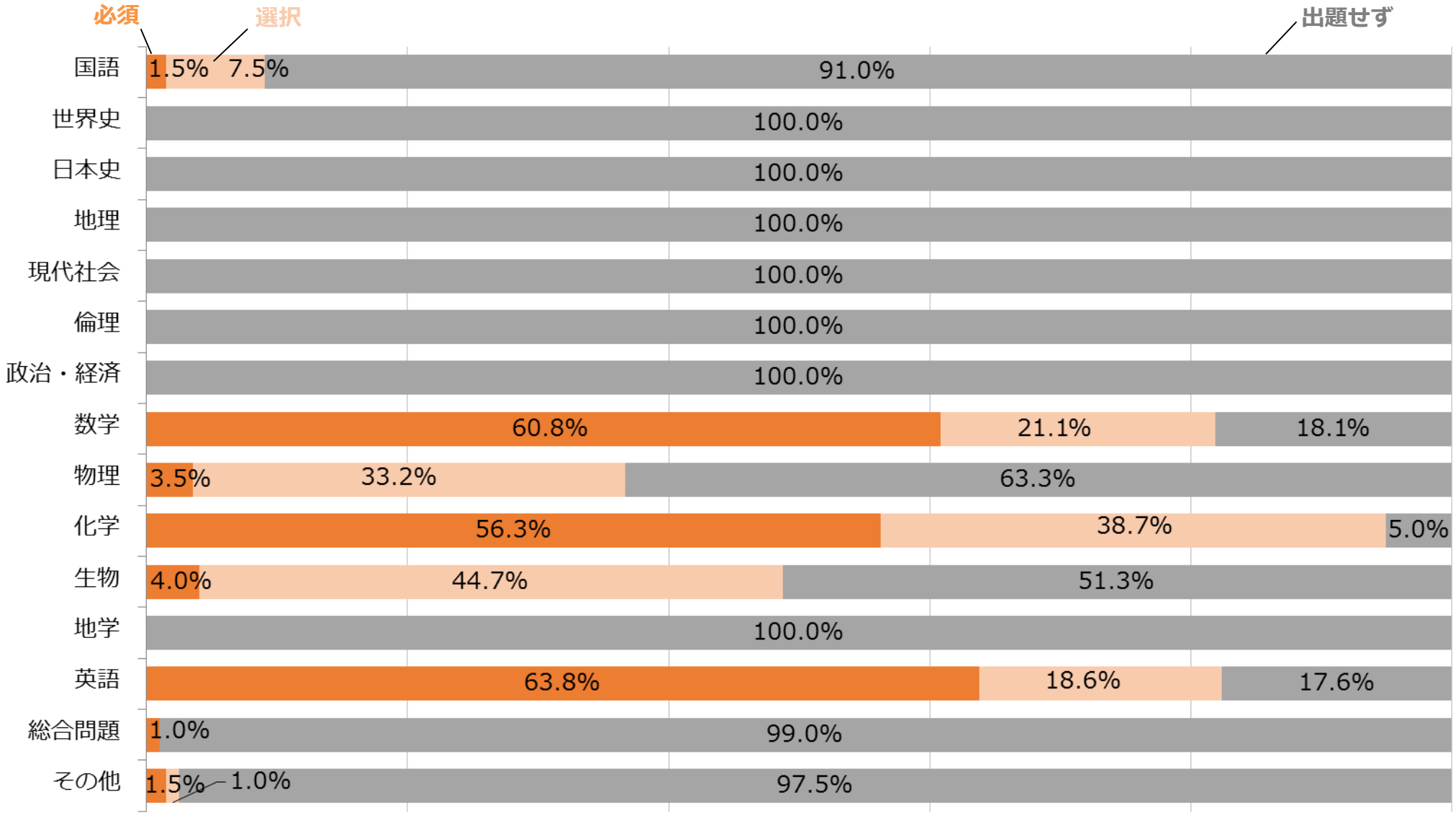
n=59選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（保健／薬学関係）

新規

保健系の学科のうち、薬学関係において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、化学（必須＋選択95.0%）、英語（同 82.4%）、数学（同 81.9%）を出題する選抜区分が多い。



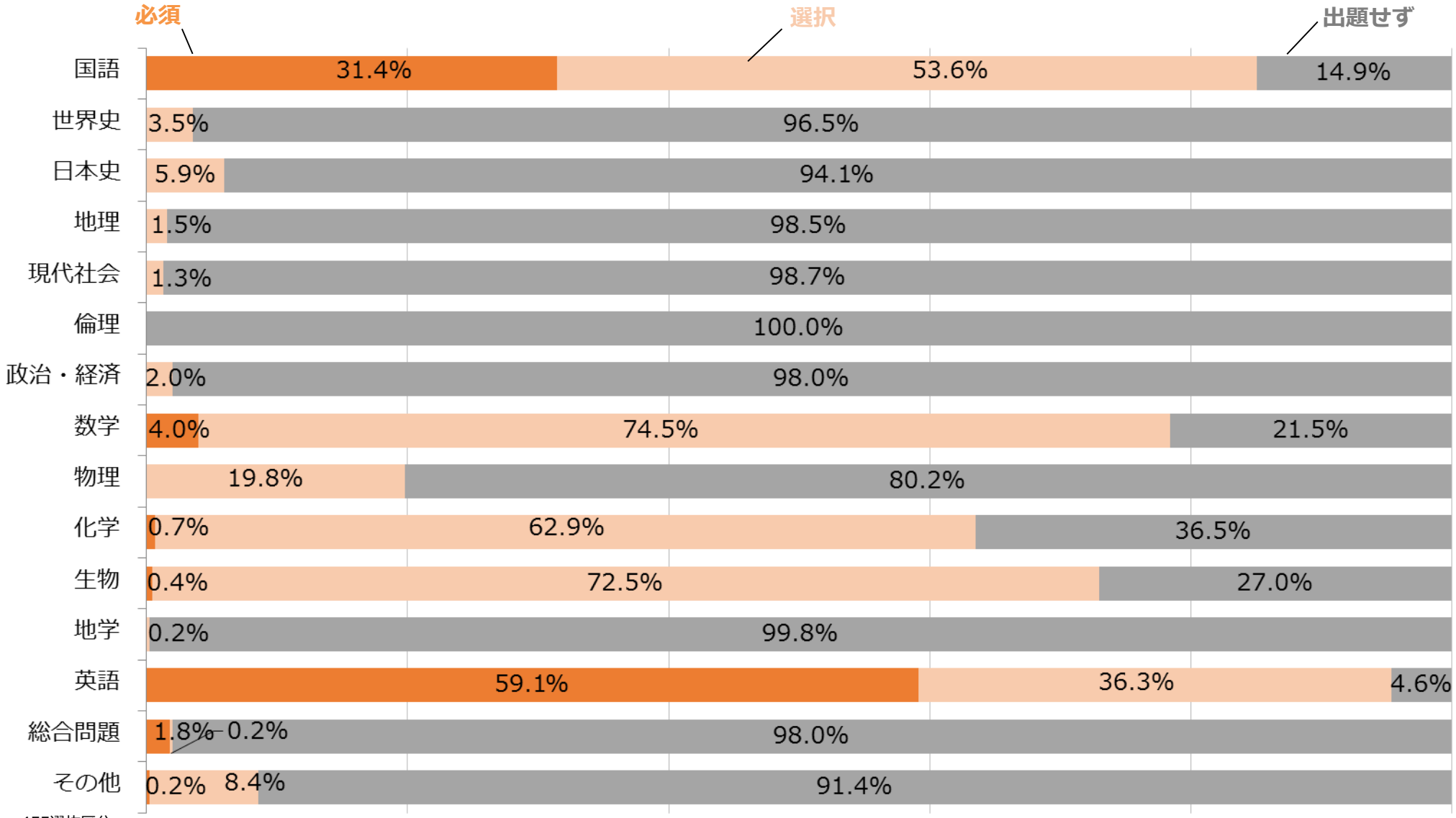
n=199選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（保健／看護学関係）

新規

保健系の学科のうち、看護学関係において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 95.4%）、国語（同 84.0%）、数学（同 78.5%）を出題する選抜区分が多い。



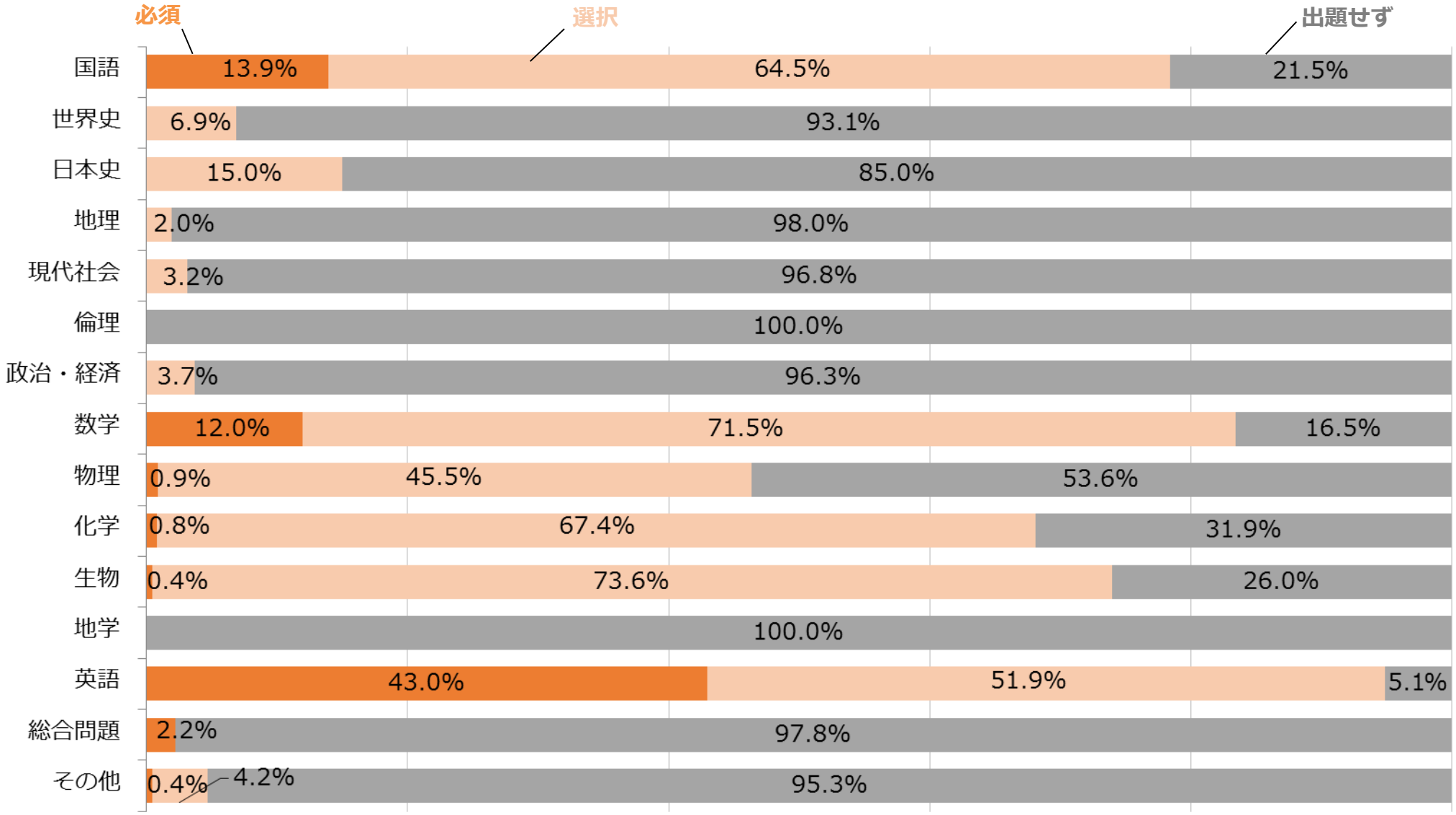
n=455選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（保健／保健その他）

新規

保健系の学科のうち、その他の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 94.9%）、数学（同 83.5%）、化学（同 78.4%）を出題する選抜区分が多い。

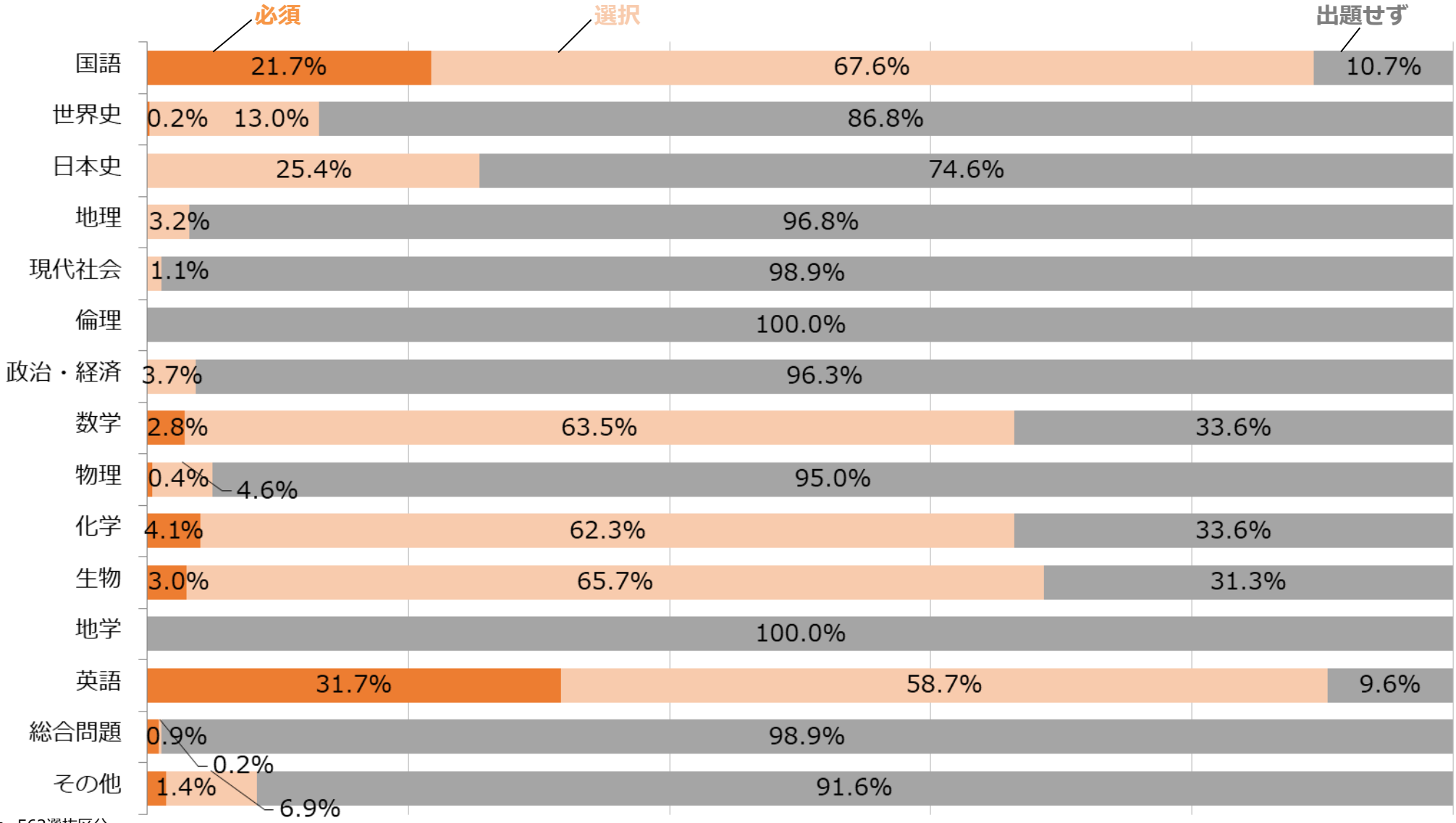


n=919選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／家政）

家政系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 90.4%）、国語（同 89.3%）、生物（同 68.7%）を出題する選抜区分が多い。

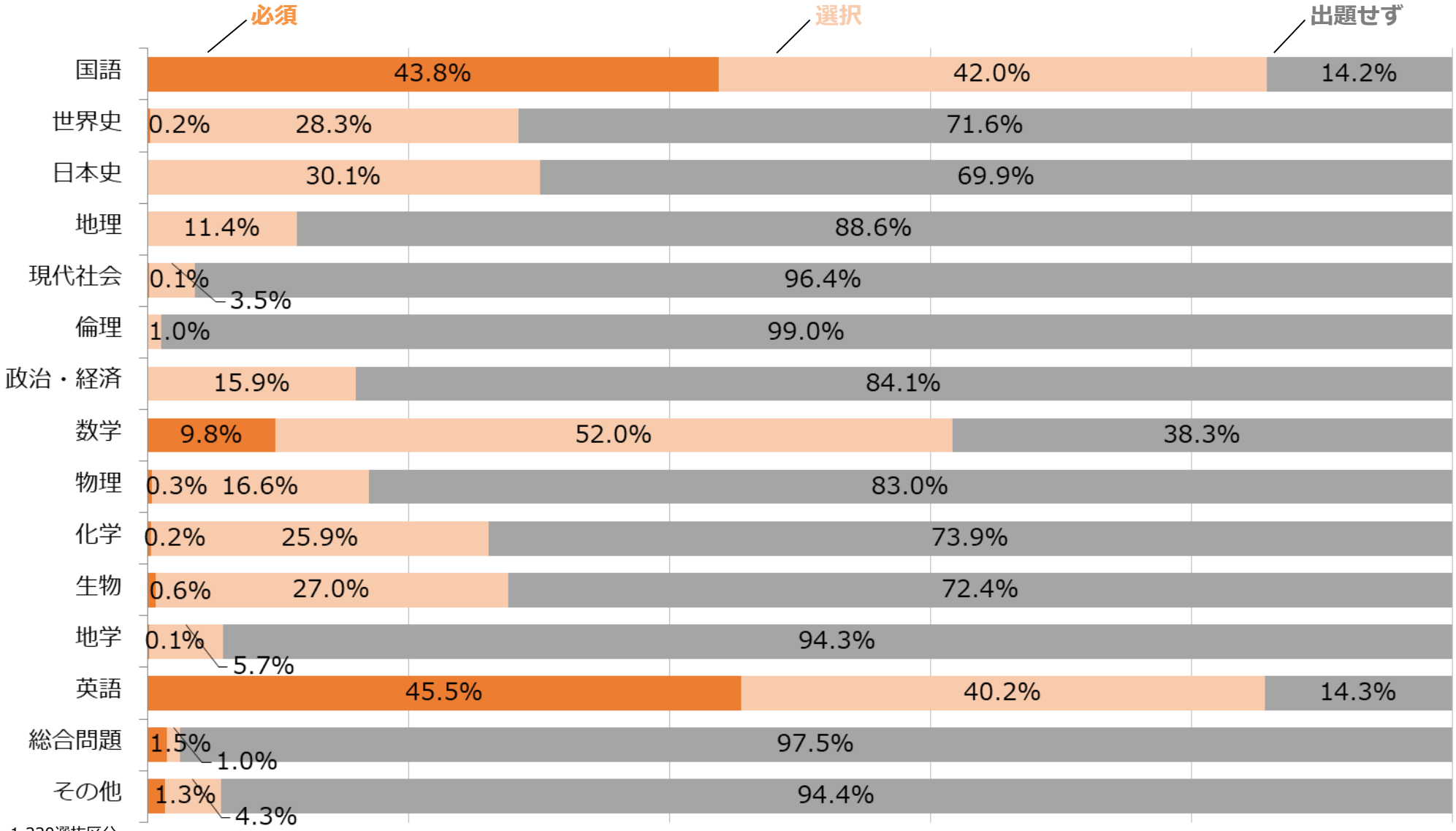


n=562選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／教育）

教育系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、国語（必須＋選択 85.8%）、英語（同 85.7%）、数学（同 61.8%）を出題する選抜区分が多い。

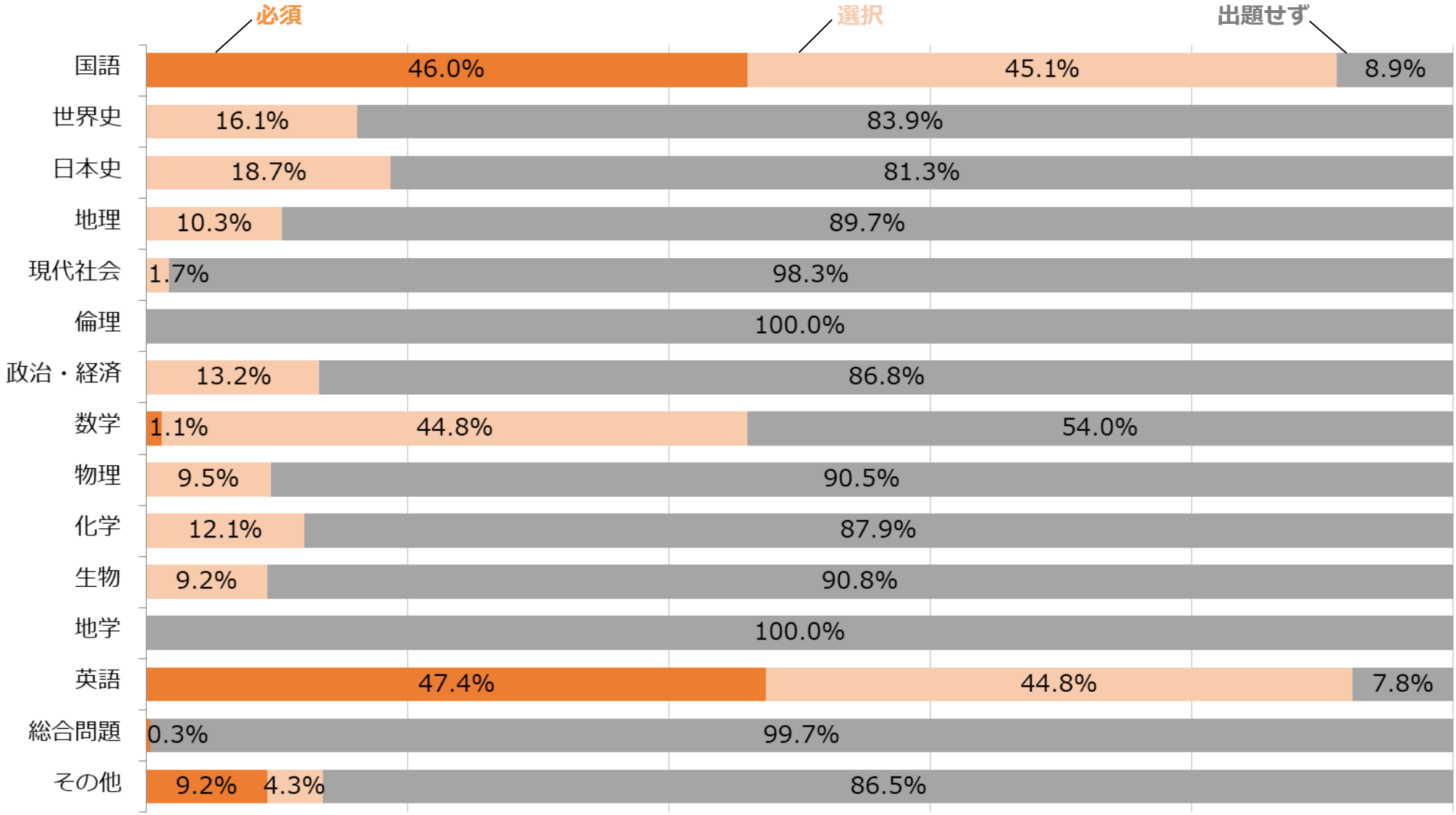


n=1,220選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／芸術）

芸術系の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 92.2%）、国語（同 91.1%）、数学（同 45.9%）を出題する選抜区分が多い。

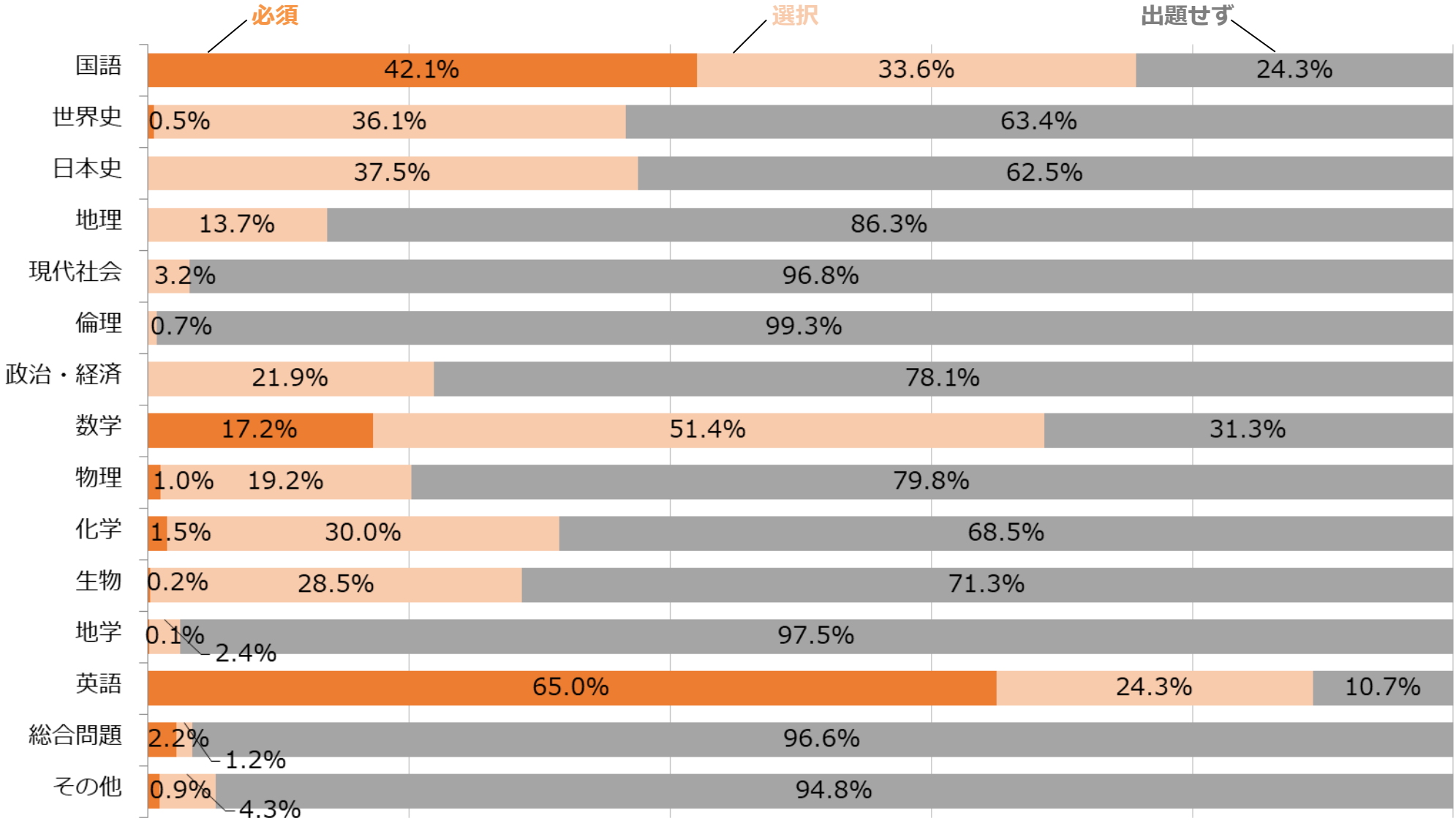


n=348選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」

一般入試での個別学力検査における各科目の出題状況（学科系統分類別／その他）

前記以外のその他の学科において、一般入試で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 89.3%）、国語（同 75.7%）、数学（同 68.6%）を出題する選抜区分が多い。



n=1,005選抜区分
※国公私立計

【出典】文部科学省「大学入学者選抜における英語４技能評価及び記述式問題の実態調査（令和２年度）」